VALUESTAR

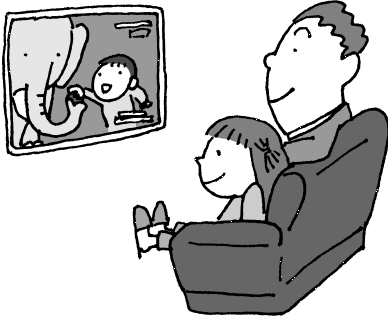
LaVie

SmartVisionガイド

テレビを楽しむ本

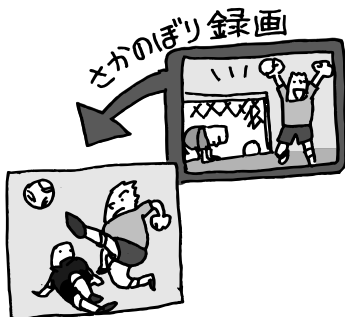
パソコンならではの、
一歩進んだテレビの楽しみ方を。

さかのぼり録画／おてがる予約／
おまかせ録画／ぴったり録画／
追っかけ再生／オリジナルDVD作成

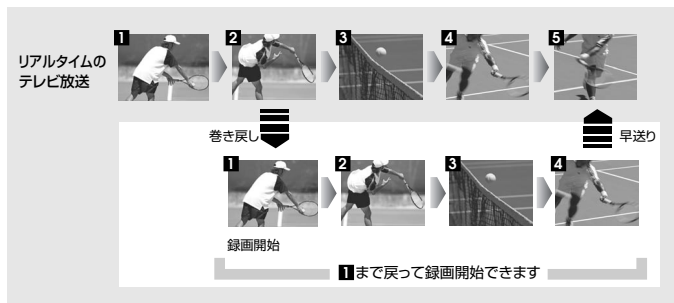
デジタルもアナログも
パソコンでテレビを楽しみつくす!

このパソコンでは、今までのテレビ(地上アナログ放送)だけではなく、新しいテレビ放送のデジタル放送を見たり、録画したりできます。

●地上アナログ放送:今までのテレビ放送
●地上デジタル放送※:新たに始まった、高画質・高音質で、データ放送などの新機能が楽しめるテレビ放送

※: アンテナや放送エリアによっては、利用できない場合があります。

PART 1
「このマニュアルの読み方」

テレビを見ていて、「しまった、この番組録画しておけばよかった」と思ったときは「さかのぼり録画」。見ている番組を巻き戻して、前のシーンから録画できます。

PART 3
「さかのぼり録画をする」

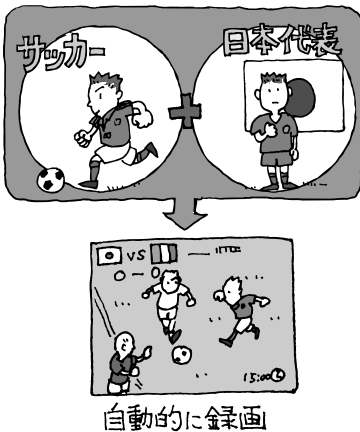
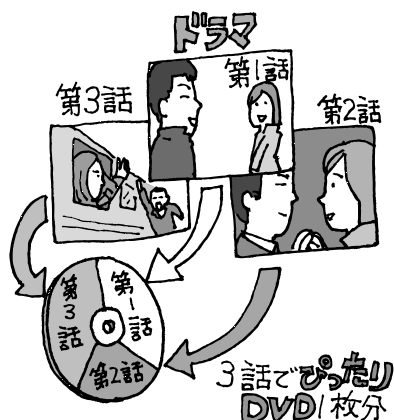
853-810601-716-A

録画予約するときは、画面に表示された番組表から見たい番組を選べば、そのまま録画予約ができます。ジャンルや出演者名から番組を探して予約することもできます。

PART 3
「おてがる予約をする（番組表で予約する）」

興味のあるジャンルやキーワードを登録しておけば、それにあった番組を「おまかせ録画」で自動的に探して録画できます。※

※おまかせ録画は、マウスで使う画面でできる操作です。

PART 5
「おまかせ録画をする」

853-810601-716-A　2008年1月 初版

番組をDVDに保存したいけれど、DVDにできるサイズになるかどうか心配、というときは「ぴったり録画」が便利です。
決めたサイズになるように、自動的に画質を調節して録画します。

PART 3
「ぴったり録画をする」

追っかけ再生

予約録画中に家に帰ってきたら、「追っかけ再生」で、録画中の番組を最初から見ることができます。
早送りで見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

PART 3
「録画中の番組を再生する（追っかけ再生）」 p.65

オリジナルDVD作成

録画した番組は、DVDなどに保存できます。映像の編集やオリジナルのタイトル画面を作ることも。※1
コピーワンスのデジタル放送番組も、BD-REに保存したり※2、アナログ変換することでCPRM対応のDVD-RAMに保存できます。

※1 地上アナログ放送のみ
※2 ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ（HD DVD-ROM再生機能付き）モデルのみ

PART 4
「録画番組をDVDなどに保存する」

このマニュアルの表記について

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。
・テレビの画面は、特別な場合を除き、デジタルハイビジョンTV（地デジ/地アナ）モデルの画面を使用しています。

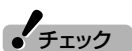
◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	そのページで大事なことや、操作のヒントが書かれています。
	地上アナログ放送のみの内容を示しています。
	地上デジタル放送のみの内容を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーやリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ、ブルーレイディスクドライブ（HD DVD-ROM再生機能付き）、DVDスーパーマルチドライブのいずれかを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」はデスクトップの（サポートナビゲーター（電子マニュアル））をダブルクリックして起動します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

ブルーレイディスクドライブ（HD DVD-ROM再生機能付き）モデル	ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチドライブ機能付き）を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ（DVD-R/RW with DVD+R/RWドライブ（DVD-R/+R 2層書込み））を搭載しているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV（地デジ/地アナ）モデル	地上アナログ放送と地上デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows Vista	Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Ultimate
Windows Media Center	Windows® Media Center
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
DVD MovieWriter for NEC	DVD MovieWriter® for NEC Ver.5
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
WinDVD BD/HD for NEC	InterVideo® WinDVD® BD/HD for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター™2008
「スタート」、「スタート」ボタン	Windows Vista® スタート ボタン

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business または Windows Vista® Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9） あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
（10）この製品は、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しています。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、DirectX、MSN、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
ADAMS-EPGは、テレビ朝日系列24局のデータ放送によるテレビ番組の情報配信サービスです。
Corel、InterVideo、Ulead、WinDVD、InterVideo WinDVD BD、Ulead DVD MovieWriterはCorel Corporationおよび/またはその関連会社の商標または登録商標です。
SmartVisionは、日本電気株式会社の登録商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
デジオン、DiXiMは㈱デジオンの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。

目次 CONTENTS

PART 6 Q&A 115

付　録　137

テレビを見るための準備

テレビを見る前に、アンテナケーブルの接続やテレビ初期設定が必要です。

PART 1
テレビを見るための準備

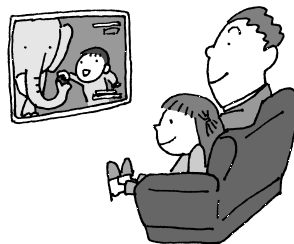
このマニュアルの読み方

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

このパソコンで楽しめるテレビ放送

デジタルハイビジョンTV(地デジ/地アナ)モデルでは、地上アナログ放送と地上デジタル放送を楽しめます。

●地上アナログ放送
今までのテレビ放送です。

●地上デジタル放送
2003年12月から始まった、新しいテレビ放送です。デジタル放送になっているため、今までのアナログ放送に比べて高画質、高音質です。また、データ放送などの新しいサービスが受けられるのも特長です。

モデル名とシリーズ名の対応は以下のとおりです。

モデル名	シリーズ名	視聴できる放送	
		地上デジタル	地上アナログ
デジタルハイビジョンTV(地デジ/地アナ)モデル	VALUESTAR W、VALUESTAR N、LaVie C	○	○

マニュアルの画面、説明について

■ 放送ごとに異なる操作について

放送波の種類ごとに説明内容が異なる場合、マニュアルの説明を次のマークで分けています。何もマークが付いていない説明は、すべての放送に共通の内容です。

地上アナログ放送　地上アナログ放送のみの内容を表しています

地上デジタル放送　地上デジタル放送のみの内容を表しています

●表記の例

■ 字幕放送を受信する設定になっていませんか？ 地上アナログ放送

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先する場合は、次の手順で字幕放送の設定を解除してください。

1 地上アナログ放送に切り換える

2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「映像/音声/字幕設定」を選んで【決定】を押す

3 「字幕切換」を選んで設定を「オフ」にする

4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

（地上アナログ放送の内容）

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか?

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

（すべての放送に共通の内容）

■ タイムシフトモードで見ていますか? 地上デジタル放送

デジタル放送をタイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

（地上デジタル放送の内容）

PART 1

テレビを見るための準備

こんな準備が必要です

アンテナケーブルの接続とテレビ初期設定が終わっているかたはすぐにテレビを見ることができます。
終わっていないかたは次の説明を読んで準備をしてください。

接続と設定は済んでいますか？

テレビを見るには、まずパソコンを使う準備(ケーブル類の接続、セットアップ作業)をする必要があります。
まだ終わっていないかたは、『準備と設定』の第1章〜第3章をご覧になり、準備をしてください。
パソコンを使う準備ができたら、次にテレビを見るための準備をおこないます。

■ テレビを見るまでの流れ

テレビを見るまでの流れは次のとおりです。すでにテレビ初期設定まで終わっているかたは、テレビを見る準備ができています。「よく使うリモコンのボタンについて」(p.16)に進んでください。

アンテナケーブル、B-CAS(ビーキャス)カードの準備をする

ご家庭のテレビと一緒で、パソコンでテレビを見るにはアンテナケーブルの接続が必要です。
また、デジタル放送のサービスを利用するために必要なB-CASカードをセットします。
詳しくは『準備と設定』第2章をご覧ください。

Windows Media Center(ウィンドウズ メディア センター)をセットアップする

テレビ(SmartVision)は「Windows Media Center」から起動します。
先にWindows Media Centerを使う準備が必要です。「Windows Media Centerをセットアップする」(p.6)をご覧ください。

テレビ初期設定(チャンネルや番組表の設定)をする

チャンネルや番組表、地域などの設定をおこないます。
「テレビ初期設定をする」(p.7)をご覧ください。

- CATV(ケーブルテレビ)から地上デジタル放送を受信できるかどうかは、各CATV会社により異なります。
- CATV会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーションなど)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のCATV会社にご確認ください。
- 視聴に別途ホームターミナルなどの装置が必要かどうかは、各CATV会社にお問い合わせください。ホームターミナルを接続して視聴する場合は、S映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と音声用ケーブルを使って接続します。接続のしかたについて詳しくは、PART5の「外部機器を接続する(VALUESTAR Nを除く)」(p.108)をご覧ください。なお、VALUESTAR NにCATVホームターミナルを接続することはできません。
- CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表などをご覧ください。

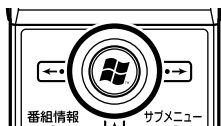
アンテナケーブル、B-CASカードの準備

パソコン本体にアンテナケーブルを接続し、添付のB-CASカードをセットします。
接続する端子の位置やB-CASカードをセットする位置はモデルによって異なります。『準備と設定』第2章をご覧ください。

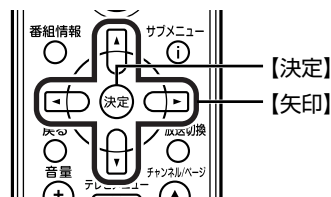
- アンテナケーブルはこのパソコンには添付されていません。また、ご自宅のアンテナコネクタの形状や、今お使いのアンテナケーブルの形状によって必要なものが異なります。詳しくは、『準備と設定』第2章をご覧ください。
- 機種により、B-CASカードをセットする位置や向きは異なります。

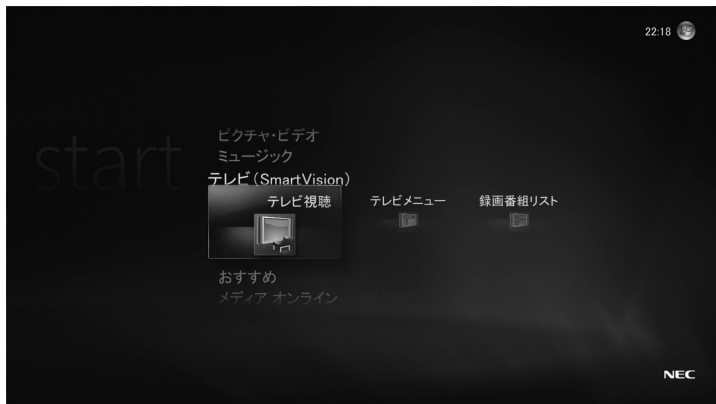
Windows Media Centerをセットアップする

このパソコンでテレビを見るには「SmartVision(スマートビジョン)」というソフトを使います。
SmartVisionは「Windows Media Center」というソフトから起動します。Windows Media Centerをはじめて使うときは、セットアップが必要です。

1 リモコンの【メディアセンター】を押す

セットアップの画面が表示されます。

2 「高速セットアップ」が選ばれていることを確認し、「OK」を選んで【決定】を押す

選ばれている項目は、先頭のマークが◉になっています。

セットアップが始まります。

次の画面(Windows Media Centerのメインメニュー)が表示されたら、セットアップは完了です。続けて、テレビの初期設定をします。

チェック

- ●セットアップを始める前に、リモコンに乾電池を入れておいてください。
- ●リモコン上部のフタを閉じるときに、指先などをはさまないようご注意ください。

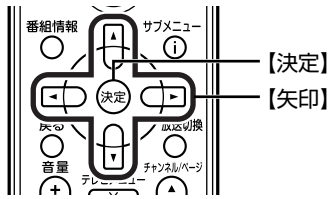
リモコンの準備について→『準備と設定』

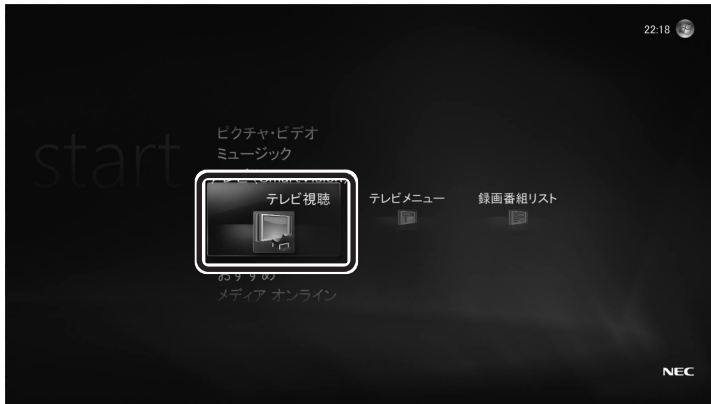
ポイント

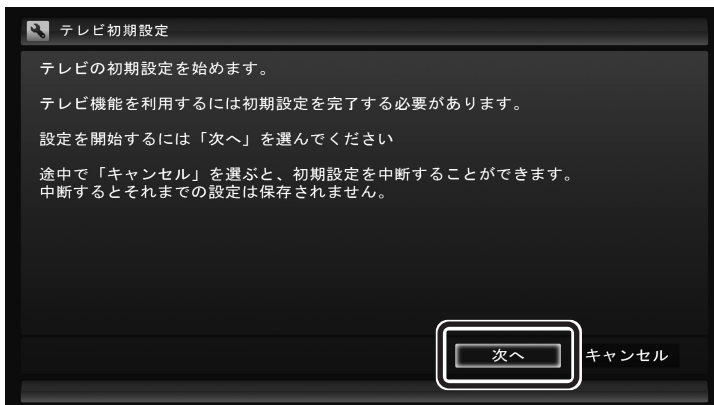
- ●「高速セットアップ」では、パソコンの状態などが自動的に確認され、その結果に合わせてWindows Media Centerが自動設定されます。

  「カスタムセットアップ」を選んだときは、パソコンの状態などを判断しながら手動で設定をおこないます。特に必要がない限り、「高速セットアップ」を選ぶことをおすすめします。
- ●Windows Media Centerのメインメニューで「タスク」の「設定」を選び、表示された「設定」画面で「全般」-「Windows Media Center セットアップ」を選んで、Windows Media Centerのセットアップをやりなおすことができます。

テレビ初期設定をする

テレビ初期設定の操作はリモコンの【矢印】と【決定】を押しておこないます。

■ チャンネルの設定などをおこなう

1 Windows Media Centerの「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」を選んで【決定】を押す

「テレビ初期設定」が表示されます。

2 「次へ」を選んで【決定】を押す

チェック

- 深夜0時から翌朝6時までの間は、地上アナログ放送の番組表サービス(ADAMS-EPG)が設定できません。ADAMS-EPGを利用するときは、これ以外の時間帯にテレビ初期設定を行ってください。
- テレビ初期設定を中止するときは、「キャンセル」を選んで【決定】を押してください。なお、中止したときは、それまでに設定した内容は保存されません。
- CD/ハードディスクアクセスランプが点滅しているときは、パソコンの設定中です。次の画面が表示されるまで何も操作せずに待ってください。

ポイント

それぞれの項目は、マウスでクリックしても選べます。

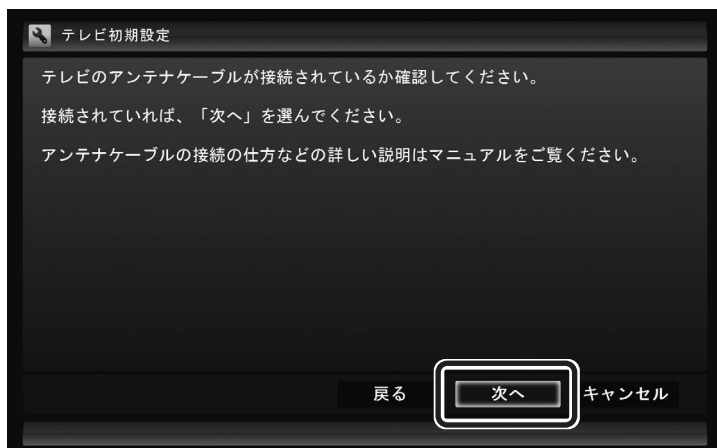
3 「次へ」を選んで【決定】を押す

4 チャンネル設定をする

①ここを選んで【決定】を押し、【矢印】を押してお住まいの都道府県を選び、【決定】を押す

②ここを選んで【決定】を押し、【矢印】の上下ボタンで数字を選ぶ。次の数字を入れるときは、【矢印】の右ボタンを押す。
郵便番号をすべて入れたら、【決定】を押す

③都道府県と郵便番号が正しいことを確認したら、「次へ」を選んで【決定】を押す

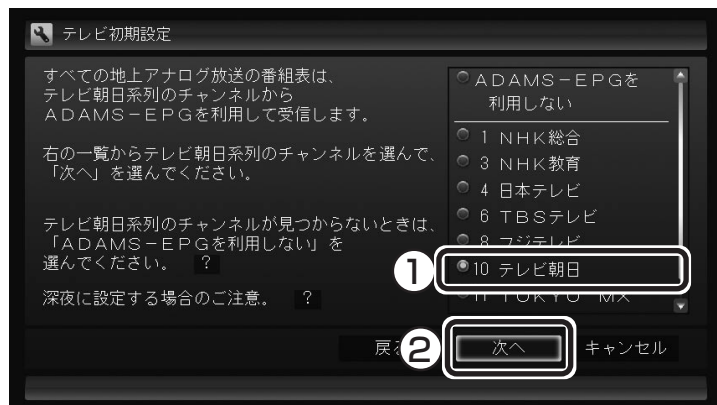
自動的に、チャンネルの検索が始まります。チャンネルを探し終わると、「完了しました。」と表示され、画面右下に「次へ」が表示されます。

アンテナケーブルの接続について→『準備と設定』第2章

画面内に「？」が表示されているときは、「？」を選んで【決定】を押すと、その項目についての説明が表示されます。

5 「次へ」を選んで【決定】を押す

6 地上アナログ放送の放送局を確認する

① テレビ朝日系列の放送局の左が になっていることを確認する

②「次へ」を選んで【決定】を押す

自動的に番組表の受信時刻が設定されます。設定が終わると、画面右下に「次へ」が表示されます。

7 「次へ」を選んで【決定】を押す

パソコンの時刻修正が始まります。修正が終わると、画面右下に「次へ」が表示されます。

ポイント

地上アナログ放送の番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から送信されます。

各地域の番組表を送信している放送局は、次のとおりです(2007年8月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
あさひテレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ~テレ	テレビ朝日

チェック

「ADAMS-EPGを利用しない」を選択すると、デジタル放送の番組表を受信する設定のみをおこないます。その場合、手順7、手順8の画面は表示されません。手順9へ進んでください。

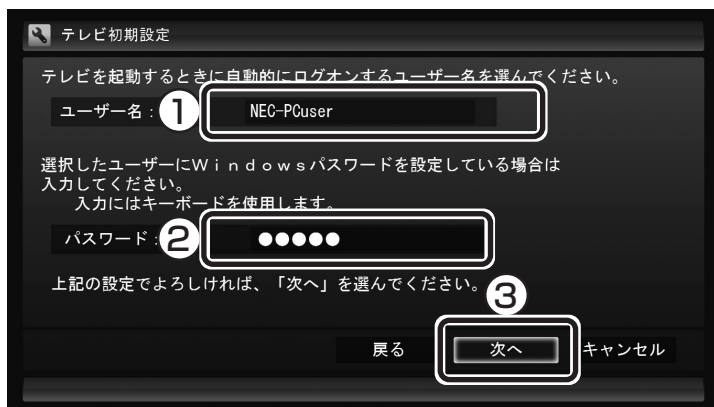
8 「次へ」を選んで【決定】を押す

Windowsのログオンパスワードを設定しているときは、ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。設定していないときは、次のページに進んで、設定結果について確認してください。

9 パスワードを入力する

① ログオンしているユーザー名が表示されていることを確認する（ユーザー名は一例です）

② ここを選んで【決定】を押し、キーボードでパスワードを入力する

③「次へ」を選んで【決定】を押す

続けて、次ページに進んで、設定結果について確認してください。

- この画面は、Windowsのログオンパスワードを設定していない場合は表示されません。
- この画面の設定を行うと、Windowsが省電力状態(スリープ、休止状態)から復帰するときにパスワードを入力しない設定になります。

■ 設定ができたか確認する

続けて、設定ができたか確認します。
確認が必要ない画面については、表示されないものもあります。

1 B-CASカードの確認

この画面が表示された場合は、B-CASカードに問題があります。

『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードをセットしなおしてください。

問題がない場合は、この画面は表示されません。次の手順に進んでください。

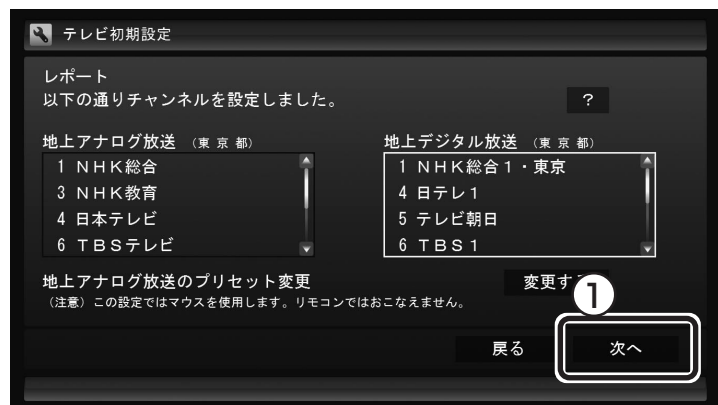
① B-CASカードをセットし直したら、「B-CASカードのテスト」を選んで【決定】を押す

② 「B-CASカードは正常です」と表示されたら、「次へ」を選んで【決定】を押す

2 チャンネル設定の確認

設定できたチャンネルが表示されます。

「チャンネルが見つかりませんでした」と表示された場合も、「次へ」を選んで設定を進めてください。

① 「次へ」を選んで【決定】を押す

チェック

● 手順1の画面は、B-CASカードに問題がない場合は表示されません。

● 「B-CASカードを読み取れません。」と表示された場合は、B-CASカードが正しくセットされていない可能性があります。『準備と設定』第2章をご覧になり、B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

ポイント

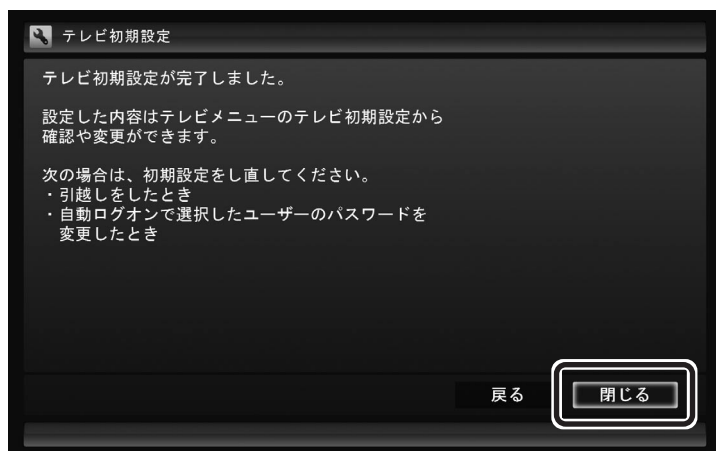
● チャンネルが見つからなかった場合は、テレビ初期設定が終わってから「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)をご覧ください。

● 県境地域など隣接県放送が受信可能な地域にお住まいの方は、「地上アナログ放送」に正しいチャンネルが表示されないことがあります。
必要に応じて、「地上アナログ放送のプリセット変更」の「変更する」を選んで【決定】を押し、手動で正しいチャンネルを設定してください。
なお、この操作ではマウスを使用します。操作については、「県境地域などにお住みのかたは、手動プリセットで、正しいCHプリセットに設定しなおしてください」(p.122)の手順7をご覧ください。
設定が終了したら「完了」をクリックしてください。リモコンで操作する画面に戻ります。

3 番組表と自動ログオンの確認

番組表の受信についてと自動ログオンするユーザー名が表示されます。

① 「次へ」を選んで【決定】を押す

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

テレビ画面が表示されます。

これで、テレビの初期設定は終了です。
設定が終わったら、「よく使うリモコンのボタンについて」(p.16)に進んでください。

設定がうまくいかなかったときや、設定は終わったが見られない放送があるときは、次の「テレビ初期設定で困ったら」をご覧ください。

- 番組表を毎日受信する設定にすると、番組表を受信するためにパソコンの電源が切れていても自動的に電源ON/OFFします(LaVie Cの初期設定状態は除く)。
- LaVie Cの出荷時設定では電源を切る(シャットダウンする)と、番組表の受信や予約録画のための自動起動をしません。番組表や予約録画をしたいときは、省電力状態でパソコンを終了させるか、電源を切った状態からの自動起動を有効にしてください。

  電源を切った状態からの自動起動を有効にするときは、テレビメニューの「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」から設定を変更してください。ただし、電源を切った状態からの自動起動を有効にすると、予期しない状況でパソコンが起動する可能性があります。本機を持ち運んでいるときなどに起動すると、故障などの原因になりますのでご注意ください。必要がない場合は、ご購入時のままの設定で利用することをおすすめします。

テレビ初期設定で困ったら

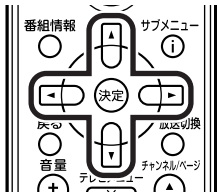
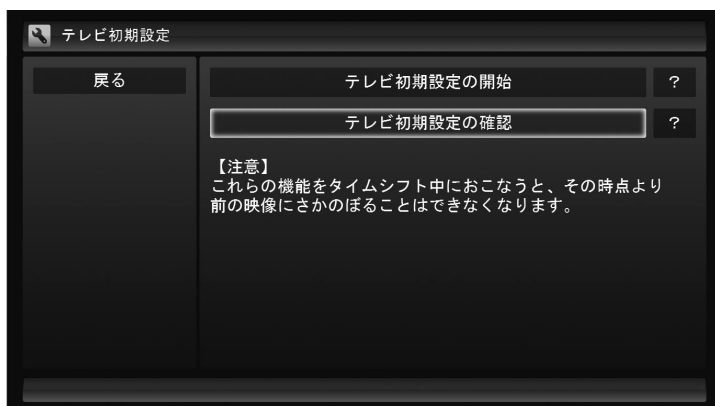
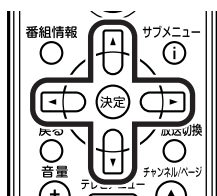
テレビ初期設定で、設定がうまくいかないときや、設定をしても見られない放送があるときは、テレビ初期設定を完了したあとに次の説明をご覧ください。

■ 問題点を確認する

次の手順で、設定の問題点を確認してください。

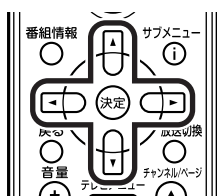
1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」-「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す

3 「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す

初期設定の確認画面が表示され、確認の結果が表示されます。

■ 地上デジタル放送の受信レベルに問題があったときは

地上デジタル放送

1 「受信レベル」の「地上デジタル」を選んで【決定】を押す

アンテナの受信レベルが表示されます。

●受信レベルがすべて0、またはチャンネルスキャンをおこなっても受信可能チャンネルが表示されない場合
お近くの電気店などに、次の点を確認してください。

・ パソコンをお使いの場所が地上デジタル放送のサービスエリア内か
・ 地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか

また、CATVをご利用の場合は、CATV事業者に、地上デジタル放送を再配信しているかをご確認ください。

チェック

●チャンネルスキャンの結果、受信可能チャンネルが表示されても、受信レベルが55以下の場合は、正常に受信することができません。受信レベルが56以上になるようにアンテナを調整してください。

●地上デジタル放送を正常に視聴できない場合は、PART6の「テレビが映らない」(p.117)および「テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。地上アナログ放送の画面の映りが悪い(受信不安定になる)。地上デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる」(p.119)をご覧ください。

●地上アナログ放送の受信レベルは確認できません。

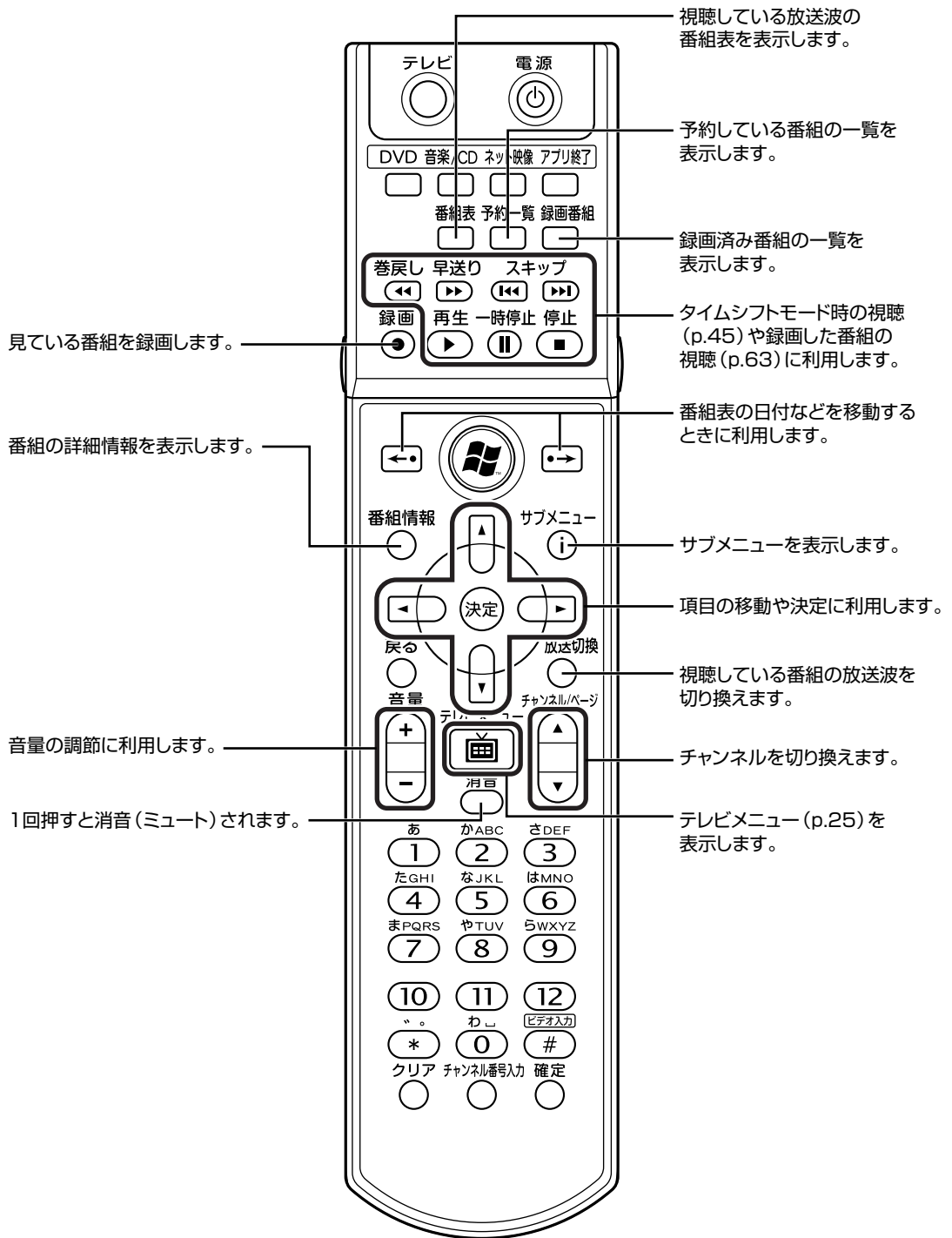
■ 次の作業をおこなってみてください

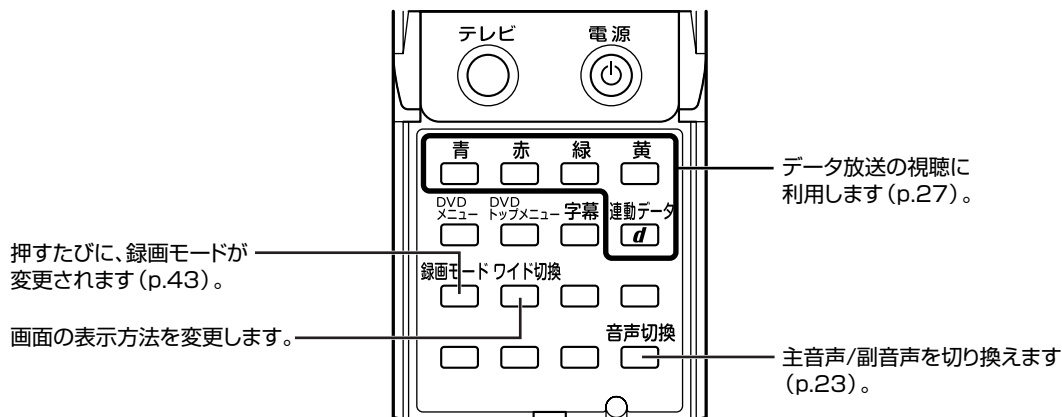
今までの手順で問題が解決しなかったときは、次の操作をおこなってみてください。機能が回復する場合があります。

●「テレビ初期設定」でチャンネルが見つからなかったとき
ここまでの作業が終わったら、テレビ初期設定をやりなおします。
リモコンの【テレビメニュー】を押して、「設定」-「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の開始」を選んで、テレビ初期設定をやり直してください。

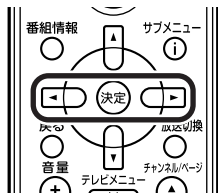
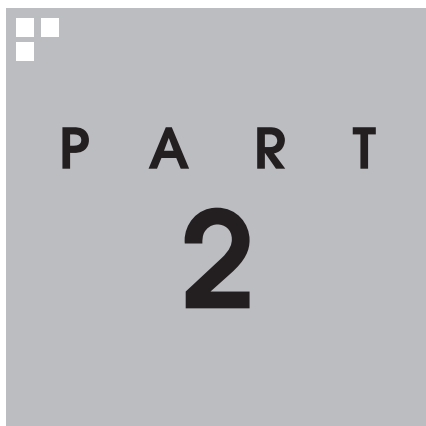
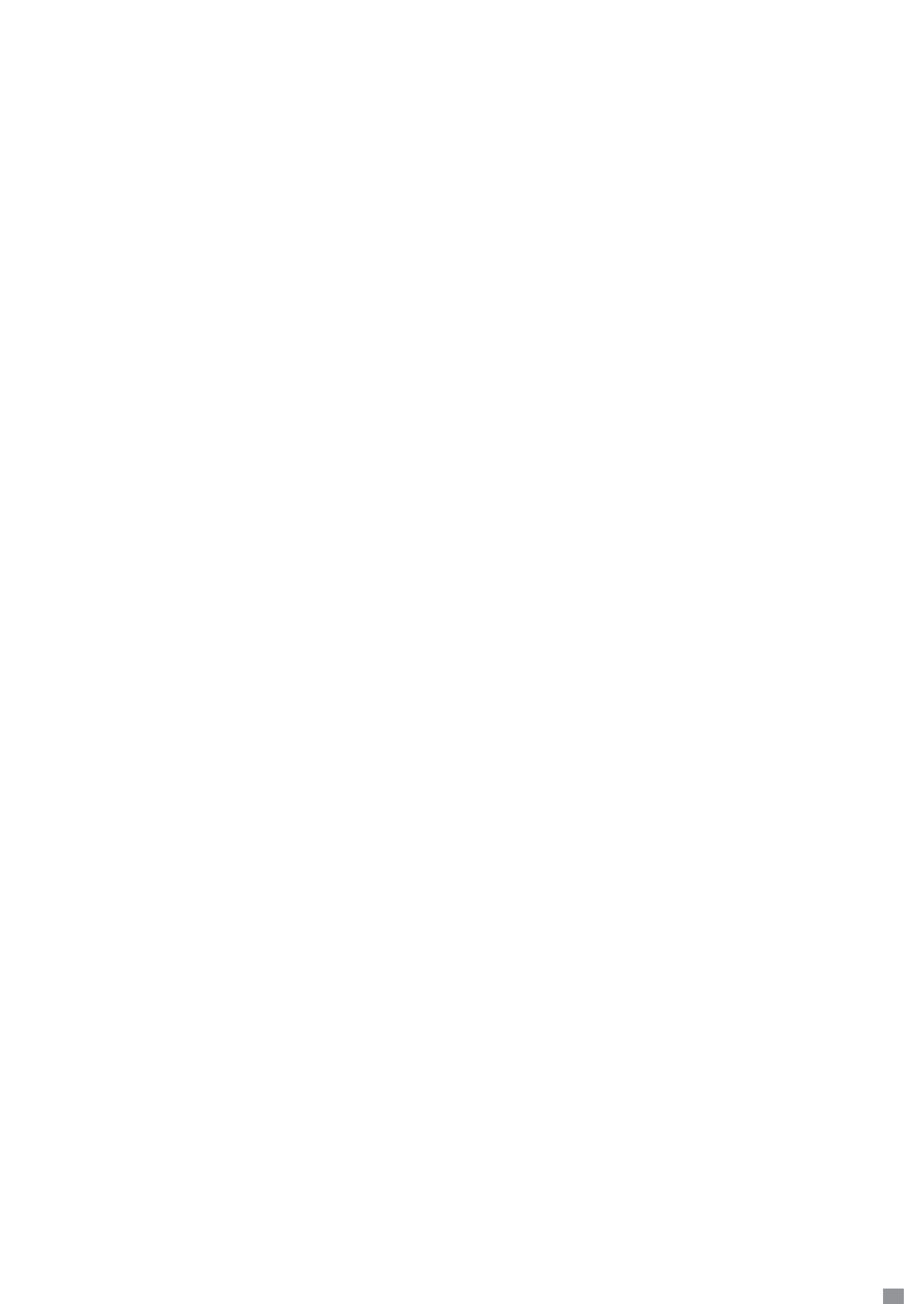
●県境地域などにお住まいのかたで、チャンネルの設定がうまくいかなかったとき
地上アナログ放送のチャンネルを手動で設定しなおすことができます。必要に応じてPART6の「県境地域などにお住みのかたは、手動プリセットで、正しいCHプリセットに設定しなおしてください」(p.122)の操作を行ってください。

● 設定は終わったが、見られない放送があったとき
ここまでの作業が終わったら、PART2の「テレビをつける」(p.20)の方法で放送が見られるかどうか確認してください。
見られない場合、お客様の環境で受信できない放送である可能性があります。詳しくはお近くの電器店にご相談ください。

よく使うリモコンのボタンについて

リモコンのボタンは、モデルによって一部異なります。

■ リモコンのフタを開いた所

リモコンのボタンは、モデルによって一部異なります。

■ こんな使い方もあります

全画面でタイムシフトまたは録画番組の再生をおこなっている場合は、リモコンで次の操作が可能です。

【矢印】の左ボタン：巻き戻し
【矢印】の右ボタン：早送り
【決定】：一時停止/再生（押すごとに一時停止と再生が切り換わります）

PART
2

テレビを見る

さっそく、パソコンでテレビを見てみましょう。
見るだけでなく、番組表やテレビメニューなど、パソコンならではの充実した機能が楽しめます。

※パソコンの電源を入れた直後は、Windowsの各種設定や環境チェックのためにソフトの動作が遅くなる場合があります。そのため、Windows起動後、すぐにテレビ(SmartVision)を起動したり、リモコンの【テレビ】ボタンでパソコンを起動した場合は、テレビの映像が乱れることがあります。
※テレビを快適に視聴するために、必要でないソフトはすべて終了することをおすすめします。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

⚠注意

●映像をご覧になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
●テレビを起動する前に、音量を確認し、調節してください。

PART 2
テレビを見る

基本的な使い方

ここでは、テレビを見るための基本操作を説明します。一般のテレビと同じように、リモコンで操作できます。

テレビをつける

■ テレビ映像を表示する

1 リモコンの【テレビ】を押す

SmartVision(テレビを見るために使うソフト)が起動して、テレビが表示されます。パソコンが省電力状態や電源が切れている状態でも、【テレビ】を押すと電源が入り、テレビが見られます。

■ Windows Media Centerからテレビ(SmartVision)を起動する

Windows Media Centerを起動し「テレビ(SmartVision)」-「テレビ視聴」を選んでテレビを起動することもできます。

チェック

- ●テレビを見ているときに、テレビ映像の手前に他のソフトのウィンドウなどが表示されることがあります。
テレビを快適に視聴するために、必要ないソフトはすべて終了することをおすすめします。
- ●他のソフトが動作している場合などは、パソコンの負荷状況によって、映像がコマ落ちしたり、操作に対する反応が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。
- ●マルチユーザー環境で使用しているときは、電源が切れている状態で【テレビ】を押すと、ユーザーを選ぶ画面が表示されます。

チェック

「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」をクリックして、テレビ(SmartVision)を起動することもできます。

この手順で起動したときは、マウスで使う画面が表示されます。詳しくは、PART5の「マウスで使うための画面」をご覧ください。

なお、最初に起動したときのみ、テレビの初期設定(p.7)が必要となるため、リモコンで使う画面が表示されます(この場合でもマウスを使って設定を進めることができます)。

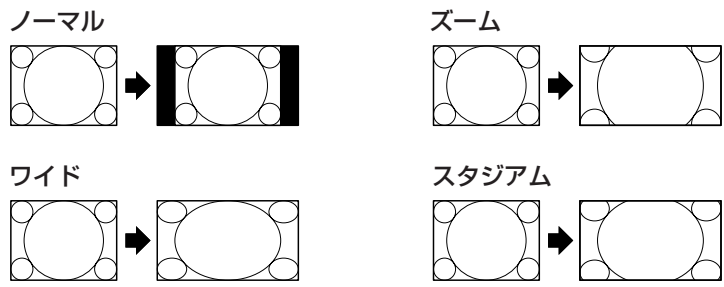
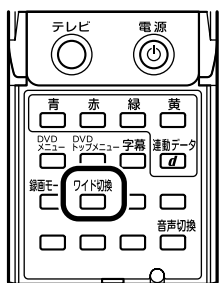
■ 操作パネル

テレビを見ているときにマウスを動かすと、画面に操作パネルが表示されます。
テレビの基本操作は主にリモコンでおこないますが、操作パネルを使ってマウスでも操作できます。

■ 全画面表示のときの画面の表示方法を変える

地上アナログ放送など画面サイズが4:3の比率になっている放送で、画面の表示方法を次の4つから選べます。

表示方法	説　明
ノーマル	4:3表示の画面で表示されます。画面の左右が黒く表示されます。
ワイド(フル)	4:3表示の画面を16:9に拡大して表示します。
ズーム	縦横比を保ったまま4:3画面を16:9に拡大します。画面の上下が切れた状態で表示されます。
スタジアム※	水平方向が、一般にノンリニアスケーリングと呼ばれる画面になります。画面の中央はあまり拡大せず、画面の左右を拡大して4:3画面を16:9に表示します。上下約10%はカットして表示されます。

※：地上デジタル放送には対応していません。

リモコンのフタを開けて【ワイド切換】を押すと、表示が切り換わります。

フタを開けた状態

ポイント

● 操作パネルのボタン表示は、見ている放送やモード、また機種によって異なります。
● 操作パネルの「戻る」は、データ放送視聴時のリモコンの【戻る】と同じ動作をします(p.28)。

チェック

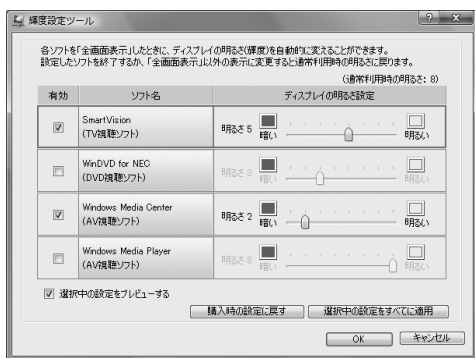
● 地上デジタル放送など、画面サイズが16:9の比率になっている放送は、フルスクリーンモードでは常に正しい比率で画面いっぱいに表示されます。
● デジタル放送では、番組の画面サイズが4:3の比率に見えても、実際には16:9の比率で放送されていることがあります。その場合は、【ワイド切換】を押しても表示が切り換わりません。
● このテレビ機能を、営利目的または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等の公の施設に設置した場合、ズーム、ワイド、およびスタジアム表示機能を利用して、画面のフレーム表示や圧縮、引き伸ばし表示等をおこなわないでください。著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

画質を調整する

画質(明るさ／コントラストなど)は、グラフィックアクセラレータの機能で調節できます。

画質の調整について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」-「画質調整機能」

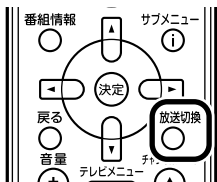
輝度設定ツールについて(VALUESTAR Nのみ)

輝度設定ツールを使うと、テレビを表示したときにディスプレイの明るさを自動的に変えることができます(全画面表示のときのみ)。SmartVisionを終了するか、全画面表示以外の表示に変更すると通常利用時の明るさに戻ります。

参照

輝度設定ツールについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「輝度設定ツール」

VALUESTAR Nのテレビ画質は、ディスプレイの明るさを最大にして全画面で視聴するときに最適になるよう調整されています。明るさが変わると、コントラストや色合い、色の濃さに影響しますが、故障ではありません。

放送波を切り換える

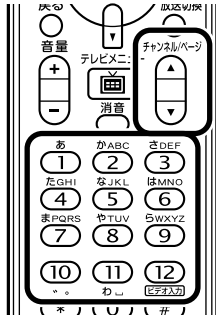
別の放送波に切り換えるには、リモコンの【放送切換】を押します。

押すごとに、次のように切り換わります。
地上アナログ→地上デジタル→地上アナログ→…(以降繰り返し)

ポイント

テレビメニューから、放送波を切り換える方法もあります。

テレビメニューについて→「テレビメニューを使う」(p.25)

チャンネルを切り換える

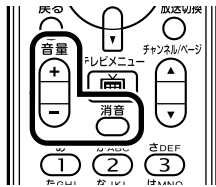
チャンネルを切り換えるには、リモコンの【チャンネル/ページ】を押します。数字ボタンでもチャンネルを変更できます。

ポイント

●番組表やテレビメニューから、見たい番組を選ぶ方法もあります。
●チャンネルがプリセットされていない数字ボタンを押してもチャンネルは切り換わりません。
●チャンネル切り換えには数秒かかります。

参照

●番組表について→「番組表を使う」(p.30)
●テレビメニューについて→「テレビメニューを使う」(p.25)

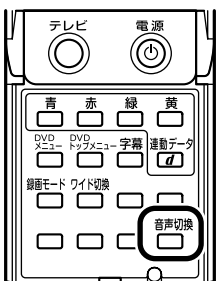
音量を調節する

音量を調節するには、リモコンの【音量】を押します。また、【消音】を押すと音量が最小になります(ミュート)。

ポイント

【消音】をもう一度押すと消音する前の音量に戻ります。

パソコンの負荷状況によっては、音量を調節すると映像が一瞬停止する場合があります。

音声を切り換える

外国映画やスポーツ中継、ステレオ放送など、音声多重放送を見るときに音声を切り換えるには、リモコンのフタを開けて【音声切換】を押します。

フタを開けた状態

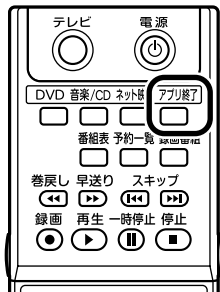
【音声切換】を押すごとに、音声が順番に切り換わります。
切り換わり方は放送により異なります。

チェック

●地上アナログ放送の放送内容が音声切換に対応していない場合は、操作をしても音声は変化しません。
●L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合は、両方のスピーカから同じ音が出ます。

テレビを消す

■ テレビを終了して、パソコンの画面を表示する

1 リモコンの【アプリ終了】を押す

テレビ画面が終了し、パソコンのデスクトップ画面が表示されます。

■ テレビを終了して、パソコンも終了する

1 リモコンの【電源】を押す

パソコンが終了します(ご購入時の状態では、スリープ状態になります)。

チェック

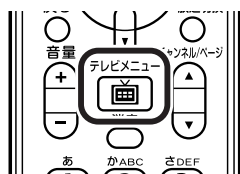
- 【電源】を押してからパソコンが終了するまでに、30秒～1分程度かかる場合があります。
- 次回、リモコンの【電源】やパソコン本体、キーボードの電源スイッチを押すと、Windows Media Centerのメニュー画面が表示されます。

PART 2 テレビを見る

テレビメニューを使う

テレビメニューは、テレビ操作の入り口です。テレビを楽しむために、テレビメニューの操作に慣れておきましょう。

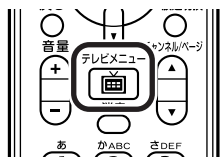
テレビメニューって何？

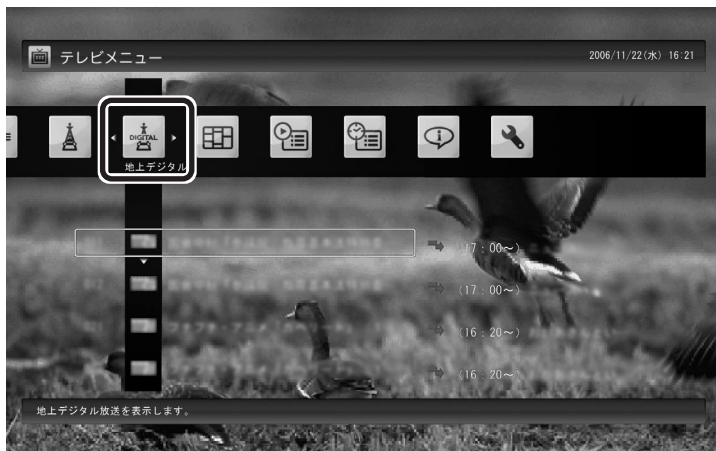
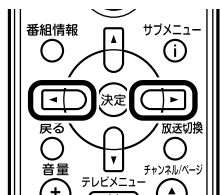
テレビメニューは、テレビ関連の機能メニューをまとめた画面です。
見たい番組を選んだり、番組表を表示したり、録画した番組を見たりなど、テレビの操作をするための入り口です。
リモコンの【テレビメニュー】を押すと表示されます。もう一度押すと、テレビメニューの背景に見えている映像の表示に戻ります。

テレビ機能がまとめられています。ビデオ入力の切り換え、各放送波のチャンネル選択、番組表、録画番組、予約一覧、設定などがあります。リモコンの【矢印】の左右ボタンで動かして選びます。

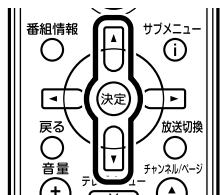
各機能の下のメニューが表示されます。リモコンの【矢印】の上下ボタンで動かし、【決定】で決定します。

テレビメニューの使い方

ここでは、地上デジタル放送の番組を見る手順を例に、テレビメニューの操作を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 リモコンの【矢印】の左右ボタンで「地上デジタル」のアイコンを選ぶ

「地上デジタル」のアイコンの下にチャンネルが表示されます。すでに番組表が受信できていれば、番組名も表示されます。

3 リモコンの【矢印】の上下ボタンで見たい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組が表示されます。

チェック

- 番組表が受信されていない状態では、番組名は表示されません。
- 地上デジタル放送の放送局ロゴは、ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けていると、自動的にロゴを受信してテレビメニューや番組表に反映されます。なお、テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 2 テレビを見る

データ放送を見る 地上デジタル放送

データ放送で、最新のニュースや天気予報など、多彩な情報を手に入れましょう。双方向サービスもあります。

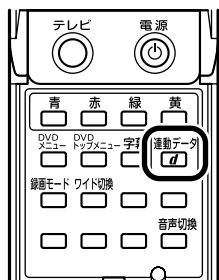
データ放送って何？

データ放送は、文字や画像で、いろいろな情報を表示する番組です。テレビ放送に関連した内容を表示する「番組連動データ放送」などがあります。
データ放送では、通信回線を使ってクイズやアンケートに参加できたり、オンラインショッピングができる双方向サービスも利用できます。

ポイント

表示されるフォントは日本電気（株）のフォント「FontAvenue」を使用しています。

データ放送を表示する

1 リモコンのフタを開けて、【連動データ】を押す

フタを開けた状態

データ放送の画面が表示されます。

チェック

- タイムシフトモード、録画済み番組では、双方向サービスを利用できません。
- データ放送の画面が表示されるまでに、しばらく時間がかかる場合があります。
- 双方向サービスを利用する場合は、インターネット接続が必要です。『準備と設定』をご覧になり、設定をしてください。

参照

ライブモードに切り換える→PART3の「タイムシフトモードにする」（p.45）

ポイント

番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。

データ放送の操作

データ放送は、リモコン、キーボードで操作できます。
それぞれ、次のように操作します。

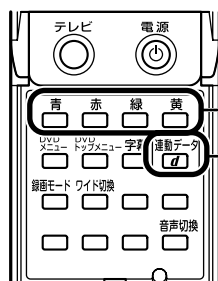
フタを開けた状態

チェック

データ放送の画面を直接マウスでクリックして操作することはできません。

チェック

●番組によっては、【連動データ】を押さなくてもデータ放送が表示されることがあります。
リモコンの【矢印】、【決定】、【戻る】がデータ放送の画面で動作しないときは、リモコンの【サブメニュー】を押してリモコン設定を「標準モード」から「データ放送モード」に変更してください。

●数字の入力方法は、番組により異なることがあります。キーボードから数字を入力できない場合は、画面の示す方法で入力してください。

キーボード	操作の内容
【D】※	データ放送画面を表示します。
【↑】【↓】【←】【→】	データ放送画面の項目を移動します。
【Enter】	選んだ項目を決定します。
【BackSpace】	ひとつ前の画面に戻ります。
【B】※	データ放送画面の、それぞれの色の項目（ボタン）を選びます。 【B】 ：青 【R】 ：赤 【G】 ：緑 【Y】 ：黄
【R】※	
【G】※	
【Y】※	
【0】～【9】※	数字を入力します。

※マウスで使うための画面（p.90）でのみ使用可。

■ 文字を入力する

データ放送では文字入力が必要な場合があります。画面の指示にしたがって操作すると、文字列をキー入力できるようになります。
文字を入力するときは、マウスで使うための画面に切り換えてください。

マウスで使うための画面を表示する
→PART5の「マウスで使うための画面」(p.90)

1 キーボードから文字を入力し、「OK」をクリック

データ放送を見るときの注意

参照

タイムシフトモード、ライブモードについて→PART3の「タイムシフトモードにする」(p.45)

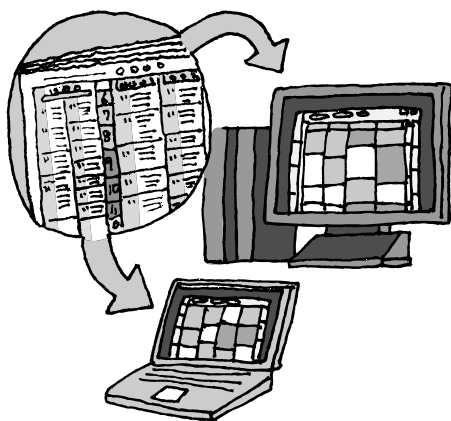
- 録画した番組の再生、またはタイムシフトモードでデータ放送番組を見る場合、データ放送の一部の操作ができません(通信回線を使用したデータの送受信(双方向サービス)や、受信機へのデータの保存など)。これらの機能は、ライブモードでご利用ください。
- データ放送の番組は、チャンネルを切り換えてすぐに表示されないことがあります。
- お使いのセキュリティソフトによっては、データ放送の双方向サービス(データの送受信)ができない場合があります。セキュリティソフトのマニュアルをご覧になって設定を変更してください。その際、「C:¥Program Files¥NEC¥SmartVision¥DtnCtl.exe」にアクセス権を設定してください。
- データ放送を受信する設定にしていると、映像が乱れる(コマ落ちが発生する)ことがあります。
  映像を優先するときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送」の「無効」を選んで【決定】を押してください。
- データ放送の文字が背景と重なって見えにくいときは、リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「データ放送の透過表示」の「無効」を選んで【決定】を押してください。この設定はSmartVisionを終了すると元に戻ります。
- デジタル長時間モードで録画した番組を再生する場合、または、タイムシフトモードの画質をデジタル長時間モードに設定した場合は、データ放送を視聴することはできません。

PART 2 テレビを見る

番組表を使う

自動的に更新される新聞のテレビ欄のような番組表を使うことができます。

画面で見る番組表

「今日はどんな番組があるのかな？」と思ったとき、何を見ますか？新聞やテレビ情報誌？
新聞や雑誌が手元になくても、パソコンの画面で番組表が見られます。画面で見る番組表から、見たい番組を選んだり、録画の予約ができます。
番組表は、テレビの電波で更新できます。
番組表は最大8日分※が表示されるので、番組のチェックにも最適です。

※地上アナログ放送の番組表は通常、次の日数分が配信されます。

●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア：7日分
●北九州エリアのNHK総合、NHK教育：2日分
●上記以外のエリア：最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

番組表を受信する

番組表は、テレビの電波から受信することができます。
テレビ初期設定をおこなったときに、番組表を受信する時刻は自動的に設定されていて、設定された時刻になると番組表が自動的に受信されます。

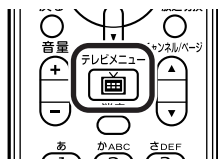
■ 番組表の受信に関する注意

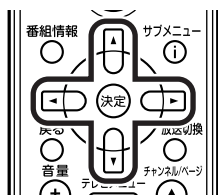
●テレビを視聴しているとき、番組表は自動的に受信されません。
●番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
●録画予約している時間と重なっているときは、番組表を受信できません。
●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態でも、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。（LaVie Cをお使いの場合は、ご購入時の状態から設定を変更する必要があります。「テレビメニュー」の「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」で変更できます。）

ポイント

●ご購入時の状態では、番組表は1日1回、7時から19時の間に受信する設定になっています。録画予約などと重ならないよう、自動的に受信の時刻が設定されます。
●番組表をすぐ受信することもできます。「手動で番組表を受信するには」(p.36)をご覧ください。

番組表を見る

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」を選び、番組表を見たい放送波を選んで【決定】を押す

番組表の画面が表示されます。

ご購入直後など、番組表のデータがないときは、ここで番組表を受信(取得)するかどうか確認するメッセージが表示されます。必要に応じて、「手動で番組表を受信するには」(p.36)をご覧いただき、番組表を手動で受信してください。
なお、テレビ初期設定をおこなったときに番組表を受信する時刻が設定されているため、手動で受信操作をしなくても、設定された時刻になると番組表は自動的に受信されます。

ポイント

リモコンの【番組表】を押しても、番組表の画面を表示できます。

■ 番組表の使い方

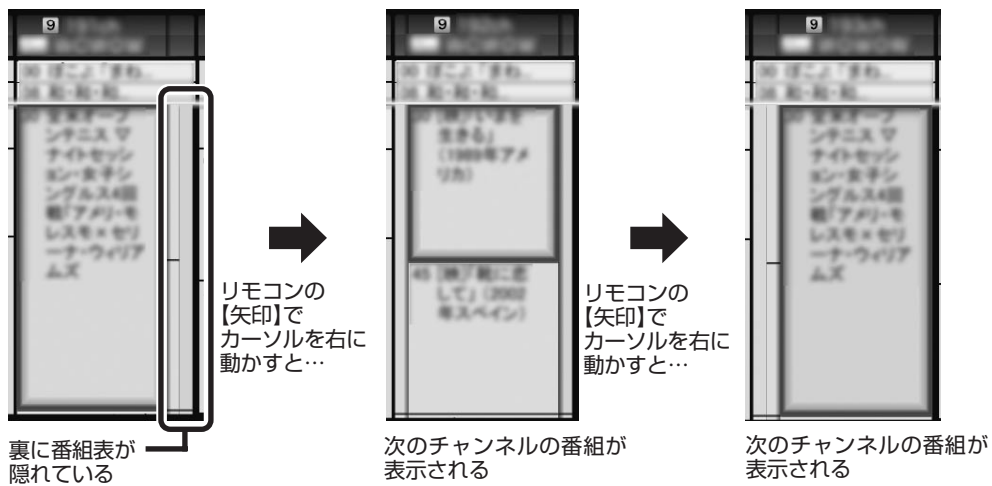
Ⓐ日付
　リモコンの【←・】【・→】を押して日付を移動すると、その日の番組表が表示されます。

Ⓑ番組表チャンネル
　チャンネルと放送局が表示されます。

Ⓒ番組表
　現在の時刻が青い横線で表示されます。番組はジャンル別に色分けされています。番組を選ぶと、「番組情報」欄に情報が表示されます。番組を選んで【決定】を押すと、選んだ番組を予約（または視聴）する画面に移ります。

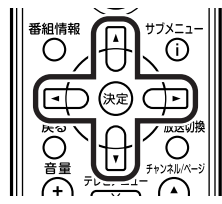
Ⓓプレビュー領域
　選局中の番組が表示されます。
　リモコンの【戻る】を押すと、ここに表示されている番組が全画面表示されます。

Ⓔ番組情報
　番組表で選んだ番組の情報が表示されます。
　リモコンの【番組情報】を押すと、詳しい情報が表示されます。

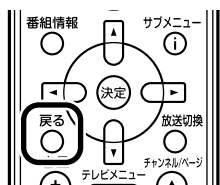
デジタル放送で、同じ放送局のチャンネル(たとえば051ch、052ch、053ch)ですべて同じ番組を放送しているときは、番組表では各放送局につき1つのチャンネルだけを表示します。
別の番組を放送しているときは、次のように番組を重ねて表示します。カーソルを動かすと、裏に隠れていたチャンネルの番組が表示されます。

■ 番組表から見たい番組を選ぶ

番組表の画面で、現在時刻には青い横線が表示されています。
見たい番組を選んで【決定】を押すと表示される番組を予約する画面で、「視聴する」を選ぶと番組が表示されます。

ポイント

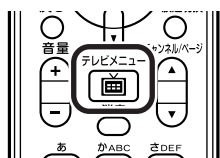
別の放送波の番組表に切り換えるときは、【テレビメニュー】を押してテレビメニューから選んでください。

録画予約について詳しくは、PART3の「おてがる予約をする(番組表で予約する)」(p.48)をご覧ください。

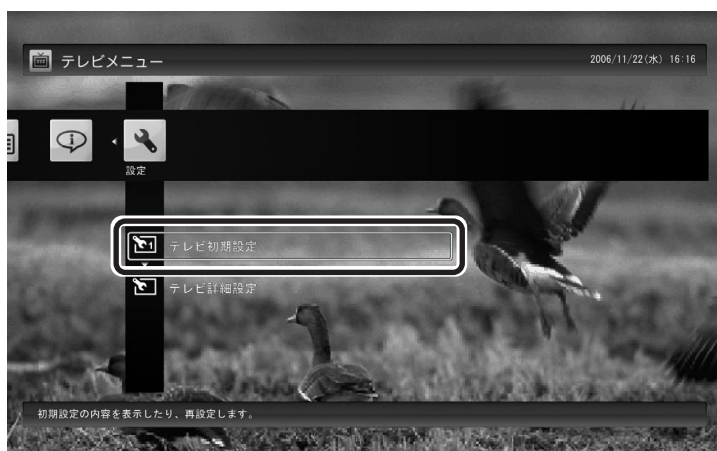
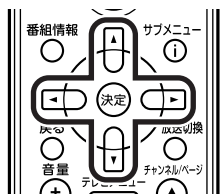
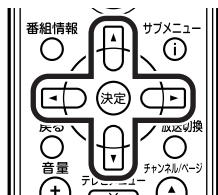
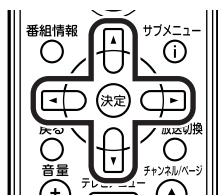
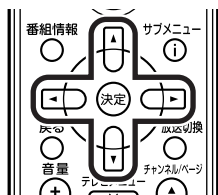
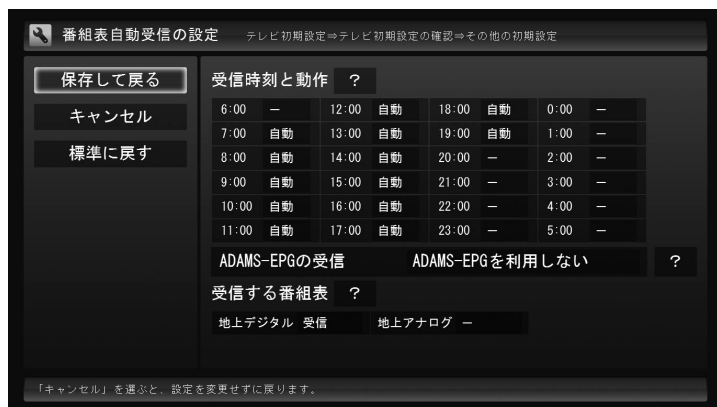
■ テレビを見る画面に戻る

番組表からテレビを見る画面に戻るには、リモコンの【戻る】を押します。

テレビを見る画面が表示されます。

番組表の受信時刻を変更する

テレビ初期設定をおこなったときに自動で設定されている番組表受信時刻を変更したい場合は、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す

3 「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す

4 「その他の初期設定項目」を選んで【決定】を押す

5 「番組表の受信設定」の状態を選んで【決定】を押す

この画面で設定できます。

●受信時刻と動作
「-」にするとその時刻は番組表を受信しません。
「受信」にするとその時刻は番組表を受信します。
「自動」にすると、その日に1度も番組表を受信していない場合に番組表を受信します。

●ADAMS-EPGの受信 地上アナログ放送
地上アナログ放送の番組表を送信している放送局(テレビ朝日系列の放送局)を選択します。

●受信する番組表
どの放送波の番組表を受信するかを選択します。

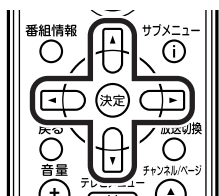
ポイント

●「ADAMS-EPGを利用しない」を選んだ場合は、一部画面が異なります。

●地上アナログ放送の番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から送信されます。

各地域の番組表を送信している放送局は、次のとおりです(2007年8月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
あさひテレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
メ~テレ	テレビ朝日

6 設定を変更したら「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

■ 番組表の受信時刻を設定するときの注意

- ●テレビを視聴しているとき、番組表は自動的に受信されません。
- ●番組表を受信中にテレビを起動すると、番組表の受信が中止されます。
- ●録画予約している時間と重なっているときは、番組表を受信できません。
- ●番組表の受信時刻にパソコンが省電力状態や電源が切れている状態でも、自動的にパソコンが起動して番組表を受信します。

チェック

LaVie Cの出荷時設定では電源を切る(シャットダウンする)と、番組表の受信や予約録画のための自動起動をしません。番組表や予約録画をしたいときは、省電力状態でパソコンを終了させるか、電源を切った状態からの自動起動を有効にしてください。
電源を切った状態からの自動起動を有効にするときは、テレビメニューの「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」から設定を変更してください。ただし、電源を切った状態からの自動起動を有効にすると、予期しない状況でパソコンが起動する可能性があります。本機を持ち運んでいるときなどに起動すると、故障などの原因になりますのでご注意ください。必要がない場合は、ご購入時のままの設定で利用することをおすすめします。

手動で番組表を受信するには

番組表は、放送波ごとに手動で受信(取得)することができます。

1 「番組表を見る」(p.31)の手順1～2の操作を行い、受信したい放送波の番組表を表示させる

購入後にはじめて番組表を受信するときなど、番組表のデータがない場合は、ここで番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。そのまま手順3に進んでください。

2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「番組表の取得」を選んで【決定】を押す

番組表の受信(取得)を確認するメッセージが表示されます。

チェック

- ●録画しているときは、地上デジタル放送の番組表が受信できません。
- ●地上アナログ放送の番組表を手動で受信するときは、あらかじめインターネットに接続されている必要があります。

地上デジタル放送の場合

地上デジタル放送の番組表を今すぐ取得しますか？

<注意>
番組表を取得中はチャンネルが自動的に切り換わります。
デジタル放送はライブモードになります。
以下の場合は番組表の取得を中止します。
・別のチャンネルや放送波に切り換えた
・録画を開始した
・タイムシフトモードにした

はい　いいえ

地上アナログ放送の場合

地上アナログ放送の番組表を今すぐ取得しますか？

<注意>
地上アナログ放送の番組表を今すぐ取得するときは、
インターネットに接続している必要があります。

はい　いいえ

3 「はい」を選んで【決定】を押す

番組表の受信が始まります。

受信が完了すると、「番組表を取得しました」というメッセージが表示されます。

4 「閉じる」を選んで【決定】を押す

受信された番組表が表示されます。

- 地上デジタル放送をタイムシフトモードで見ていたときは、ライブモードに切り換わります。
- 地上デジタル放送の番組表の受信中は、チャンネルが自動的に切り換わります。
- 地上アナログ放送の番組表の受信中は、受信の経過が表示されます。

チェック

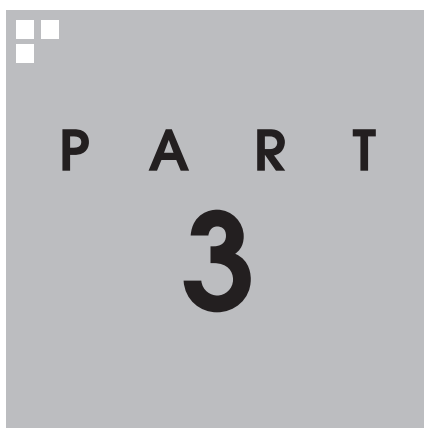
地上デジタル放送の番組表の受信中に次の操作をおこなうと、受信は中止されます。

・チャンネルを切り換える

・録画を開始する

・タイムシフトモードにする

・アナログ放送に切り換える

PART
3

録画・予約・再生する

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。今見ている番組はもちろん、番組表を使って予約した番組を、パソコンのハードディスクに録画できます。
録画された番組は番組名の一覧から選んで再生できます。だから「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。
また、見ている番組をビデオのように巻き戻す「さかのぼり録画」や、途中まで録画された放映中の番組をはじめから再生する「追っかけ再生」といった便利な機能も使ってみましょう。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 3
録画・予約・再生する

録画について

番組を録画する前に、知っておいていただきたいことを説明します。

録画をするときは、次のことに注意してください。

- 録画には、多くのハードディスク容量が必要になります。ハードディスクの空き容量に注意してください。テレビの画面でリモコンの【番組情報】を押すと、録画可能時間(残り時間)が表示されます。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してください。
- ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために、週1度程度を目安にディスクデフラグを実行してください。ディスクデフラグは「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグツール」で実行します。
- 録画中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。
- 録画をするときは必ず電源コードを接続しておいてください。LaVie Cでバッテリが接続されている場合も、電源コードの接続が必要です。
- 「録画可能時間(残り時間)」は目安としてご利用ください。録画中や録画の予約を設定したあとにパソコンのハードディスクの空き容量が増減する(他のソフトでデータを保存した場合など)と、実際に録画できる時間が「録画可能時間(残り時間)」で表示された時間と一致しなくなることがあります。

チェック

- システムの状態によっては、映像が乱れることがあります。
- ディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間が取れるときに実行してください。

参照

- 映像が乱れるときの対処について→PART6の「映像が乱れる(コマ落ちする)」(p.120)
- ディスクデフラグについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ ツール」

地上デジタル放送を録画するときの注意 地上デジタル放送

デジタル放送の録画は、地上アナログ放送よりも多くのハードディスク容量を使います。
録画した番組はこまめにDVDに保存したり、不要な番組を削除したりして、ハードディスク容量が不足しないようにしてください。

デジタル放送は、地上アナログ放送と同じように番組を録画できます。ただし、デジタル放送を録画する場合は次のような制限があります。注意してください。

- 録画できない番組がある
  一部の番組は、視聴はできますが録画はできません。また、番組によっては録画するために番組購入が必要な場合があります。
  番組が録画できるかどうかは、「番組表」画面の「番組情報」欄で確認できます。
- 録画した番組は編集できない
  このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。

チェック

- コピーワンス(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)の番組は、BD-RE(ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみ)またはCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存できます。CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する場合は、事前にアナログ変換の必要があります。詳しくは、PART4の「デジタル放送画質の番組をアナログ変換する」(p.73)をご覧ください。
- デジタル放送でもコピーフリー(コピー制御信号が含まれていない番組)の番組は、アナログ変換することで、地上アナログ放送の録画番組と同じ機能が利用できるようになります。

●ほかのソフトでは再生できない
このパソコンで録画したデジタル放送の番組は、このパソコンのSmartVisionでのみ再生できます。ほかの動画再生ソフトでは再生できません。
ただし、BD-RE(ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみ)またはCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する場合は、事前にアナログ変換の必要があります。

●録画したデータはコピーできない
デジタル放送画質で録画した番組やコピーワンスの番組の録画データは、コピーできません。

アナログ変換について→PART4の「デジタル放送画質の番組をアナログ変換する」(p.73)

■ 地上デジタル放送の録画に必要なハードディスク容量について

地上デジタル放送を録画するとき、録画モードや番組の種類によって録画に必要なハードディスクの容量が異なります。
録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。

ポイント

デジタル放送の録画時に画面に表示される「残り時間」(録画可能時間)は、この表を基準に算出したものです。
録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(SmartVisionで設定した容量。ご購入時は300Mバイトに設定されています)を引いたサイズを目安に算出しています。「残り時間」は目安の時間であり、録画する番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

録画モード	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特徴
デジタルダイレクト	地上デジタルハイビジョンテレビ放送録画時：約7.2Gバイト	放送された番組を、そのまま録画します。 ハイビジョン番組は本来のハイビジョン画質で録画できますが、ファイルサイズが大きくなります。 番組をそのまま録画するため、再生時にもデータ放送を楽しむことができます。
	地上デジタル標準テレビ放送録画時：約3.4Gバイト	
デジタル長時間	地上デジタルハイビジョンテレビ放送録画時：約3.6Gバイト	地上デジタルハイビジョンテレビ放送の番組を、「デジタルダイレクト」モードと比較して約2倍の時間、録画できます。 ハイビジョン番組はハイビジョン相当の画質で録画しますが、番組のシーン(動きの速い映像など)によっては一瞬ブロックノイズが表示されるなど、本来の放送画質とは異なる場合があります。また、データ放送、双方向データ放送は録画されません。

●デジタルダイレクトモードに関するご注意
データ放送は録画時点のものです。内容によっては再生時には利用できない場合があります(天気予報など)。
●デジタル長時間モードに関するご注意
地上デジタル標準テレビ放送を録画する場合は、長時間録画にはなりません。ただし、データ放送/双方向データ放送を録画しないため、「デジタルダイレクト」モードと比較するとファイルサイズは小さくなります。
●デジタル長時間で録画した番組は、独自仕様のためホームネットワークを使って配信することができません。配信については「映像をホームネットワークで配信する(対応モデルのみ)」(p.147)をご覧ください。

地上アナログ放送を録画するときの注意 地上アナログ放送

■ 地上アナログ放送の録画に必要なハードディスク容量について

録画モードと録画に必要なハードディスク容量の目安は次のとおりです。録画した番組は、選んだ録画モードによって、ファイルサイズ(必要な容量)が異なります。

ポイント

画面に表示される「残り時間」(録画可能時間)は、この表を基準に算出したものです。
録画データの保存先として設定されているドライブの空き容量から、録画を停止する空き容量(ご購入時は300Mバイトに設定されています)やタイムシフトで使用する容量などを引いたサイズを目安に算出しています。「残り時間」は目安の時間であり、番組によっては実際の録画時間と一致しないことがあります。

録画モード	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組を後でDVD MovieWriter for NECで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約955Mバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたいときに向いています。
超長時間	約612Mバイト	画質は落ちますが、ファイルサイズを最小にして「長時間」以上の録画ができます。
ユーザー設定	約612Mバイト～約3.9Gバイト(設定によって異なります)	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識があるかた向けの設定です。

後から番組を編集したりDVDにしたりする予定のときは、次のことに注意してください。

●録画した番組を後でDVD MovieWriter for NECを使ってDVDに保存するときは、「ユーザー設定」以外の録画モードで録画することをおすすめします。特に、編集などをする場合は「高画質」で録画することをおすすめします。

●市販の動画編集ソフトを使う場合は、ソフトのマニュアルをご覧になり、画質や録画サイズを決めてください。データサイズや画質によって編集できない場合があります。

チェック

●DVD MovieWriter for NECは、マウスで使う画面に切り換えて操作します。詳しくは、PART5の「番組を編集してディスクに保存する」(p.100)をご覧ください。

●編集する目的で、録画モードを「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下に設定してください。

●保存するDVDに合わせて、録画する番組のファイルサイズを決めて保存できます。詳しくは、「ぴったり録画をする」(p.56)をご覧ください。

録画を中断する条件

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了します。

- ・録画を停止する空きサイズ(ご購入時では300Mバイト)とタイムシフトで使用する容量を足した容量よりハードディスクの残り容量が少なくなったとき
- ・ハードディスクへの書き込み時にエラーが起きたとき
- ・放送休止状態になったとき
- ・番組の受信ができなくなったとき
- ・番組が、録画不可属性になったとき
- ・受信状態が不安定なとき

参照

ハードディスクの残り容量について
→オンラインヘルプ(p.92)の「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」の「録画を停止する空き容量サイズ」

PART 3
録画・予約・再生する

今見ている番組を録画する

ビデオと同じように、見ている番組をすぐに録画できます。

1 リモコンの【録画】を押す

録画が始まります。

録画した番組は、Dドライブに保存されます。

2 録画をやめたいところで【停止】を押す

これで録画ができました。録画した番組を見る方法は、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.63)をご覧ください。

■ 録画時間を設定する

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限･･･(以降繰り返し)。

また、録画時間を設定した状態でSmartVisionを終了させ、【電源】を押すと、画面が消えて録画を継続します。録画が終了すると、パソコンはスリープ状態になります。外出や就寝するときに便利な機能です。

■ 録画する番組の画質を変更する

リモコンのフタを開けて【録画モード】を押すと、録画の画質を変更することができます。画質を変更したいときは、録画する前に変更してください。

フタを開けた状態

参照

テレビを見る→PART2の「基本的な使い方」(p.20)

チェック

- 「コピー不可」の信号が含まれた映像は録画できません。信号が検出されると、自動的に録画は終了します。
- リモコンの【録画】を押しての録画より、あらかじめおこなわれた予約録画が優先されます。予約5分前に確認のメッセージが表示されます。

ポイント

- 【録画】を押してから、実際に録画が始まるまで、少しの間があります。「さかのぼり録画」(p.44)で巻き戻してから録画をするほうが確実です。
- 録画中の番組を巻き戻して「おっかけ再生」(p.65)することもできます。

ポイント

- 番組表を受信していないときは、録画時間の設定で「番組終了まで」を選ぶことができません。
- 電源ボタンを押したときの動作を「スリープ状態」、「何もしない」以外に設定したときは、録画中に【電源】ボタンを押すと録画が停止します。ご注意ください。

チェック

- タイムシフトモードでは、番組の視聴中も録画の画質を変更することはできません。
- この方法で録画したときは、「録画モード」には地上デジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)は表示されません。
録画終了後の録画番組リストで確認してください。

PART 3
録画・予約・再生する

さかのぼり録画をする

うっかり見逃してしまった決定的なシーン、ドラマの山場で突然の電話、そんなときは「さかのぼり録画」で解決。

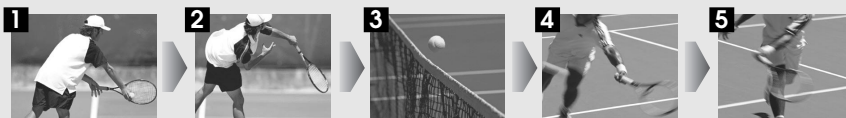
さかのぼり録画って何？

テレビを見ていて、「サッカーのゴールシーンを見逃しちゃった！」「あ、この番組録画しておけばよかった！」なんて経験はありませんか？
でも、もう大丈夫。「タイムシフトモード」なら、今見ている番組を一時停止したり、時間をさかのぼって録画できます。

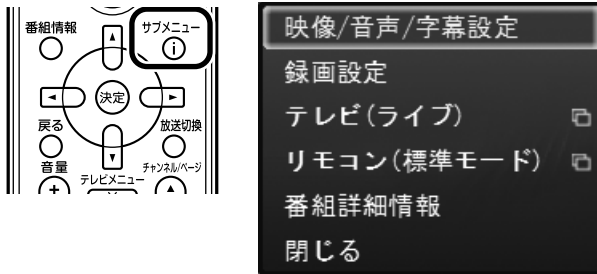
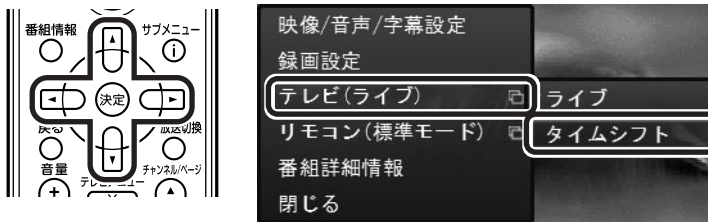
チェック

- さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止をするには、あらかじめ「タイムシフトモード」にしておく必要があります。
- タイムシフトモードで見ていなかった番組については、さかのぼれません。
- さかのぼれる時間は、1分～90分の間で設定できます（ご購入時の設定では60分です）。
- 地上アナログ放送で、録画保存先がDVDのときは、さかのぼり録画できません。
- デジタル放送をさかのぼり録画するときは、常にデジタル放送画質になります。

■ さかのぼり録画のしくみ

さかのぼり録画や、見ている番組の一時停止は「タイムシフト」という機能でおこなっています。
「タイムシフト」とは、見ている番組を、パソコンが自動的に録画し続ける機能です。今まで、リアルタイムで見ていた番組も、実はいったん録画してから再生しているので、一時停止やさかのぼりができるのです。
自動的に録画したデータは、設定した時間を過ぎた分から順に削除されていきます。また、テレビを終了するとすべて削除されるので、ハードディスクも無駄になりません。

タイムシフトモードにする

さかのぼり録画をするために、「タイムシフトモード」にします。ご購入時には、「ライブモード」になっています。

1 【サブメニュー】を押す

2 「テレビ(ライブ)」-「タイムシフト」を選んで【決定】を押す

画面が暗くなって、タイムシフトモードに切り換わります。

「ライブモード」に戻すときは、「ライブ」を選んでください。

チェック

「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。

ポイント

●タイムシフトモードとライブモードには、それぞれ次の特長があります。

・タイムシフトモード:

録画をしていない番組を一時停止したり、巻き戻したり、さかのぼり録画をしたりできます。

・ライブモード:

さかのぼり録画などの特別な操作はできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

●タイムシフトモードでは、表示されるテレビの画質は録画の画質と同じになります。ご購入時の状態では地上デジタル放送は「デジタルダイレクト」、地上アナログ放送は「標準画質」になっています。

●タイムシフトモードで、録画モードの「デジタル長時間」を選んだときは、データ放送が利用できません

●タイムシフトモードのときは、チャンネル切り換えに10秒程度の時間がかかります。

見ている番組を操作する

タイムシフトモードで見ている番組は、ビデオのように操作できます。

● 一時停止
【一時停止】を押します。もとに戻すときは、【再生】を押します。
一時停止できる時間は、ご購入時の状態では60分までです。

● 巻き戻し
【巻戻し】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、巻き戻せる限界まで巻き戻すと、再生が始まります。
巻き戻せる時間は、ご購入時の状態では60分までです。
【巻戻し】を押すたびに、巻き戻しのスピードが4段階で早くなります※。

● 早送り
【早送り】を押します。再生を始めたいところで【再生】を押すか、リアルタイムの放送に追いつくと再生が始まります。
【早送り】を押すたびに、早送りのスピードが4段階で早くなります※。
リアルタイムの放送に追いつくと、【早送り】ボタンは使えなくなります。

※巻き戻し、早送りの速度表示は目安としてご利用ください。

● スキップ
【スキップ】を押します。30秒前または後の映像から再生します。

● スロー再生
一時停止した状態で【早送り】または【巻戻し】を押すと、前後方向にスロー再生をおこないます。

参 照

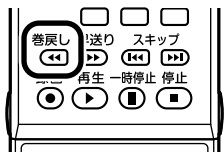
一時停止や巻き戻しできる時間の変更について→オンラインヘルプ(p.92)の「設定」-「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」

チェック

●巻き戻せるのは、今までタイムシフトモードで視聴していた番組だけです。
●巻き戻せるのは、タイムシフトモードに切り換えた時点までです。

さかのぼり録画をする

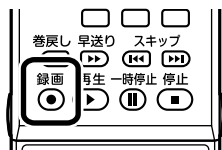
実際にさかのぼり録画をしてみましょう。

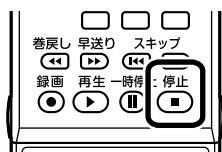
1 リモコンの【巻戻し】を押す

リアルタイムからどのくらい巻き戻しているかが画面に表示されます。

ポイント

巻き戻し中にリアルタイムで放送されているシーンも、カットされないので見逃しはありません。

2 録画を始めたいところより前まで戻ったら、【再生】を押す

3 録画を開始したい場面で、【録画】を押す

4 リアルタイムに追いつきたいときは、【早送り】を押す

5 録画を終了するときは、【停止】を押す

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

ポイント

【録画】を押してから、実際に録画が開始されるまで、少しの間があるので、録画したいシーンよりも少し前から録画を始めることをおすすめします。

チェック

さかのぼり録画をする場合、それまでハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時におこなわれています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

ポイント

【録画】を連続して押すと、録画時間を次のように設定できます。
無期限→番組終了まで(番組表を受信している必要があります)→15分後→30分後→60分後→90分後→120分後→無期限…(以降繰り返し)

PART 3
録画・予約・再生する

おてがる予約をする（番組表で予約する）

パソコンをハードディスクレコーダとして使ってみましょう。テレビの見方が変わります。

おてがる予約って何？

パソコンでテレビを見る楽しみの1つが、録画です。パソコンでの番組録画は、ハードディスクレコーダと同じ。今までのビデオテープのように、時間がたって映像が劣化してしまうようなことはありません。パソコンのハードディスク内に録画するから、山のようなビデオテープが邪魔になることもなし。

「おてがる予約」は、新聞のテレビ欄のような番組表から番組を選んで予約する方法です。今までのビデオデッキのように、開始時間や終了時間を入力する必要はありません。気になる番組をどんどん録画して好きな時間に見る。そんな新しいテレビの見方が始まります。

■ まだある、ほかの予約方法

ここでは、もっとも基本的な、番組表で予約する方法を説明します。
まずは、このやり方をおすすめしますが、慣れてきたら、こんな予約の方法はどうでしょう？

●番組検索で、まとめて予約

番組表では、番組のジャンルやキーワードから番組を検索できます。そこで、見たいジャンルやタレントの名前などから番組を検索して、まとめて予約してしまうと便利。番組表は最大8日分表示されるので、1週間に1度の予約で間に合うかも？

チェック

表示される番組表の日数は、地域によって異なります。

参照

●番組表について→PART2の「番組表を使う」（p.30）
●番組を検索して予約する方法→このPARTの「番組を検索して予約する」（p.57）

●おまかせ録画で、自動的に録画

このパソコンには、あらかじめ設定したキーワードなどの条件に合った番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能があります。見たい番組のキーワードを設定しておけば、今まで気付いていなかった好みの番組に出会えるかもしれません。

参照

おまかせ録画について→ＰＡＲＴ５の「おまかせ録画をする」（p.93）

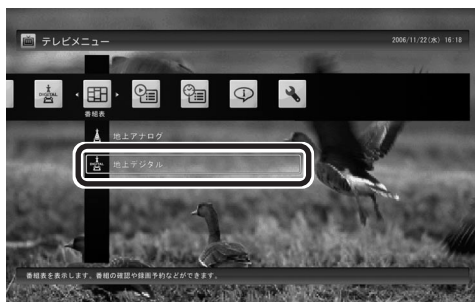
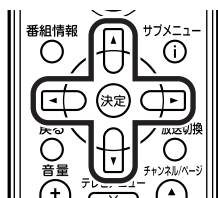
おてがる予約をする

番組表から録画の予約をしてみましょう。ここでは例として、地上デジタル放送の番組を予約します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

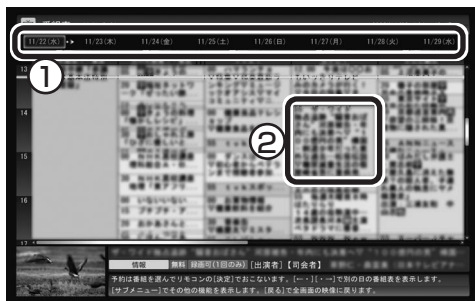
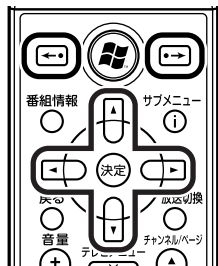
テレビメニューが表示されます。

2 「番組表」の、予約する放送の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 予約する番組を決める

① リモコンの【←・】【・→】で日付を選ぶ

② 予約したい番組を選んで【決定】を押す

番組を予約する画面が表示されます。

ポイント

- 【番組表】を押すと、最後に視聴していた放送波で番組表が表示されます。
- 予約を始める前に、パソコンの時計を合わせておいてください。時計がずれていると、録画時間などがずれてしまいます。
  パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。また、地上アナログ放送の番組表を受信するときも修正されます。

参照

番組表について→PART2の「番組表を使う」(p.30)

チェック

放送中の番組を選んで【決定】を押したときは、「予約する」と並んで「視聴する」と表示されます。

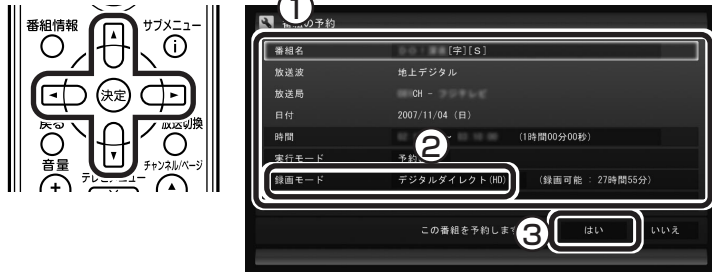
「視聴する」を選んで【決定】を押すと、その番組を見ることができます。録画はされません。

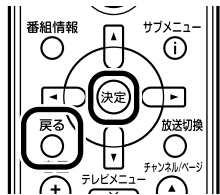
4 予約内容を設定する

①番組の情報を確認する

②「録画モード」を選ぶ

「録画モード」を選んで【決定】を押し、表示された一覧から録画モードを選んでもう一度【決定】を押してください。

③「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じ、「予約しました」というメッセージが表示されます。

5 【決定】を押す

番組表に戻ります。
テレビ画面に戻るときは、【戻る】を押してください。

これで、番組の予約ができました。

●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。予約が実行されません。

●予約をした後、パソコンを使わないときは、パソコンを省電力状態(スリープ状態/休止状態)にしておくか、電源を切っておきます。予約した時間になると、パソコンが自動的に復帰して予約を実行します(しっかり予約録画)。
LaVie Cの場合、ご購入時の設定では自動的に復帰しません。LaVie Cで電源を切った状態から自動的に起動させたいときは、テレビメニューの「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」から設定を変更してください。ただし、電源を切った状態からの自動起動を有効にすると、予期しない状況でパソコンが起動する可能性があります。本機を持ち運んでいるときなどに起動すると、故障などの原因になりますのでご注意ください。必要がない場合は、ご購入時のままの設定で利用することをおすすめします。

●予約録画した番組の再生方法については、このPARTの「録画した番組を再生する」(p.63)をご覧ください。

録画モードの用途と特長について→このPARTの「録画について」(p.40)

チェック

●地上アナログ放送を録画するときは、「詳細設定」の「録画保存媒体」で「DVD」を選ぶと、DVD-RAMに直接録画できます。

●デジタル放送を録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

●録画の開始時刻や終了時刻を手動で変更したとき、変更した時刻については延長などによる番組の放送時間の開始/終了の変更には追従しません。

●「実行モード」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約することができます。この場合は、スリープやスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

参 照

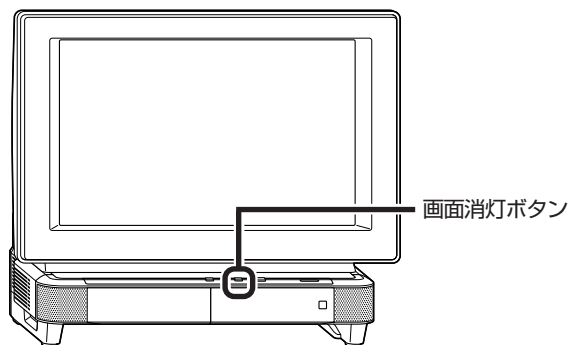
●ＤＶＤへの直接録画について→PART4の「DVD-RAMに直接録画する」(p.86)

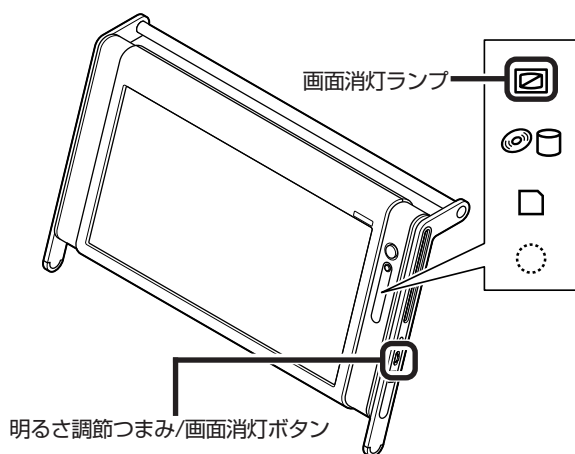
●視聴予約について→このPARTの「■視聴予約について」(p.52)

■ ナイトモードにする(VALUESTAR のみ)

ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画することができます。就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からでもナイトモードに切り換えられます。

● VALUESTAR Wの場合

本体の画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、ボタンのランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度画面消灯ボタンを押します。

● VALUESTAR Nの場合

本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押すと、ナイトモードとなり、本体正面の画面消灯ランプが青色に点灯します。もとに戻すときは、もう一度明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押します。(明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを上下させてもナイトモードは解除されます)。

■ 視聴予約について

録画の予約と同様の手順で操作し、「番組の予約」画面の「実行モード」で「予約視聴」を選ぶと、テレビの視聴を予約（視聴予約）できます。

視聴予約すると、設定した時間に予約した番組が表示されます。

予約した時間までパソコンを省電力状態にしたり電源を切ったりするときは、次の設定をおこなってください。1度おこなえば、毎回設定する必要はありません。

●「テレビメニュー」の「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押し、表示されたメニューから「自動ログオン設定」を選んで【決定】を押して、「自動ログオンの設定」で自動ログオンユーザーのテストと設定をおこなってください。

●「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとメンテナンス」-「スリープ解除時のパスワードの要求」で「スリープ解除時のパスワード保護」の「パスワードを必要としない」を◉にしてください。

●「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップのカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」で「再開時にログオン画面に戻る」を☐にしてください。

参照

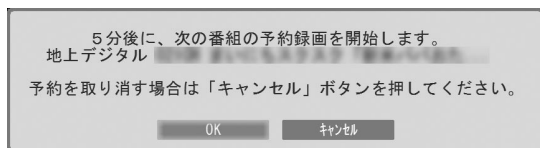
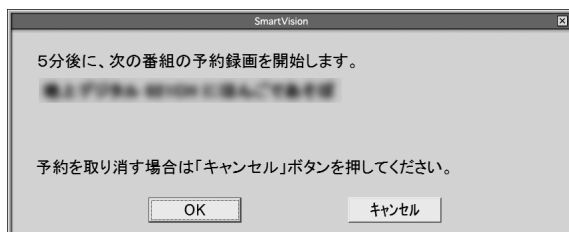
録画の予約について→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.48）

チェック

自動ログオンで設定されたユーザーと異なるユーザーで省電力状態にすると、パソコンが起動するときに自動的にログオンできずに、予約録画やテレビの起動が失敗する場合があります。
自動ログオンしたユーザーでパソコンを終了することをおすすめします。

予約の実行について

予約実行の5分前になると、次のような画面が表示されます。

5分後に、次の番組の予約録画を開始します。
地上デジタル
予約を取り消す場合は「キャンセル」ボタンを押してください。
OK キャンセル

このときログオンユーザーを切り換えたりすると、予約が実行できなくなります。

■ 省電力状態または電源が切れている状態のときは

予約時間の約8分から5分前にパソコンが自動的に起動します。予約視聴の場合を除いてSmartVisionは起動せずに予約を実行します。
予約の実行が終了すると、スリープ状態に移行するという内容のメッセージが表示されます。パソコンを続けて使うときは「いいえ」をクリックしてください。「すぐに移行」を選ぶか60秒経過すると、自動的にスリープ状態になります。

ポイント

●SmartVisionを手動操作で起動してテレビを視聴しているときは、予約終了時刻になってもスリープ状態にするメッセージは表示されません。自動的にスリープ状態にしたい場合は、SmartVisionを終了させておいてください。

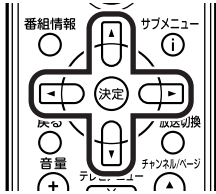
●予約による起動や、予約終了後の動作は設定を変更することができます（p.61）。

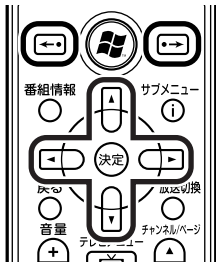
予約の確認や変更、取り消しをする

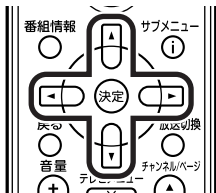
いったん予約をした後で、予約内容を変えたり取り消したりするには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「予約一覧」を選んで【決定】を押す

予約一覧が表示されます。

3 予約内容を確認または変更したい番組を選んで【決定】を押す

予約の内容が表示されます。

4 予約内容を確認または変更し、「予約を変更」を選んで【決定】を押す

予約一覧に戻ります。

ポイント

- 【←・】【・→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次の通りです。
  - ：ハードディスクの容量不足
  - ：繰り返し予約
  - ：おまかせ録画
  - ：ハードディスクに録画
  - ：DVDに録画
  - ：予約視聴

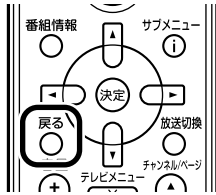
参照

録画番組を削除するには→このPARTの「録画した番組を削除する」（p.66）

ポイント

ここで「予約を取消」を選んで【決定】を押すと、予約を取り消せます。

デジタル放送を録画するときに、番組の開始時刻と終了時刻を変更すると「詳細設定」で「放送時間変更」は指定できなくなります。

5 【戻る】を押す

テレビ画面に戻ります。

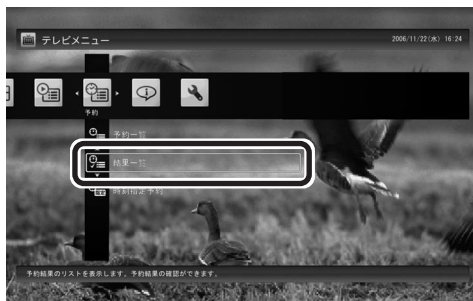
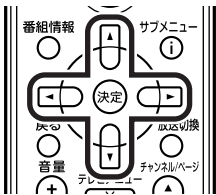
予約の確認、変更はこれで完了です。

予約の結果を確認する

予約した録画が成功したかどうかを確認できます。録画番組リストに録画した番組が見あたらないときは、この方法で確認してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「結果一覧」を選んで【決定】を押す

予約結果一覧が表示されます。

3 予約結果を確認する

予約結果は、「成功」、「失敗」の2種類で表示されます。

ポイント

- 【←・】【・→】を押して、予約の種類を切り換えることができます。
- 表示されるアイコンの意味は、次の通りです。
  - ：ハードディスクの容量不足
  - ：繰り返し予約
  - ：おまかせ録画
  - ：ハードディスクに録画
  - ：DVDに録画
  - ：予約視聴

予約するときの注意

番組を予約するときは、次のことに注意してください。

■ 一般的な注意

●同じ時間帯の地上デジタル放送と地上アナログ放送を同時に予約することはできません。

●地上デジタル放送と地上アナログ放送を、それぞれ200件まで予約できます(番組表受信予約、おまかせ録画を含む)。

●パソコンを長時間使用した後に予約録画をする場合は、一度パソコンを再起動してから録画予約の設定をすることをおすすめします。

●スリープまでの時間は、5分以上に設定してください。ご購入時は、20分に設定されています。

●予約は、現在の時刻から3分以上後の番組が対象です。

●録画は、開始時刻より若干(2〜6秒)遅れて開始される場合があります。

●予約開始前に、パソコンを電源オフの状態から自動起動する設定にしているときは、予約開始時刻の10分前を過ぎてから電源オフの状態にすると自動起動できません。また、パソコンの電源を強制的に切った場合は、自動起動できません。

●1か月以上先の予約をする場合は、電源を切った状態から自動起動しません。パソコンを省電力状態にしてください。

●予約後は、電源コードを差したままにしておいてください。抜いてしまった場合は、一度、パソコンを起動して予約を確認してください。

■ 地上デジタル放送を予約するときの注意 地上デジタル放送

●放送時間が連続した複数の番組を録画予約する場合、次のようになります。

録画開始時:録画開始処理のため、番組開始から若干(最大5秒)遅れて録画が開始されます。

録画終了時:最初の録画は番組終了時刻の15秒前に終了します。

■ 地上アナログ放送を予約するときの注意 地上アナログ放送

●放送時間が連続した複数の番組を予約録画する場合、前の番組は次の番組の録画開始処理のため、予約した時刻よりも15秒早く録画が終了します。

●番組表や番組検索機能でプリセットチャンネルとして設定されていない放送局を選んだ場合、ビデオ入力の予約になります。

ぴったり録画をする 地上アナログ放送

「DVD1枚に収まるように録画したい」というときは、「ぴったり録画」が便利です。

■ ぴったり録画って何？

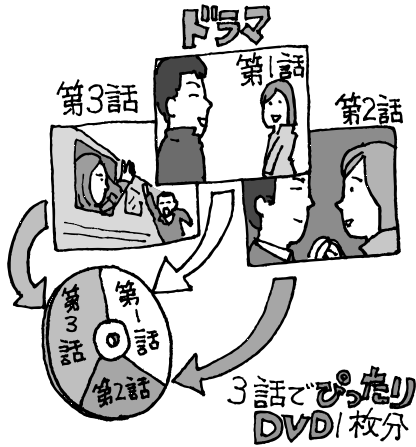
DVDに直接録画するときに、録画した番組がDVDに収まらないサイズでは困ってしまいます。ほかにも、「ドラマを3話まとめて1枚のDVDに保存したい」など、録画する番組のファイルサイズを決めて録画したいときは、ぴったり録画を使います。
ぴったり録画では、「DVD1枚分」「DVD1/2枚分」「DVD1/3枚分」などから容量を選んで録画できます。また、「ユーザープロファイル」として、お好みの容量を登録することもできます。

チェック

●ぴったり録画で録画した番組は、指定したファイルサイズに確実に収まるように、指定したサイズよりも少ないサイズで保存される場合があります。

●ぴったり録画で指定する「DVD1枚分」は、DVD-R（1層）の4.7Gバイトを意味します。

参照

DVDへの保存について→「PART4 録画番組をDVDなどに保存する」（p.69）

■ ぴったり録画をする

ぴったり録画は、おてがる予約や、おまかせ録画で利用できます。それぞれの設定画面で、ぴったり録画用の「録画モード（画質）」を選んでください。

●おてがる予約の場合

参照

●おてがる予約について→このPARTの「おてがる予約をする（番組表で予約する）」（p.48）
●おまかせ録画について→PART5の「おまかせ録画をする」（p.93）

チェック

デジタル放送で「ぴったり録画」を利用することはできません。

PART 3
録画・予約・再生する

番組を検索して予約する

「今週の番組表から好きな俳優の出ている番組だけを探したい」
こんなときには番組表を検索して、その人が出ている番組だけを一覧で見ることができます。

検索できる番組

番組表のデータから、出演者などのキーワードを指定して番組を検索できます。また、検索した番組を予約することもできます。

番組表のデータがないときは、番組を検索できません。

検索した番組を予約する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

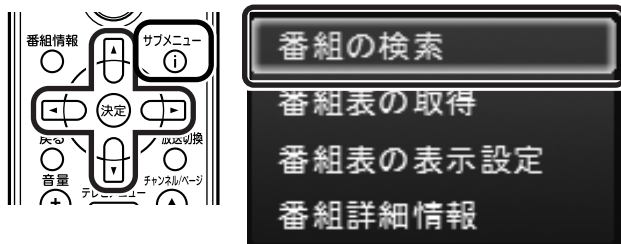
ポイント

【番組表】を押して、番組表を表示させることもできます。

2 「番組表」の、予約する放送（検索する放送）の種類を選んで【決定】を押す

ここでは「地上デジタル」を選びます。

番組表が表示されます。

3 【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「番組の検索」を選んで【決定】を押す

「番組表の検索」画面が表示されます。

4 検索条件を設定して、検索する

次の①～④の項目を検索条件として設定します。すべてを設定する必要はありません。

①キーワードを入力する
「キーワード」を選んで【決定】を押し、キーボードで検索用のキーワードを入力して、もう一度【決定】を押します。

②ジャンルを選ぶ
「ジャンル」を選んで【決定】を押し、検索用のジャンルを選んで、もう一度【決定】を押します。

③放送波を選ぶ
放送波を変更する場合は、「放送波」を選んで【決定】を押し、検索する放送波を選んで、もう一度【決定】を押します。

④放送局を選ぶ
「放送局」を選んで【決定】を押し、検索する放送局を選んで【決定】を押します。

⑤「検索実行」を選んで【決定】を押す

検索が始まります。検索が終わると検索結果が表示されます。

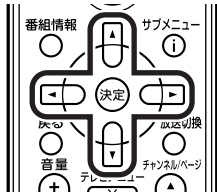
表示された番組を予約するときは、次の手順をおこなってください。

ポイント

- キーワードはキーボードを使って入力してください。
- キーワードには、出演者や番組タイトルなどを入力してください。

5 予約したい番組を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が表示されます。

この後の手順は、このPARTの「おてがる予約をする」の手順4以降(p.50)をおこなってください。
番組表の画面に戻りたいときは、【サブメニュー】を押して、表示されたメニューから「検索の終了」を選んで【決定】を押してください。

ポイント

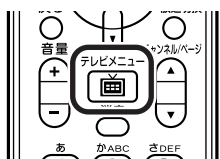
リモコンの【番組情報】を押すと、番組の詳しい情報が表示されます。

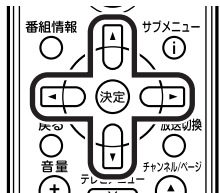
PART 3
録画・予約・再生する

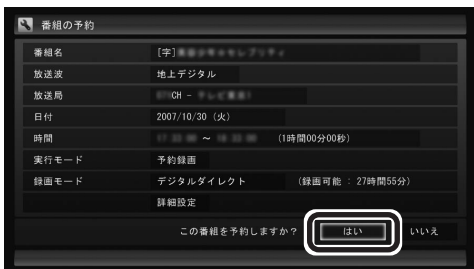
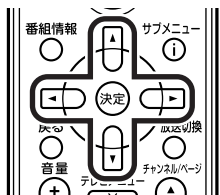
番組表を使わないで予約する

録画予約したい時間までに番組表が受信できないときなど、番組表を使った予約ができないときは、次の手順で予約できます。

放送波(放送の種類)、放送局、放送時間などを指定して予約できます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「予約」の「時刻指定予約」を選んで【決定】を押す

予約を設定する画面が表示されます。

3 必要に応じて設定をおこない、「はい」を選んで【決定】を押す

「番組の予約」画面が閉じます。

これで設定は完了です。

チェック

この方法で録画したときは、「録画モード」には地上デジタル放送の種別を表す(HD)や(SD)は表示されません。
録画終了後の録画番組リストで確認してください。

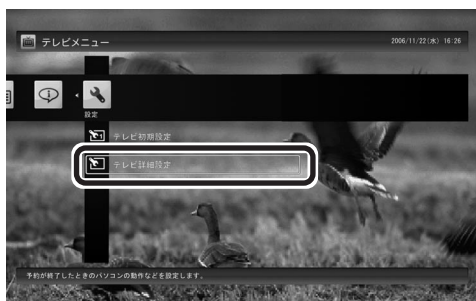
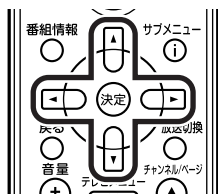
PART 3
録画・予約・再生する

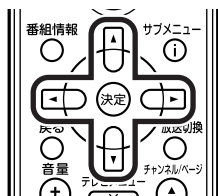
予約実行前後の動作を設定する

予約録画、予約視聴、番組表の予約受信を実行するときに、省電力状態や電源を切った状態から起動したり、また予約実行後に省電力状態にしたり、電源を切ったりできます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「設定」の「テレビ詳細設定」を選んで【決定】を押す

「テレビ詳細設定」画面が表示されます。

3 「電源設定」を選んで【決定】を押す

「電源設定」画面が表示されます。

参照

省電力状態について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

4 予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を設定する

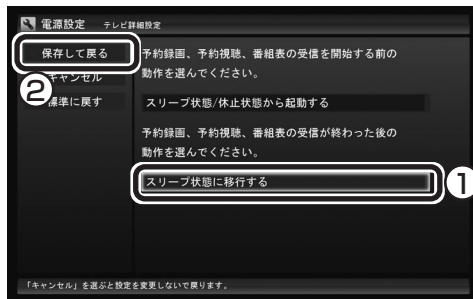
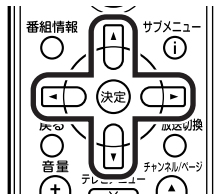
設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押します。

「スリープ状態/休止状態/シャットダウンから起動する」を選ぶと、省電力状態や電源を切った状態からパソコンが自動的に起動して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。

「スリープ状態/休止状態から起動する」を選ぶと、省電力状態からパソコンが自動的に復帰して、予約録画、予約視聴、番組表の受信を実行します。この場合はパソコンの電源が切れていると予約は実行されません。

5 予約録画、予約視聴、番組表の受信終了時の動作を設定する

①設定を選んで【決定】を押し、設定する項目を選んでもう一度【決定】を押す

②「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

6 「戻る」を選んで【決定】を押し、「テレビ詳細設定」を閉じる

これで、設定した動作をするようになります。

チェック

- 「電源を切る(シャットダウン)」を選んだ場合は、設定変更後に録画予約などをおこなうときのために、「自動ログオン」の設定をしてください。
- 「電源を切る(シャットダウン)」に設定している場合は、予約実行時に複数のユーザーがログオンした状態にならないようにしてください。複数のユーザーがログオンしている状態にすると、以降の予約が実行されません。
- 電源を切った状態から予約や番組表の受信を実行できるのは、「自動ログオン」で設定されたユーザーのみです。

自動ログオンの設定について→付録

ポイント

予約録画、番組表予約受信終了の時点でテレビを見ている場合や、もとからテレビを見ているときに予約視聴が開始された場合は、終了時に確認画面が表示されず、そのままテレビを利用できます。

PART 3

録画・予約・再生する

録画した番組を再生する

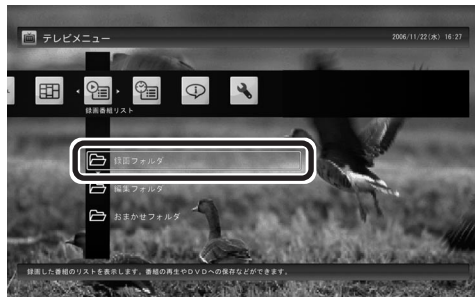
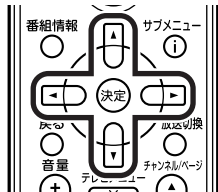
録画した番組は、番組名から選んで再生できるので、「見たい番組がどこにあるのかわからない」なんてことにはなりません。

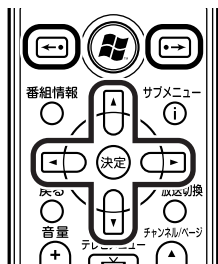
再生の方法

録画した番組を再生してみましょう。テレビメニューの録画番組のリストには、録画した番組名が日付順に並んでいるので、見たい番組を見つけるのも簡単です。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組リスト」の「録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

「録画番組リスト」に、録画された番組のリストが表示されます。

3 再生したい番組を選んで【決定】を押す

Ⓐここで録画番組の保存されたフォルダを選ぶことができます。

Ⓑリモコンの【←・】【・→】でジャンルを絞り込んで表示できます。

Ⓒ再生したい番組を選びます。

ポイント

- 【録画番組】を押して、「録画番組リスト」画面を表示させることもできます。
- 録画した番組の名前は、録画したときの状況によって、次のようになります。
  - ・番組表データがある場合：番組情報の番組名になります
  - ・番組表データがない場合：「番組名なし」になります
- 番組のサムネイル画像に表示されるマークの意味は以下のとおりです。
  - ・「未」：まだ一度も再生していない番組
  - ・「お」：「おまかせ録画」した番組
- 「おまかせ録画」の番組を再生するときや、「簡易編集」した番組を再生するとき、追加したフォルダの番組を再生するときは、それぞれのフォルダを選んでください。

参照

「おまかせ録画」について→PART5の「おまかせ録画をする」(p.93)

再生が始まります。
再生中は、普通のビデオと同じように、一時停止、早送り、巻き戻し、スキップの操作ができます。

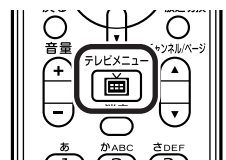
4 再生を終了するときは、【停止】を押す

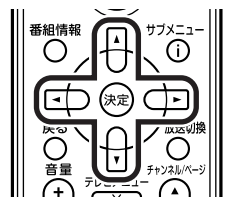
「録画番組リスト」に戻ります。

次に同じ番組を再生するときは、停止した場所から再生されます。

■ テレビを見る画面に戻る

「録画番組」画面から、テレビを見る画面に戻るには、次の手順で操作します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

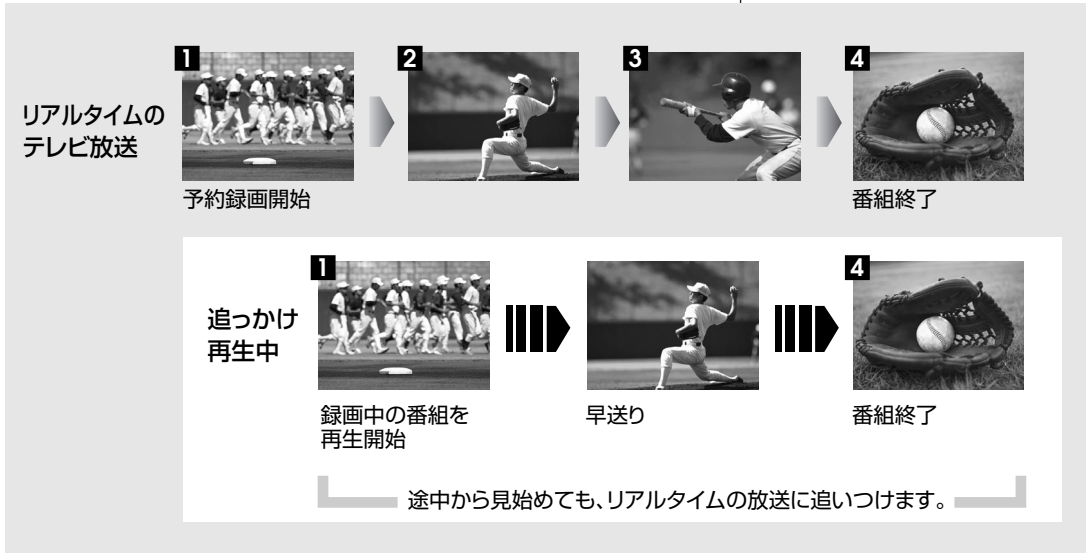
2 視聴したいチャンネルを選んで【決定】を押す

ポイント

早送り、巻き戻しは4段階で切り換えることができます。

ポイント

サブメニューの「最初から再生」を選ぶと、番組の最初から再生できます。

録画中の番組を再生する（追っかけ再生）

録画予約したドラマ、半分まで放送されたところで帰宅。そんなときでも、今までのように録画が終わるまで待つことはありません。「追っかけ再生」機能を使えば、録画中の番組もはじめから再生OK。
また、早送りで番組を見れば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

追っかけ再生の方法は「見ている番組を操作する」(p.46)と同じです。追っかけ再生したい番組を、最初まで巻き戻して再生を始めます。
追っかけ再生したい番組以外が表示されているときは、【テレビメニュー】を押して、追っかけ再生したい録画中の番組を選んで【決定】を押してください。
「ライブモード」になっているときは、「タイムシフトモード」に切り換えてください。

追っかけ再生中に一時停止や巻き戻しなどの操作をしても、録画は中断されずに続行します。ただし、停止すると録画も停止されますのでご注意ください。

チェック

- デジタル放送では、タイムシフトモードで番組を見ていても、予約録画が始まると自動的にライブモードになります。追っかけ再生をするときは、再度タイムシフトモードに変更してください。
- DVD-RAMに直接録画をしているときは、ライブモードのみの利用になるため、追っかけ再生はできません。
- デジタル放送で追っかけ再生中に次の状態になると、録画を停止してライブモードになります。
  - ・コピー制御情報が変化したとき（コピー不可の番組と1回のみコピー可の番組を続けて追っかけ再生したときなど）

参照

タイムシフトモードについて→「タイムシフトモードにする」(p.45)

録画した番組を削除する

見終わって、もう必要のない録画番組は削除しましょう。録画データはファイルサイズが大きいので、必要のない録画データを残しておくとハードディスクの無駄になります。
ここでは、番組をひとつずつ削除する方法と、複数の番組をまとめて削除する方法を説明します。

フォルダを作って、録画番組を整理をすることができます。

参照

録画番組の整理について→PART5の「録画した番組を整理する」(p.98)

■ 番組をひとつずつ削除する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

2 「録画番組リスト」で、削除したい録画番組が保存されているフォルダを選んで【決定】を押す

「録画番組リスト」画面に、録画された番組のリストが表示されます。

3 削除したい番組を選ぶ

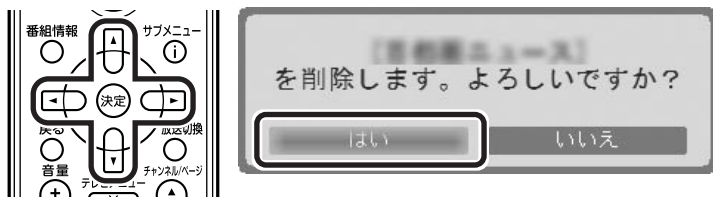
①番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

②「ひとつ削除」を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

ポイント

「まとめて削除」を選ぶと、複数の番組をまとめて削除できます。次の「■複数の番組をまとめて削除する」をご覧ください。

4 「はい」を選んで【決定】を押す

これで、録画番組が削除されました。

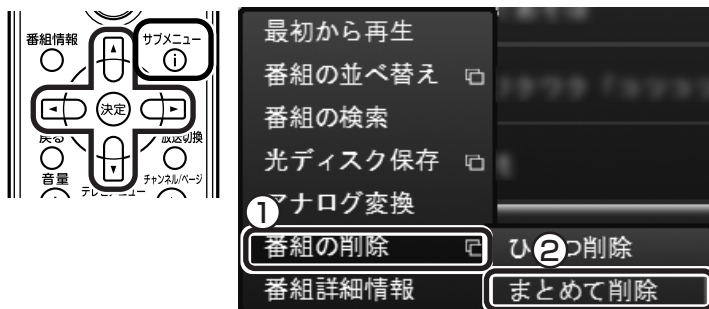
■ 複数の番組をまとめて削除する

1 「番組をひとつずつ削除する」(p.66)の手順1～手順2をおこなう

「録画番組リスト」画面に、録画された番組のリストが表示されます。

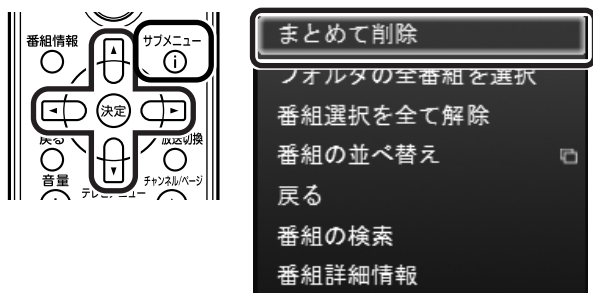
2 削除したい番組を選ぶ

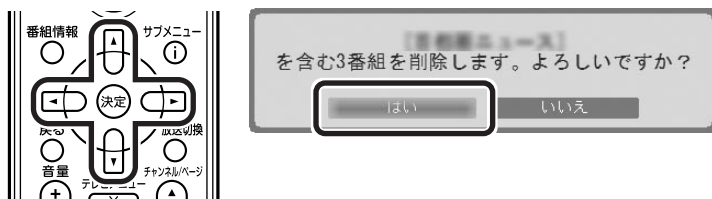
①番組を選んで【サブメニュー】を押し、「番組の削除」を選んで【決定】を押す

②「まとめて削除」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

3 削除したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順3を繰り返して、削除したい番組にチェックマークをつけてください。
チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

4 【サブメニュー】を押し､｢まとめて削除｣を選んで【決定】を押す

削除を確認する画面が表示されます。

5 ｢はい｣を選んで【決定】を押す

これで､録画番組が削除されました。

録画番組をDVDなどに保存する

このPARTでは、アナログ放送とデジタル放送の録画番組をDVDやブルーレイディスクなどに保存する方法について説明しています。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 4

録画番組を
DVDなどに
保存する

番組を保存できるディスクについて

録画した番組は、画質やコピー可／不可によって、保存できるディスクが異なります。

※ブルーレイディスク(BD-R、BD-RE)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみです。

リモコンで操作する画面で保存できるディスク

録画番組リストで、ディスクに保存する番組の画質とコピー不可アイコンの有無を確認してください。

録画モード	コピー不可のアイコン	保存できるディスク※	保存形式	説明
デジタル放送画質 ・デジタルダイレクト ・デジタル長時間	(アイコン有無を問わず)	BD-RE(1層/2層)	BDAV	p.80
アナログ放送またはアナログ変換(p.73)した画質 ・高画質 ・標準画質 ・長時間 ・超長時間 ・ユーザー設定 ・DVD ＊枚分	アイコンあり (コピー不可)	BD-RE(1層/2層)	BDAV	p.80
		CPRM対応のDVD-RAM(片面/両面)、 CPRM対応のDVD-R(1層/2層)	DVD-VR	p.76
	アイコンなし (コピー可)	BD-RE(1層/2層)	BDAV	p.84
		DVD-RAM(片面/両面) DVD-R(1層/2層)	DVD-VR	p.84
		DVD-R(1層/2層)	DVD-Video	p.84

※BD-REに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。

ポイント

地上アナログ放送は、直接DVD-RAMに録画することができます。

参照

地上アナログ放送をDVD-RAMに録画する→このPARTの「DVD-RAMに直接録画する」(p.86)

マウスで操作する画面で保存できるディスク

録画番組リストで、ディスクに保存する番組の画質表示を確認してください。
操作については、SmartVisionのヘルプをご覧ください。

録画モード	画質表示（コピーの可/不可）	保存できるディスク※	保存形式
デジタル放送画質 ・デジタルダイレクト ・デジタル長時間	（画質表示によらず）	BD-RE（1層/2層）	BDAV
アナログ放送またはアナログ変換(p.73)した画質 ・高画質 ・標準画質 ・長時間 ・超長時間 ・ユーザー設定 ・DVD ＊枚分	画質表示が斜体フォント（コピー不可）	BD-RE（1層/2層）	BDAV
		CPRM対応のDVD-RAM（片面/両面）、 CPRM対応のDVD-R（1層/2層）	DVD-VR
	画質表示が通常フォント（コピー可）	BD-RE（1層/2層） BD-R（1層/2層）	BDAV
		DVD-RAM（片面/両面） DVD-R（1層/2層）	DVD-VR
		DVD±R（1層/2層） DVD－RW	DVD-Video
		DVD＋RW	DVD+VR

※BD-RE、BD-Rに保存できるのはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルのみです。

ポイント

録画した地上アナログ放送は、いらない場面をカットしたり、タイトルメニューをつけるなどの編集ができます。

参照

●アナログ放送番組を編集する→PART5の「番組を編集してディスクに保存する」(p.100)
●マウスで使うための画面を表示する→PART5の「マウスで使うための画面」(p.90)

ディスクに書き込む形式について

● DVDの書き込み形式の種類

書き込み形式	特徴
DVD-Video	市販のDVDと同じ形式。多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。
DVD-VR	DVDレコーダーなどで使われている形式。記録した後でもデータの編集ができる。対応したパソコン、DVDプレーヤで再生できる。
DVD+VR	多くのDVD再生可能なパソコンやDVDプレーヤで再生できる。また、記録した後でもデータの編集ができる。

● ブルーレイディスクの書き込み形式の種類

書き込み形式	特徴
BDAV	DVD-VRに相当する形式。

このパソコンで記録したディスクが、ほかのパソコンや一般のDVDプレーヤで再生できるかどうかは、パソコンやプレーヤの対応によって異なります。詳しくは、各パソコン、プレーヤのメーカにお問い合わせください。

参照

利用できるディスクについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「DVD/CDドライブ」(「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」)

デジタル放送画質の番組をアナログ変換する 地上デジタル放送

デジタル放送の番組を、アナログ変換すると、DVD-RAM/DVD-Rに保存できるようになります。

※ブルーレイディスク(BD-R、BD-RE)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみです。

デジタル放送画質の番組をBD-REに保存する場合は、アナログ変換する必要はありませんが、アナログ変換することで番組データの容量を減らしてより多くの番組を保存できます。

アナログ変換について

デジタル放送で、コピーワンスの番組(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)は、通常、このパソコン以外では録画した番組を見られません。
ただし、BD-REまたはCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存することで、対応したソフトやプレーヤで再生できます。
CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する場合は、事前にアナログ変換の必要があります。

■ アナログ変換をするときの注意

●変換に時間がかかる
録画済み番組をアナログ変換するときは、録画した時間と同じ、またはそれ以上の時間がかかります。

※ アナログ変換の所要時間について
アナログ変換は、変換する番組の録画時間と同等か、場合によりそれ以上の時間がかかります(パソコンの負荷状況によります)。パソコンの負荷を下げて時間を短縮したいときは、SmartVisionを終了して下さい。SmartVisionを終了しても、アナログ変換や録画は正常に動作します。

SmartVisionを終了させても正常に動作するSmartVision関連機能:
・ アナログ変換
・ 録画(予約録画を含む)
・ 番組表の取得(予約による取得を含む)
・ 光ディスクへの書き込み

●アナログ変換した番組は、デジタル放送画質に戻せない
アナログ変換をすると、もとになったデジタル放送画質の録画データは削除されます。また、アナログ変換した番組をデジタル放送画質に戻すことはできません。

●アナログ変換した番組も編集できない
コピーワンスの番組は、アナログ変換した後もこのパソコンに添付、または市販の動画編集ソフトで編集することはできません。また、携帯電話などで見られる形式(SD-Video形式)への変換もできません。

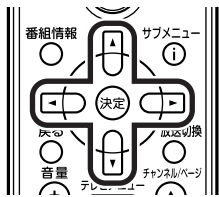
●アナログ変換中にパソコンのシャットダウンなどをおこなうと、そのとき録画していた番組は視聴できない(録画データが正常に作成されない)ことがあります。

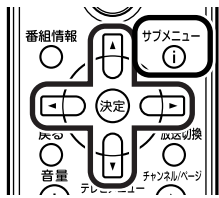
■ 録画済み番組をアナログ変換する

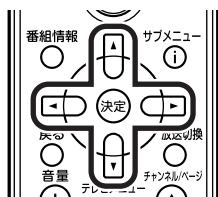
デジタル放送画質で録画した番組を、アナログ変換する手順を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

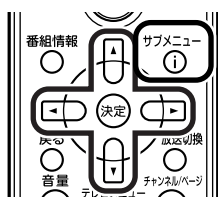
テレビメニューが表示されます。

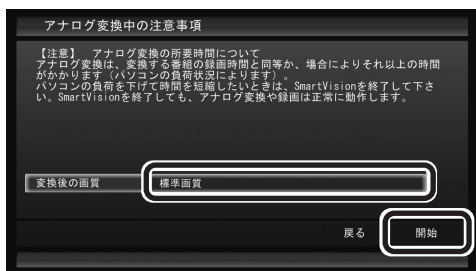
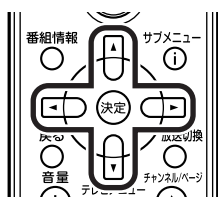
2 「録画番組リスト」の「録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

録画番組が表示されます。

3 【サブメニュー】を押し、「アナログ変換」を選んで【決定】を押す

ここに[コピー不可]と表示されている番組が「コピーワンス（1回のみ録画可）」の番組です。

4 アナログ変換したい番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順4を繰り返して、アナログ変換したい番組にチェックマークをつけてください。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

5 【サブメニュー】を押して「次へ進む」を選んで【決定】を押す

「アナログ変換中の注意事項」画面が表示されます。

6 「アナログ変換中の注意事項」で変換後の画質を選び、「開始」を選んで【決定】を押す

アナログ変換が始まります。

自動でテレビ画面に戻り、画面左下にアナログ変換が終了するまでの残り時間が表示されます。

7 変換が完了すると「アナログ変換を完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、アナログ変換が完了しました。

ポイント

地上アナログ放送の番組やすでにアナログ変換された番組など、デジタル放送画質でない番組はチェックボックスに「×」と表示され、選択できません。

ポイント

変換中に【サブメニュー】を押して「アナログ変換の中止」を選ぶと、変換を途中で中止できます。

チェック

複数の番組をアナログ変換している場合、すでに変換し終わった番組はもとに戻せません。変換途中の番組はアナログ変換を中止するとデジタル放送画質のまま残ります。

チェック

アナログ変換中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、アナログ変換は中断せず、動作を継続します。

PART 4 録画番組をDVDなどに保存する

番組をCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する 地上デジタル放送

アナログ変換した番組を、CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存します。

CPRMとは、DVDなどの記録メディアで使われる、著作権を保護する技術です。
アナログ変換したデジタル放送画質の番組は、CPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rに保存して、持ち出せます。保存した番組は、対応したパソコンやプレーヤで再生できます。

CPRMのアップデートをする

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する前に、ソフトのアップデートが必要です。アップデートは、「SmartVision CPRM アップデータ」でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「CPRMアップデータ」-「SmartVision CPRMアップデータ」をクリック

アップデート方法を説明する画面が表示されます。

画面の説明を読んで、SmartVisionのアップデートをおこなってください。

ポイント

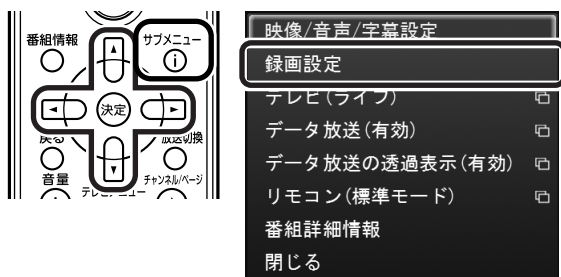
- CPRMアップデートをおこなわずにDVD-RAM/DVD-Rに保存をおこなうと、「コピー制御された番組をDVDに保存するためには、SmartVisionをアップデートしてください。」というメッセージが表示されます。
- CPRMアップデートをおこなうには、インターネットに接続する必要があります。

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに録画番組を保存する

■ DVD-RAMをフォーマットする

番組を保存するDVD-RAMは、まずフォーマットをする必要があります。

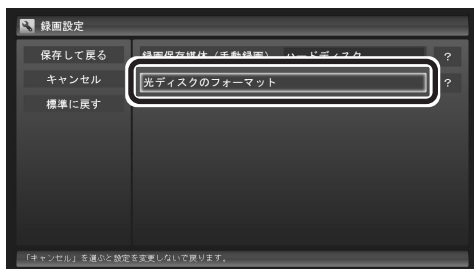
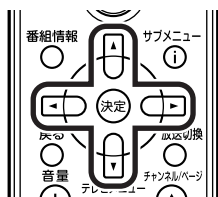
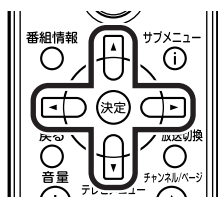
1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 テレビを表示した状態で【サブメニュー】を押し、「録画設定」を選んで【決定】を押す

チェック

フォーマットすると、DVD-RAMに保存されていたデータはすべて削除されます。

ポイント

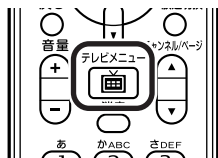
「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

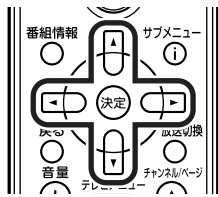
3 「光ディスクのフォーマット」を選んで【決定】を押す

4 【実行】を選んで【決定】を押す

確認の画面が表示されるので、「はい」を選んで【決定】を押すと、フォーマットが始まります。

■ DVD-RAM/DVD-Rに録画番組を保存する

番組をDVD-RAM/DVD-Rに保存します。DVD-RAMに保存するときは、あらかじめ、DVD-RAMをUDF形式（UDF2.0）でフォーマットしておいてください。

1 DVD/CDドライブにCPRM対応のDVD-RAM/DVD-Rをセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組リスト」の「録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

録画番組が表示されます。

チェック

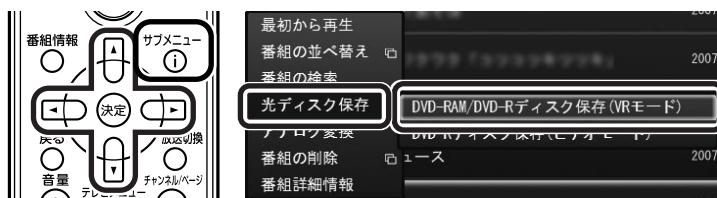
「物理フォーマット」で「する」を選ぶと、フォーマットに1時間〜1時間30分かかります。通常の使用では、物理フォーマットを実行する必要はありません。

参照

DVD-RAMのフォーマットについて
→このPARTの「DVD-RAMをフォーマットする」（p.76）

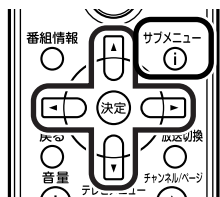
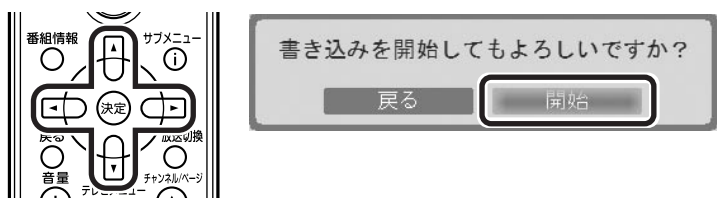
ポイント

- コピーワンスの番組は、録画したデータを1つだけ保存することが許可されています。このため、パソコンで録画したコピーワンスのデジタル放送番組をアナログ変換してCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
  コピーを作成して保存する「ダビング」とは異なり、移動して保存するという意味で「ムーブ（move）」と呼ばれます。
- 「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

4 【サブメニュー】を押し、「光ディスク保存」を選び、表示されたメニューから「DVD-RAM/DVD-Rディスク保存(VRモード)」を選んで【決定】を押す

複数の番組が選択できるようになります。

5 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークをつけてください。チェックマークをつけた順番にディスクに書き込まれます。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

ポイント

アナログ変換していない番組には「×」マークが表示され、選択できません。

6 【サブメニュー】を押して「次へ進む」を選んで【決定】を押す

確認画面が表示されます。

7 「開始」を選んで【決定】を押す

書き込みが始まります。自動でテレビ画面に戻り、画面左下に進行状況が「%」で表示されます。

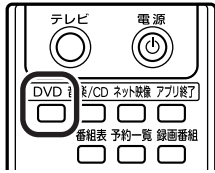
書き込み中にSmartVisionを終了したりパソコンをスリープ状態にしても、書き込みは中断せず、正常に動作します。

8 書き込みが完了すると「書き込み完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存した番組を再生する

CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存した番組は、WinDVD for NEC、WinDVD BD for NEC、またはWinDVD BD/HD for NECで再生します。再生には、CPRMの機器鍵(デバイスキー)をインストールする必要があります(マウスでの操作が必要です)。

1 リモコンの【DVD】を押す

CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめて再生するときは手順2に、2回目以降は手順3に進んでください。

2 WinDVD for NEC、WinDVD BD for NECまたはWinDVD BD/HD for NECのウィンドウ上を右クリックし、「CPRM Packをダウンロード...」をクリック

表示される画面の指示にしたがって機器鍵(デバイスキー)をインストールしてください。

3 DVD-RAM/DVD-RをDVD/CDドライブにセットする

映像の再生が始まります。
CPRM録画されたDVD-RAM/DVD-Rをはじめてセットしたときは、WinDVD for NEC、WinDVD BD for NECまたはWinDVD BD/HD for NECが再起動してから、映像の再生が始まります。

チェック

- CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存した番組は、DVD-MovieAlbumSEでも再生できます。
- CPRMの機器鍵(デバイスキー)をダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。
- 作ったDVD-RAM/DVD-Rは、このパソコン以外に、CPRM対応DVD-RAM/DVD-Rの再生に対応したパソコンやプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

録画した番組をBD-REに保存する

デジタル放送番組、アナログ変換したデジタル放送番組、地上アナログ放送をBD-REに保存する方法について説明します。

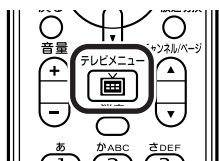
※ブルーレイディスク(BD-R、BD-RE)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみです。

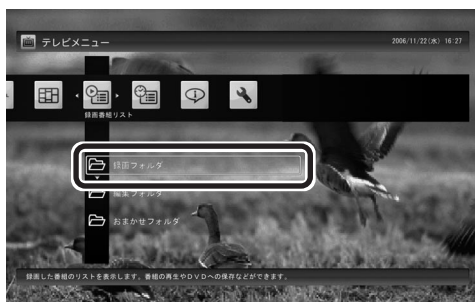
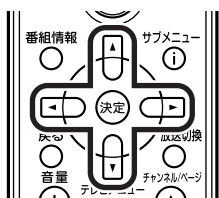
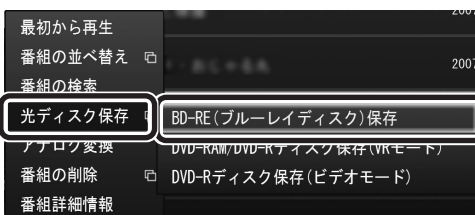
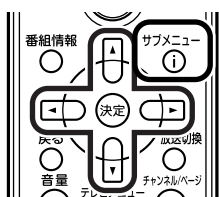
■ BD-REをフォーマットする

番組を保存するBD-REがフォーマットされていない場合は、フォーマットする必要があります。
フォーマットの手順は、「■DVD-RAMをフォーマットする」(p.76)と同じです。

■ BD-REに録画した番組を保存する

1 フォーマット済みのBD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組リスト」の「録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

4 【サブメニュー】を押し、「光ディスク保存」を選び、「BD-RE(ブルーレイ)ディスク保存」を選んで【決定】を押す

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

チェック

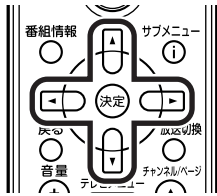
- フォーマットすると、それまでBD-REに保存されていたデータはすべて削除されます。
- BD-REのフォーマットは管理者権限をもったユーザーアカウントでフォーマットしてください。標準ユーザーではフォーマットできません。

ポイント

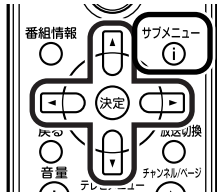
- コピーワンスの番組は、録画したデータを1つだけ保存することが許可されています。このため、パソコンで録画したコピーワンスのデジタル放送番組をBD-REに保存すると、パソコン上の番組のデータは消去されます。
  コピーを作成して保存する「ダビング」とは異なり、移動して保存するという意味で「ムーブ(move)」と呼ばれます。
- 録画したデジタル放送番組をブルーレイディスクにムーブした場合、データ放送、文字放送、番組情報は保存されません。

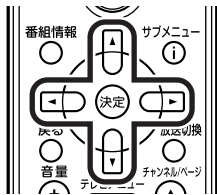
チェック

DVD-Videoのようなメニュー画面を作成することはできません。

5 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークをつけてください。チェックマークをつけた順番にディスクに書き込まれます。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【サブメニュー】を押して「次へ進む」を選んで【決定】を押す

確認画面が表示されます。

7 「開始」を選んで【決定】を押す

書き込みが始まります。自動でテレビ画面に戻り、画面左下に進行状況が「%」で表示されます。

8 書き込みが完了すると「書き込み完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

ポイント

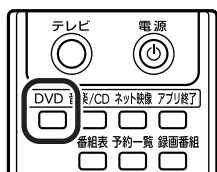
地上アナログ放送の録画番組またはビデオ入力端子経由で録画した番組にコピー制御信号が含まれている場合は、著作権保護技術(AACS)の規定によりBD-REには書き込みできません。DVD-RAM/DVD-Rに書き込み(ムーブ)できます。

ポイント

モジュールの更新が必要であるという内容のメッセージが表示されたときは、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

BD-REに保存した番組を再生する

BD-REに保存した番組は、WinDVD BD for NECまたはWinDVD BD/HD for NECで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

2 BD-REをブルーレイディスクドライブにセットする

映像が再生されます。

■ ブルーレイディスクを再生するときの注意

- ●ブルーレイディスクの再生には、WinDVD BD for NEC、WinDVD BD/HD for NECを使用してください。
- ●このパソコンのブルーレイディスク再生機能は次世代著作権保護技術AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。著作権保護されたブルーレイディスクを再生するには、AACS キーの更新が必要です。また、更新の際にはインターネット接続環境が必要です。
- ●AACS のキーの更新は無償で提供いたしますが、NEC、コーレル株式会社の判断で予告なく終了することがあります。
- ●ブルーレイディスクを再生すると、画面の配色がWindows Vista ベーシックになり、ウィンドウの透過などの見栄えが変わることがあります。WinDVD BD for NEC、WinDVD BD/HD for NECを終了するともとに戻ります。
- ●その他の注意事項など、「WinDVD BD for NEC」（「WinDVD BD/HD for NEC」）について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「WinDVD BD for NEC」（「WinDVD BD/HD for NEC」）をご覧ください。

■ AACSキー(再生用)を更新する

AACS キーの更新手順は次のとおりです。

1 AACSキーの含まれたBDコンテンツを再生すると、「AACSキーの有効期間が終了しました。…」という画面が表示されるので、「はい」をクリック

自動的にInternet Explorerが起動し、InterVideoの画面が表示されます。

2 InterVideoに登録している場合は、登録したメールアドレスとパスワードを入力して「Sign in」をクリック

登録していない場合は、「Sign up」をクリックしてください。登録画面へ移動します。
「Sign in」をクリックすると、AACS キーのダウンロードが始まります。終了すると自動的に画面が閉じます。

3 「AACSキーのアップデートが終了しました。」の画面で「OK」をクリック

これで、AACSキーが更新されます。

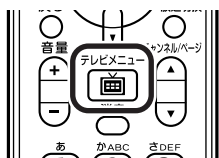
PART 4 録画番組をDVDなどに保存する

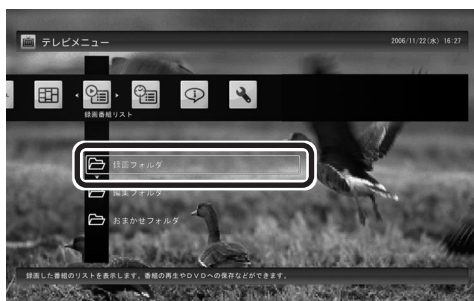
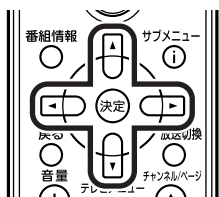
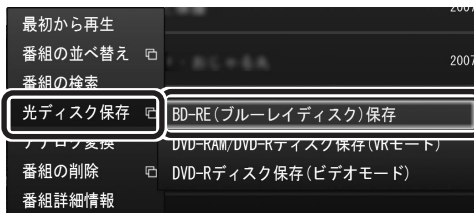
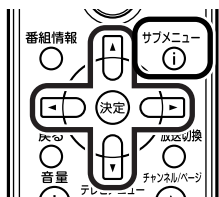
地上アナログ放送の番組をディスクに保存する 地上アナログ放送

※ブルーレイディスク(BD-R、BD-RE)に保存できるのは、ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみです。

録画した番組をディスクに保存する

1 ディスクをDVD/CDドライブにセットする

2 リモコンの【テレビメニュー】を押す

テレビメニューが表示されます。

3 「録画番組リスト」の「録画フォルダ」を選んで【決定】を押す

4 【サブメニュー】を押し、「光ディスク保存」を選び、表示されたメニューから保存するモードを選んで【決定】を押す

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

チェック

- アナログ放送の番組の再生順を変えたり、映像のいらない部分をカットするなどの編集をしてディスクに保存するときは、PART5の「番組を編集してディスクに保存する」(p.100)をご覧ください。
- 地上アナログ放送で、二か国語放送を「主+副音声」の設定で録画した番組をDVDにする場合は、このページの方法ではなく、「編集してDVD-Videoを作る」(p.101)の手順でDVDを作成してください。二か国語を別々の音声トラックに収録したDVDが作成できます。詳しくは、「編集してDVD-Videoを作る」手順6(p.102)の「ポイント」をご覧ください。

チェック

番組を保存するDVD-RAMやBD-REがフォーマットされていない場合は、フォーマットする必要があります。

参照

DVD-RAMのフォーマットについて→このPARTの「■DVD-RAMをフォーマットする」(p.76)

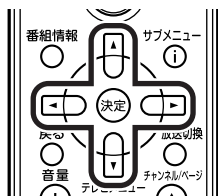
BD-REのフォーマットの手順は、DVD-RAMと同じです。

BD-RE(ブルーレイ)ディスク保存※：BD-REに保存するときに選びます。

※ ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみ

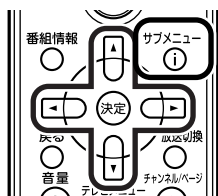
DVD-RAM/DVD-Rディスク保存 (VRモード): DVD-RAMまたはDVD-Rに、VRモードで保存するときに選びます。

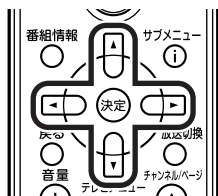
DVD-Rディスク保存(ビデオモード):DVD-Rにビデオモードで保存するときに選びます。

複数の番組が選択できるようになります。

5 保存する番組を選んで【決定】を押す

選んだ番組にはチェックマークがつきます。手順5を繰り返して、保存したい番組にチェックマークをつけてください。チェックマークをつけた順番にディスクに書き込まれます。

チェックマークを外したいときは、もう一度その番組を選んで【決定】を押してください。

6 【サブメニュー】を押して「次へ進む」を選んで【決定】を押す

確認画面が表示されます。

7 「開始」を選んで【決定】を押す

書き込みが始まります。全画面で映像を表示しているときにリモコンの【番組情報】を押すと、画面左下に進行状況が「%」で表示されます。

8 書き込みが完了すると「書き込み完了しました。」と表示されるので、【決定】を押す

これで、保存が完了しました。

書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

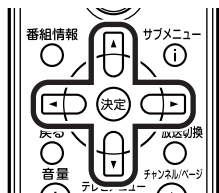
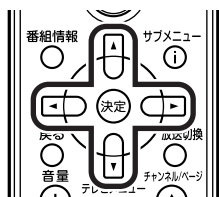
DVD-RAMに直接録画する 地上アナログ放送

番組をDVD-RAMに直接録画できます。

■ おてがる予約の場合

1 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

2 「おてがる予約をする」(p.49)の手順1～3をおこなう

3 「詳細設定」を選んで【決定】を押す

4 「録画保存媒体」で「DVD」を選び、「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

この後の手順は、「おてがる予約する」の手順4以降(p.50)をご覧ください。これで、予約録画実行時にDVD-RAMへ直接録画されます。
全画面で映像を表示しているときにリモコンの【番組情報】を押すと、画面左下に書き込みの進行状況が表示されます。

チェック

- おまかせ録画では、DVD-RAMに直接録画できません。
- DVD-RAMに直接録画をしているときは、ライブモードのみ利用できます。
- 画質を「ユーザー設定」にするときは、ビットレートを8Mbps以下にしてください。

ポイント

「操作を選択してください。」の画面が表示されたときは、「何も操作しない」を選んでください。

チェック

予約録画を実行するときに、DVD-RAMに十分な空き容量がないときは、ハードディスクに録画されます(代理録画)。

■ 見ている番組を録画する場合

1 録画したい番組を表示する

2 DVD/CDドライブにDVD-RAMをセットする

3 【サブメニュー】を押し、「録画設定」を選んで【決定】を押す

4 「録画保存媒体(手動録画)」で「DVD-RAM」を選び、「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

この後の手順は、PART3の「今見ている番組を録画する」(p.43)をご覧ください。DVD-RAMに直接録画されます。
SmartVisionを終了すると、ハードディスクに録画する設定に戻ります。

チェック

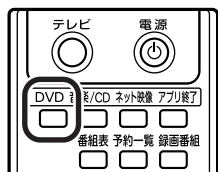
デジタル放送の番組はDVD-RAMに直接録画できません。

チェック

- ●リモコンの【録画】を押してから実際に録画が始まるまで、5秒程度かかります。
- ●DVD-RAMに直接録画するときは、さかのぼり録画はできません。
- ●DVD-RAMに録画できない場合は、書き込み可能なDVD-RAMがセットされているか確認してください。

ディスクに保存した番組を再生する

ディスクに保存した番組は、WinDVD for NEC、WinDVD BD for NEC、またはWinDVD BD/HD for NECで再生します。

1 リモコンの【DVD】を押す

ブルーレイディスクモデルの場合は、WinDVD BD for NECが起動します。

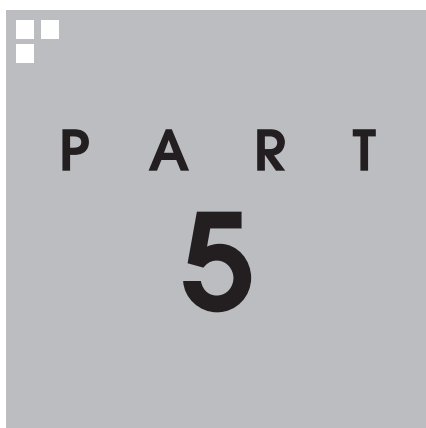
ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルの場合は、WinDVD BD/HD for NECが起動します。

その他のモデルの場合は、WinDVD for NECが起動します。

2 ディスクをDVD/CDドライブにセットする

映像が再生されます。

チェック

作成したディスクは、このパソコン以外に、対応したほかのパソコンや一般のプレーヤで再生できますが、機器によっては再生できない場合があります。詳しくは、各機種のマニュアルをご覧ください。

一歩すすんだテレビ操作

テレビはリモコンだけでなくマウスで操作することもできます。マウスで使うための画面に切り換えると、パソコンならではの機能を使ったり詳細な設定ができるようになります。一歩すすんだ使い方を紹介します。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

PART 5
一歩すすんだ
テレビ操作

マウスで使うための画面

マウスで使うための画面では、一歩すすんだおすすめ機能が使えるようになります。

リモコンで使う画面からマウスで使う画面に切り換える

今までの操作はおもにリモコンでおこなっていましたが、マウスで使う画面に切り換えると、録画した番組の整理や映像編集など、より多くの機能が使えるようになります。
パソコンならではの使い方をしてみませんか？

1 テレビを表示して、マウスを動かす

画面の左下に操作パネルが表示されます。

2 「画面」ボタンをクリック

画面が切り換わります。

リモコンで使う画面に戻す（切り換える）には、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

ポイント

操作パネルのボタン表示は、見ている放送やモード、また機種によって異なります。

「画面」ボタンが表示されていないときは、テレビを見ている状態や録画番組を視聴している状態にしてください。

リモコンで使う画面

「画面」ボタンをクリック

マウスで使う画面

「フルスクリーン」タブをクリック

マウスで使う画面で起動する

マウスで使う画面を直接起動することができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」をクリック

マウスで使う画面が起動します。

リモコンで使う画面に切り換えるには、「画面モード切換タブ」のいちばん左のタブ（フルスクリーン）をクリックします。

マウスで使う画面のモードを切り換える

マウスで使う画面には、スリムモード/ノーマルモード/アドバンストモードがあります。
「画面モード切換タブ」をクリックして、目的に合った画面に切り換えることができます。

画面モード	説　明
スリムモード	チャンネル切り換えや音量の調節など、視聴に必要な最小限の機能のモードです。
ノーマルモード	テレビ視聴の基本的な操作ができます。
アドバンストモード	基本的な操作に加えて、録画した番組の簡易編集や静止画キャプチャ、ブックマーク、番組の詳細情報の表示、データ放送の操作などができます。

それぞれのモードの画面説明は、付録の「各モードの画面説明」(p.143)をご覧ください。

■ オンラインヘルプを表示する

マウスで使う画面に切り換えたときの操作は、オンラインヘルプをご覧ください。

1 マウスで使うための画面に切り換える(p.90)

2 ？をクリックする

オンラインヘルプが起動します。

ポイント

- ノーマルモード、アドバンストモードのときに画面のサイズを小さくすると、スリムモードに切り換わります。
- 画面右上の□をクリックすると、マウスで使う画面のまま最大化できます。

PART 5
一歩すすんだテレビ操作

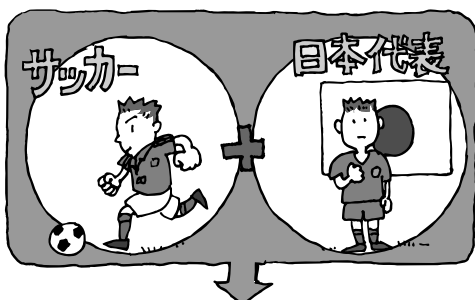
おまかせ録画をする

キーワードから番組を自動的に録画してくれる「おまかせ録画」機能を使ってみましょう。

おまかせ録画って何？

おまかせ録画は、ジャンルやキーワードをあらかじめ登録しておくと、キーワードが入った番組を自動的に探して録画してくれる機能です。
たとえば、こんな使い方はどうでしょう？

●毎週、放送時間が変わってしまう番組や、放送が不定期な番組を録画するとき
おまかせ録画で、番組名をキーワードにして、ジャンル、放送局を指定して条件を登録します。こうすると、自動的にその番組を録画します。放送時間や放送日程をいちいち確認する必要はありません。

●お気に入りのタレントの出ている番組を録画したいとき
おまかせ録画で、タレントの名前をキーワードにして、ジャンルや放送局を指定せずに条件を登録します。こうすると、自動的にキーワードに登録したタレントが出ている番組を録画します。

自動的に録画

チェック

●おまかせ録画は、番組表の「番組名」や「詳細情報」に出てくる言葉をキーワードにして番組を探します。そのため、タレント名や番組名を登録しても、番組表の番組名、詳細情報の記載と一致しない場合は録画されません。
●おまかせ録画で録画した番組は、必ずハードディスクに保存されます。DVDに直接保存することはできません。

ポイント

番組名は、番組表に省略されて記載されていることがあります。あらかじめ番組表で確認をして、番組名の一部などをキーワードにすることをおすすめします。

参照

おまかせ録画について→オンラインヘルプ(p.92)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう!」-「録画する条件を設定して、おまかせ録画をしよう」

おまかせ録画を登録する

おまかせ録画で録画するために、キーワードなどの条件を登録します。

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (予約&結果リスト)をクリック

3 「予約リスト」タブの おまかせ (おまかせ)をクリック

「おまかせ録画条件リスト」画面が表示されます。

4 「地上アナログ優先」、「地上デジタル優先」のどちらかをクリックして◉にし、「新規追加」をクリック

地上アナログ放送と地上デジタル放送で、同じ番組が放送されているときに、選んだ放送が優先して録画されます。この設定は、「おまかせ録画」全体で共通です。

「条件入力」画面が表示されます。

マウスで使うための画面を表示する
→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.90)

手順4で設定する優先順位よりも、次の「条件入力」画面(手順5)での設定の方が優先されます。そのため、条件によっては異なる放送の番組が録画される場合があります。

5 おまかせ録画の条件を登録する

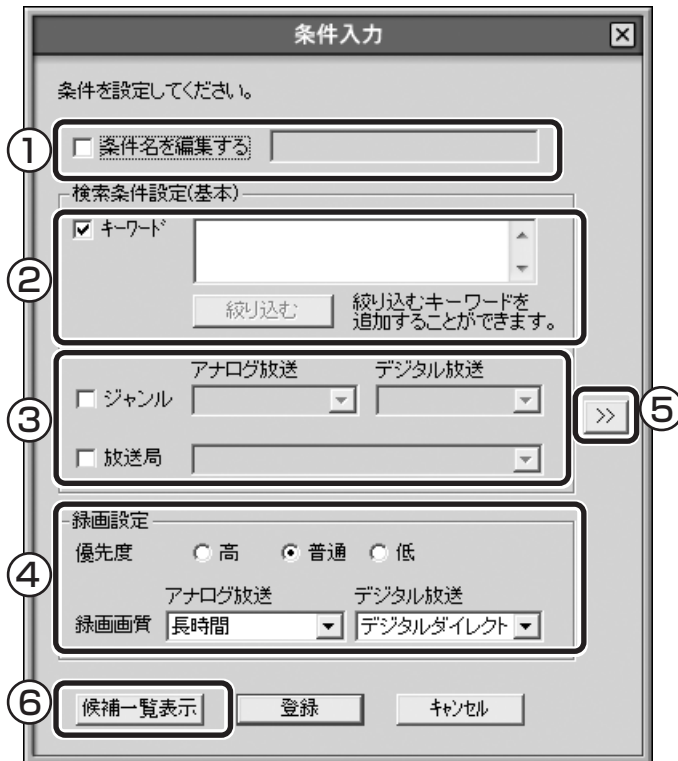
① 登録した条件に名前をつける
登録した条件に名前をつけるときはクリックして☑にし、条件名を入力します。名前をつけない場合は、自動的に名前が登録されます。

② キーワードを入力する
番組のキーワードになる言葉を入力します。キーワードを追加する場合は、「絞り込む」をクリックしてキーワードを追加してください。

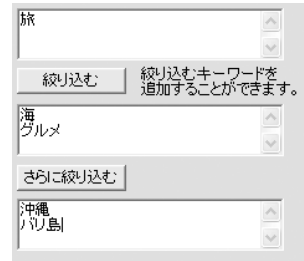
③ 番組のジャンルと放送局に関する条件を設定する

④「録画設定」を設定する
おまかせ録画の条件同士で予約が重複したときの優先度と、録画画質を指定します。

⑤ 必要に応じて詳細な設定をする
[>>]をクリックすると、詳細な検索条件が設定できます。

⑥「候補一覧表示」をクリックする
設定した条件で録画される番組を表示します。ただし、すでに予約している別の番組と重なると、先に予約していた番組の録画が優先されます。
また、条件に一致する番組が予約リストに登録されるのは、放送の2日前です。表示された番組の中で録画したくない番組がある場合は、その番組をクリックして、「番組除外」をクリックします。以降、その番組はおまかせ録画で録画されなくなります。

ポイント

● □のままの条件はすべてが対象になります（例：「放送局」が□の場合は、すべての放送局が対象）

●「キーワード」、「絞り込む」、「さらに絞り込む」の3つの枠に入れたキーワードすべてに当てはまる番組が録画されます。また、1つの枠には、複数のキーワードを改行で区切って入力できます。その場合は、区切って入れたキーワードのどれかに当てはまる番組が録画されます。

この場合は、次の4パターンの番組がすべて録画されます。

1.「旅・海・沖縄」がキーワードの番組
2.「旅・海・バリ島」がキーワードの番組
3.「旅・グルメ・沖縄」がキーワードの番組
4.「旅・グルメ・バリ島」がキーワードの番組

● ドラマなどの連続番組を毎回録画する時は、キーワードに番組名を入れるとその番組を自動的に録画します。候補一覧で表示された番組をクリックしてキーワードのエリアにドラッグ＆ドロップすると、番組名を簡単に入力することができます。

チェック

● 深夜0:00〜6:00頃の番組は前日の曜日として扱われます（例:水曜日の深夜2:00の番組を録画するときは、火曜日を指定します）。

● 同じ時間帯に同じ条件の番組が複数あるときは、録画される番組は条件に合った番組の中でランダムに決定されます。

● この方法で録画したときは、「録画モード」には地上デジタル放送の種別を表す（HD）や（SD）は表示されません。
録画終了後の録画番組リストで確認してください。

6 「候補一覧」の「閉じる」をクリック

「条件入力」画面に戻ります。

7 「登録」をクリック

おまかせ録画の条件が登録されます。

8 「閉じる」をクリック

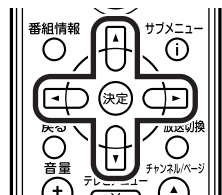
参照

このほかのおまかせ録画の条件について→オンラインヘルプ(p.92)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「おまかせ録画ダイアログ」

おまかせ録画した番組を再生する

おまかせ録画で録画した番組は、おてがる予約などで録画した番組とは、別のフォルダに保存されます。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組リスト」の「おまかせフォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

これから先は、ほかの録画番組を再生する手順と同じです。
詳しくは、PART3の「録画した番組を再生する」(p.63)をご覧ください。

■ おまかせ録画をするときの注意

おまかせ録画の条件に一致する番組が予約リストに登録されるのは、放送の2日前までです。その前に同じ時間帯に別の番組を予約した場合は、おまかせ録画は実行されません。

■ おまかせ録画の属性を解除する

おまかせ録画で録画した番組は、一定の容量以上になると、古い番組から順番に削除されます。残しておきたい番組があるときは、次の手順でおまかせ属性を解除してください。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「録画番組リスト」の「おまかせフォルダ」を選んで【決定】を押す

おまかせ録画で録画した番組が表示されます。

3 おまかせ属性を解除したい番組を選んで【サブメニュー】を押す

4 一覧から「おまかせ属性の解除」を選んで【決定】を押す

5 「この番組」を選んで【決定】を押す

6 解除を確認する画面で「はい」を選んで【決定】を押す

お の表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

- 手順5で「全ての番組」を選んで、「おまかせ」フォルダ内のすべての番組のおまかせ属性を解除することもできます。
- マウスで使う画面で、「おまかせ」フォルダから別のフォルダに移動しても、おまかせ属性を解除できます。複数の番組のおまかせ属性をまとめて解除することもできます。詳しくは、次の「録画した番組を移動する」をご覧ください。

PART 5
一歩すすんだ
テレビ操作

録画した番組を整理する

録画した番組は、番組ごとにフォルダを分けて整理すると、後でさがしやすくなります。

録画した番組を移動する

録画した番組を別のフォルダに移動します。
あらかじめ、移動先となるフォルダをエクスプローラなどで作っておいてください。

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

3 (追加)をクリックして表示される画面で、あらかじめ作っておいた移動先フォルダを選択し、「OK」をクリック

新しいフォルダが「フォルダ」欄に追加されます。

マウスで使うための画面を表示する
→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.90)

4 移動したい番組をクリックし、新しいフォルダにドラッグ＆ドロップする

番組を保存しているドライブ以外のドライブに移動する場合は、「ファイル出力」画面が表示されます。「ファイル出力が終了しました」と表示されたら「OK」をクリックしてください。番組が移動し、もとのリストから消えます。

これで、番組の移動ができました。

チェック

複数の番組を移動したいときは、【Ctrl】を押したまま番組をクリックすると、複数の番組を選べます。

チェック

- 複数ユーザーでパソコンを使っている場合、ほかのユーザーが録画した番組データを選んで移動したときは、「他ユーザーの番組ですが、移動してもよろしいですか？」または「他ユーザーの番組が含まれていますが、移動してもよろしいですか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、ほかのユーザーが録画した番組データも移動します。移動しない場合は、「いいえ」をクリックして、番組データを選びなおしてください。
- ほかのユーザーが録画した番組データを移動すると、そのユーザーからは番組データがどのフォルダに移動されたのか、わからなくなります。

ポイント

- 録画した番組は、Dドライブに保存されます。
- この画面で、番組を選んで 削除 (削除)をクリックすると番組を削除できます。

PART 5 一歩すすんだテレビ操作

番組を編集してディスクに保存する

地上アナログ放送

地上アナログ放送を録画した番組は、いらない場面をカットするなどの編集をして、ディスクに保存することができます。

地上アナログ放送を録画した番組は、いらない場面をカットしたり、複数の番組から欲しいところだけをつなぎ合わせてベスト映像を作ることができます。DVDに保存する場合は、タイトルメニューをつけて市販のDVDのようにすることもできます。

ブルーレイディスクドライブモデルでは、BDAV形式にして、BD-Rに保存することもできます。

編集した番組をDVDに保存する場合はp.101をご覧ください。
編集した番組をBD-Rに保存する場合はp.106をご覧ください。

地上アナログ放送を録画した番組でできることと保存できるディスクの種類は次の通りです。

ディスクの種類	番組の編集	タイトルメニューの作成
DVD-R、DVD-R(2層)、DVD-RW、DVD+R、DVD+R(2層) DVD+RW	○	○
BD-R	○	×

■ 簡易編集について

アドバンストモードでは、簡易編集機能を使っていらない場面をカットすることもできます。

ポイント

● 番組の編集は、DVD MovieWriter for NECでおこないます。DVD MovieWriter for NECではCPRM(著作権保護技術)で保護されたディスクを読み込むことはできません。

● SmartVisionを経由せず、直接DVD MovieWriter for NECを起動すると、BDMV形式(タイトルメニューあり)のBD-R/REの作成ができます。

チェック

ハードディスクの空き容量が不足していると、簡易編集ができません。ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART3の「録画した番組を削除する」(p.66)または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードウェア・システム設定」をご覧ください。

参照

簡易編集について→オンラインヘルプ(p.92)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」-「いらないシーンは切り取って欲しいとこだけ残そう」

編集してDVD-Videoを作る

録画した番組を編集してDVDにします。ここでは例として、番組からいらない部分をカットして、DVD-R(1層)にDVD-Video形式で保存する方法を説明します。

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

3 保存したい地上アナログ放送の番組をクリックし、(DVD作成)をクリック

「DVD作成」画面が表示されます。

4 書き込む番組とメディア(ディスク)の種類を確認する

① 書き込む番組名を確認する

② をクリックし、書き込むメディア(ディスク)の種類を選ぶ

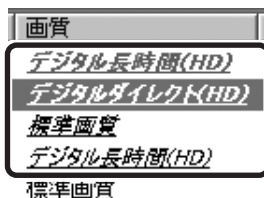
③「実行」をクリック

「Ulead DVD MovieWriter」の「メニュー作成」画面が表示されます。

参照

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.90)

チェック

VIDEOリストで、「画質」欄が斜体で下線付きの番組は、コピーワンスの番組(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)です。この番組を保存するときは、アナログ変換後CPRMに対応したDVD-RAM/DVD-RまたはBD-REに保存(移動(ムーブ))してください。

参照

コピー制御信号が含まれた番組のDVD-RAM/DVD-Rへの保存→PART4の「番組をCPRM対応DVD-RAM/DVD-Rに保存する」(p.76)

ポイント

- 保存したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。
- 番組を追加したいときは、「番組を追加する」タブをクリックして表示される画面で追加します。
- 書き込むメディアの種類にDVD-RAMを選んで「実行」をクリックすると、番組を編集しないでそのまま保存する画面が表示されます。

チェック

「書き込むメディアの種類」で「DVD±R/RW」や「BD-R」を選択したとき、「メニュー作成」画面がSmartVisionのウィンドウに隠れて見えなくなることがあります。

このような場合は、Part6の「操作中にウィンドウが見えなくなる」(p.136)をご覧ください。

5 「戻る」をクリック

「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

6 再生順を変えたい番組の画像をドラッグ& ドロップ

これで、DVDにしたときの番組の再生順が変わります。

7 編集する番組を下の一覧からクリックして、「ビデオのカット編集」をクリック

「メディアを編集」が表示されていない場合は、をクリックしてください。「ビデオのカット編集」画面が表示されます。

ポイント

番組の編集をおこなわず、メニューだけを作ってDVDにする場合は、手順5をおこなわずに手順11に進むと手間が省けます。

ポイント

マウスで使う画面を表示してをクリックし、「映像／音声／操作」-「音声」-「二ヶ国語放送」を「主+副音声」に設定して録画した二か国語番組をDVDにする場合、画面下にある番組のサムネイル画像を右クリックして「オーディオ出力設定」-「L+Rを分割」を選ぶと、二か国語を別々の音声トラックに収録したDVDを作成できます。

8 映像のいらない部分をカットする

① 「自動CM検出」をクリック
自動的に、映像の変わり目が検出されます。

② 画面下の一覧から、必要のない場面をクリック

③ ×をクリック
選んだ映像が削除されます。

④ いらない部分すべてについて、②〜③を繰り返し、終わったら、「OK」をクリック
手順7の画面に戻ります。

9 手順7〜手順8を繰り返して、すべての番組からいらない部分を削除する

10 「次へ」をクリック

手順5の画面に戻ります。

チェック

「自動CM検出」は、映像の変わり目や、音声の切り換わりから、場面の転換を自動的に検出します。そのため、映像によっては期待した効果が得られない場合があります。

ポイント

- 「自動CM検出」を使わずに、[ ] を使って、映像の中から残したい場所だけを選んで残すこともできます。
- DVD MovieWriter for NECでは、ほかにも、映像にチャプタを付けたり、文字や音楽を合成したりできます。

参照

DVD MovieWriter for NECの詳しい使い方→画面下の?をクリックして表示されるDVD MovieWriter for NECの「ユーザーマニュアル」

11 DVDを再生したときに表示されるメニューのデザインを編集する

① 使いたいメニューのデザインをクリック

② ここをダブルクリックして表示される画面で、DVDのタイトルを入力
「マイタイトル」のまま変更しないと、完成したDVDではこの部分には何も表示されません。

③ ここをダブルクリックして表示される画面で、それぞれの番組のタイトルを入力

④ ここをクリックして表示される「プレビュー」画面で、▶をクリックして内容を確認する
この画面でできあがりのDVDの動作を確認できます。
修正する場合は「プレビュー」画面の「戻る」をクリックします。
この画面で「次へ」をクリックすると「出力」画面が表示されます。

⑤ メニューの編集が終わったら、「次へ」をクリック
「出力」画面が表示されます。

ポイント

「ギャラリー」の をクリックして「すべて」を選択すると、さらに多くのメニューが選べます。

チェック

- メニューには、自動的に番組名がタイトルとして入力されています。タイトルがほかのタイトルや映像に重なってしまうときは、改行したり、ドラッグ＆ドロップしてタイトルの位置を変えたりしてください。
- メニューが2ページ以上になっているときは、 でページを切り換えてそれぞれに入力してください。

12 何も記録されていないDVD-R（1層）ディスクをDVD/CDドライブにセットする

チェック

ほかのディスクを使うときは、画面下の をクリックして表示される「ユーザーマニュアル」を見て操作してください。

13 「レコーディング形式」が「DVDビデオ形式(DVD-R/-RW/+R)」になっていることを確認して、「書き込み」をクリック

書き込みについてのダイアログメッセージが表示されたときは「OK」をクリックしてください。書き込みが始まります。

これで、DVDが作成されます。後の操作は、画面の説明を読んでおこなってください。

チェック

●画面下に表示されている容量のグラフが4.38(4.70)Gバイトを超えているときは、「DVD1枚に収める」をクリックしてください。自動的に、1枚のDVDに保存できるように映像を変換します。
ただし、映像の画質や時間によっては、1枚のDVDに収められない場合があります。そのときは、書き込む番組数を少なくしてください。

●書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

■ DVD MovieWriter for NECでDVD形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriter for NECでDVD形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存する場合、映像の画質(ビットレート)などにより、記録できる時間は異なります。

●DVD-R/RW、DVD+Rにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。

●DVD-R/RW、DVD+R/RWに保存したビデオは、家庭用DVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤ、DVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤの状態により再生できないことがあります。

●ディスクの状態(記録メディアの特性、キズ、汚れなど)や、ドライブの状態などによっては、正常に書き込みできない場合があります。

●使用するディスクによっては、最高速度で書き込み、読み込みができない場合があります。

作成したDVD-Videoを再生する前にDVD MovieWriter for NECを終了してください。

録画した番組をBD-Rに保存する(ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルのみ)

地上アナログ放送番組をBD-Rに保存します。

1 BD-Rディスクをブルーレイディスクドライブにセットする

2 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

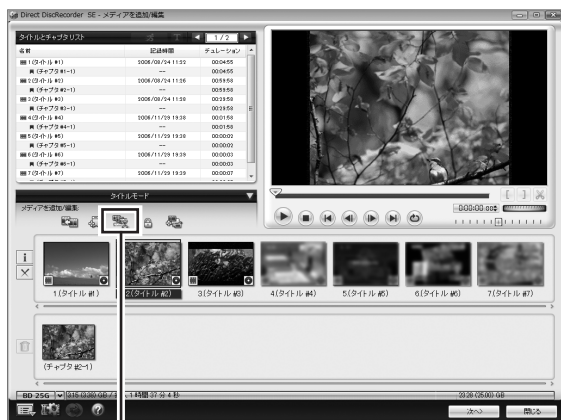
3 (VIDEOリスト)をクリック

VIDEOリストが表示されます。

4 保存したい地上アナログ放送の番組をクリックし、DVD作成(DVD作成)をクリック

「DVD作成」画面が表示されます。

5 「書き込むメディアの種類」で「BD-R」を選び、「実行」をクリック

「メディアを追加/編集」画面が表示されます。

「ビデオのカット編集」ボタン

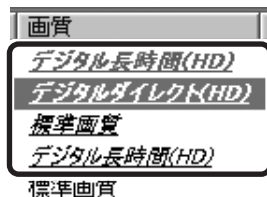
●BD-Rには、デジタル放送(アナログ変換したものを含む)、コピーワンスの番組(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)を保存することはできません。

●DVD-Videoのようなメニュー画面を作成することはできません。

マウスで使うための画面を表示する
→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.90)

ポイント

●保存したい番組が複数あるときは、【Ctrl】を押しながらクリックすると選べます。

●VIDEOリストで、「画質」欄が斜体で下線付きの番組は、コピーワンスの番組(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)です。この番組を保存したいときは、BD-REに保存(移動(ムーブ))してください。

ポイント

●番組を追加したいときは、「番組を追加する」タブをクリックして表示される画面で追加できます。

●DVD MovieWriter for NECでフォーマットしていないディスクをセットしているときは、画面の指示に従ってフォーマットしてください。

この画面で、映像のいらない部分をカットするなどの編集ができます。カット編集のしかたはDVD-Videoの場合と同じです。p.102の手順7〜手順8を参照してください(ただし、掲載されている画面と実際の画面は多少異なります)。

6 編集が終わったら「次へ」をクリック

7 「書き込み」をクリック

書き込みが始まります。

これで番組がBD-Rに保存されます。以降の操作は、画面の説明を読んでおこなってください。

■ DVD MovieWriter for NEC使用上の注意

DVD MovieWriter for NECを使って、ビデオデータをBD-RまたはBD-REに保存する際は、次のことにご注意ください。

●DVD MovieWriter for NECで作成したディスクのフォルダをエクスプローラなどで削除すると、ディスクが使用できなくなります。

チェック

●書き込みに失敗したディスクは再生できなくなります。書き損じによるディスクの保証はできませんのでご注意ください。

●BD-Rに空き容量がある場合は、追記可能です。

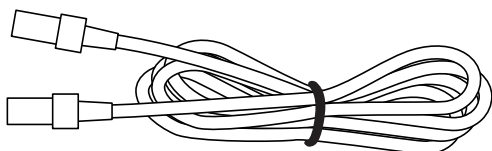
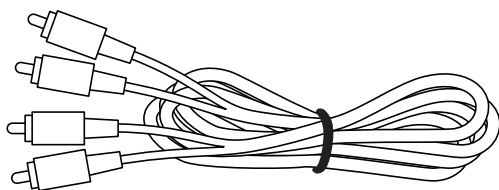
PART 5 一歩すすんだテレビ操作

外部機器を接続する(VALUESTAR Nを除く)

ご家庭のビデオデッキやアナログビデオカメラと接続して、その映像をパソコンのハードディスクに録画できます。
また、LaVie Cでは、市販の外部ディスプレイと接続して、パソコンの画面を大きな画面に表示したり、パソコンと外部ディスプレイを合わせて1つの大きな画面として使うことができます。

用意するもの

外部ビデオ機器と接続するとき

パソコンに接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブルを使って接続します。

S映像用ケーブル(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル(ピンプラグ×2、ピンプラグ×2)

外部ディスプレイと接続するとき(LaVie Cの場合)

市販の外部ディスプレイにより、必要なものが異なります。
外部ディスプレイコネクタに接続する場合は、市販のディスプレイ用ケーブルが必要です。
HDMI規格に対応した外部ディスプレイを接続する場合は、市販のHDMIケーブルが必要です。HDMIコネクタを使用する場合、音声は2Chで出力されます(5.1Chでは出力されません)。

接続方法や画面の切り換え方法について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」の「外部ディスプレイと連携させる」、「画面を表示するディスプレイを切り換える」をご覧ください。

参照

LaVie Cで外部ディスプレイを接続する方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコン機能」-「表示機能」

チェック

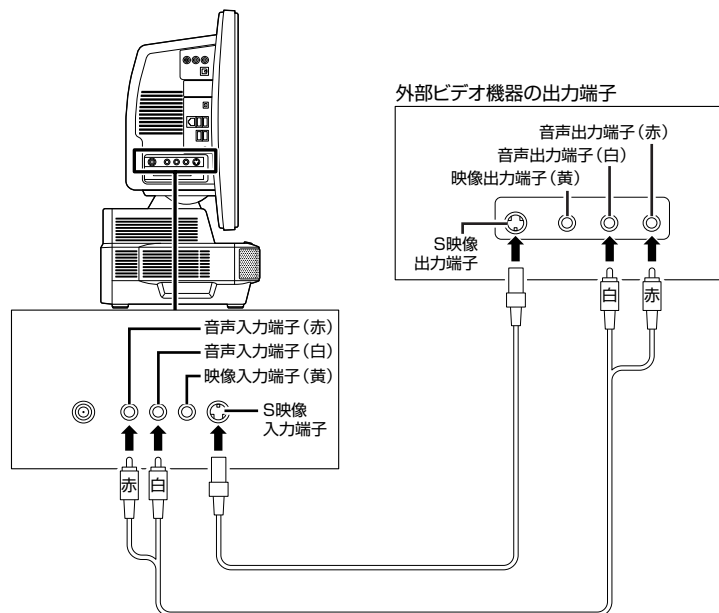
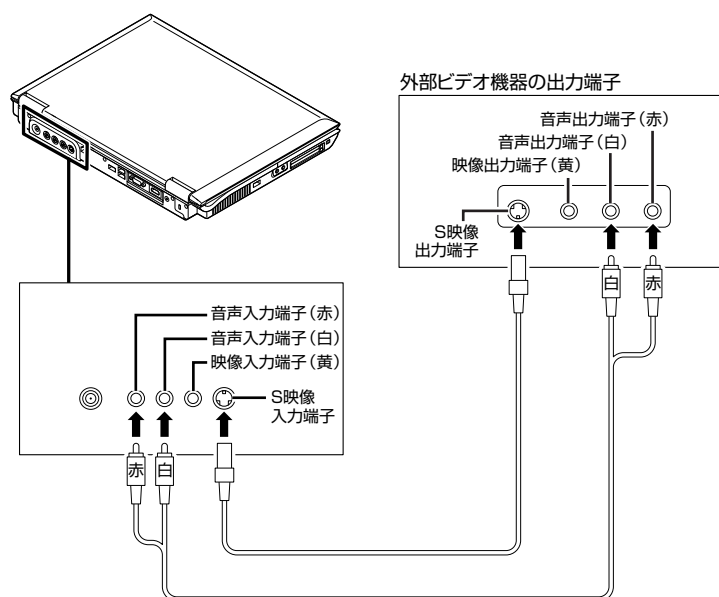
- コピー制御信号(コピー不可、1回のみコピー可)が含まれている映像は静止画キャプチャ、ブックマーク登録、短縮再生、ジャンプ、リピートの各機能を利用できません。
  また、コピー不可の場合は、録画、タイムシフトもできません(自動的にライブモードに切り換わります)。
- テレビの映像を外部の機器に録画することはできません。
- CATVのホームターミナルも外部ビデオ機器と同じように接続します。

チェック

ブルーレイディスクドライブモデル、ブルーレイディスクドライブ(HD DVD-ROM再生機能付き)モデルをご使用の場合、著作権保護されたブルーレイディスクの映像を外部ディスプレイやテレビに表示するには、HDMIコネクタを使用する必要があります。

外部ビデオ機器と接続する

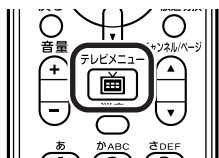
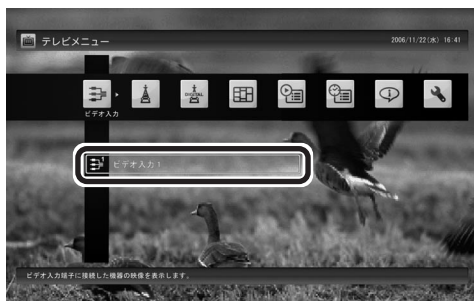
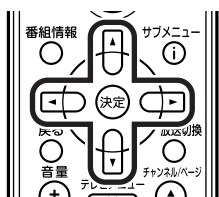
機器の出力端子とパソコンの入力端子(ビデオ入力)を接続して、機器の映像を録画します。

■ VALUESTAR Wの場合

■ LaVie Cの場合

チェック

- 外部接続機器の音声出力から音声を取り込むときは、外部接続機器の「出力レベル」を確認して接続してください。
- パソコンのライン入力レベルより外部接続機器の音声レベルが大きいときは、接続方法を外部接続機器メーカにお問い合わせください。
また、接続するオーディオケーブルに「抵抗入り」ケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されないことがあります。この場合は、「抵抗なし」のケーブルを使用することで、パソコンに音声が出力されるようになることがあります。
※「抵抗なし」、「抵抗入り」のケーブルについて詳しくは、お近くの販売店にご相談ください。

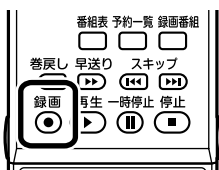
ビデオの映像を録画する

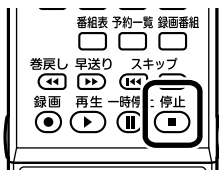
ここでは例として、ビデオデッキの映像を録画する方法を説明します。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「ビデオ入力」の「ビデオ入力1」を選んで【決定】を押す

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。PART3の「■録画する番組の画質を変更する」(p.43)をご覧になり、画質を設定してください。

3 ビデオデッキでビデオを再生する

ビデオの映像が表示されます。

4 リモコンの【録画】を押す

ビデオの録画が始まります。

5 録画を終了するときは【停止】を押す

ポイント

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、PART3の「見ている番組を操作する」(p.46)をご覧ください。ただし、「コピー不可」の信号が含まれている映像の場合、タイムシフトモードに切り換えることはできません。信号が検出されると自動的にライブモードに切り換わります。

■ 録画ファイルのプロパティを変更する

録画した映像の番組名や詳細情報、ジャンルなどを変更したいときは、次の手順をおこなってください。

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

2 (VIDEOリスト)をクリック

3 変更したい番組を選んで プロパティ (プロパティ)をクリック

「プロパティ」が表示されます。

4 変更したい情報を修正して「OK」をクリック

これで、番組情報が変更されます。

■ 録画したデータの利用

ここで録画したデータは、録画した番組と同じように扱えます。
ホームビデオから録画した映像を編集してDVDにしたり、いろいろな楽しみ方ができます。

参照

マウスで使うための画面を表示する→このPARTの「マウスで使うための画面」(p.90)

参照

映像の編集、DVD作成→このPARTの「番組を編集してディスクに保存する」(p.100)

チェック

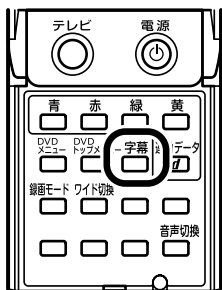
コピーワンス(1回のみ録画可のコピー制御信号が含まれた番組)の番組を録画した場合は、「1回のみ録画可」のデジタル放送をアナログ変換したファイルと同じ機能が利用できます。
コピー不可(マクロビジョン信号あり)の番組では、録画をおこなうことはできません。

PART 5 一歩すすんだテレビ操作

その他の機能

その他の一歩すすんだ機能について紹介します。

字幕放送を見る

字幕放送をしている番組(番組表で字のマークが付いている番組)では、字幕を表示させることができます。
リモコンのフタを開けて、【字幕】を押して字幕表示のオン/オフを切り換えます。

フタを開けた状態

チェック

- 地上アナログ放送で字幕放送を見る場合は、ライブモードでのみ表示できます。タイムシフトモードになっているときは、ライブモードに切り換えてください。切り換え方法については、PART3の「タイムシフトモードにする」(p.45)をご覧ください。
- 地上アナログ放送では、字幕に対応していない番組でも字幕表示をオンにできますが、字幕は表示されません。

通知領域のアイコンについて

デスクトップ画面右下の通知領域には、次のようなテレビ機能(SmartVision)のアイコンが表示されています。
通常時のアイコン:

予約した録画や視聴の開始時刻が近づくと、アイコンが変化して録画や視聴が始まることを知らせます。また、録画中などもアイコンが変化します。

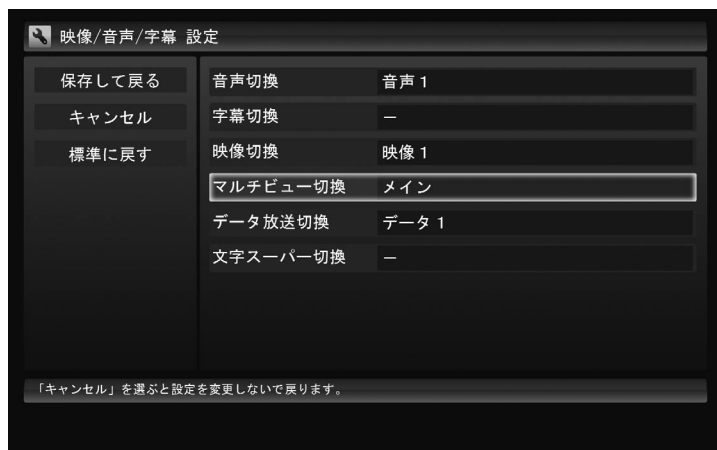
予約開始5分前: ←→ (交互に表示)

予約開始1分前: ←→ (交互に表示)

録画中　　　　: ←→ (交互に表示)

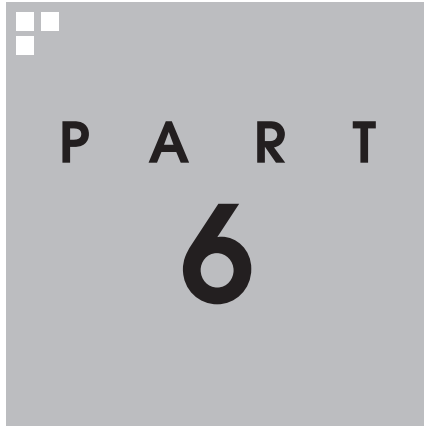
このアイコンをダブルクリックしてテレビを起動することもできます。また、右クリックして、録画の予約をキャンセルするなど、さまざまな操作をすることもできます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.92)の「画面モードと各タブ」-「通知領域のアイコン」をご覧ください。

デジタル放送の番組サービスについて 地上デジタル放送

デジタル放送には、字幕放送のほかにもマルチビューなどいろいろなサービスがあります。それぞれのサービスに対応した番組で利用できます。
テレビを見ているときにリモコンの【サブメニュー】を押し、「映像／音声／字幕設定」を選んで表示される画面で設定できます。

静止画をキャプチャする 地上アナログ放送

映像を静止画にしてパソコンに保存することができます。静止画のキャプチャは、マウスで使うための画面でおこないます。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.92)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで録ろう!」-「カメラのように静止画に保存しよう」をご覧ください。

録画した番組を携帯電話で見る 地上アナログ放送

録画した地上アナログ放送の番組をSD-Video形式に変換してSDメモリーカードに保存すると、携帯電話などの対応機器で見ることができます。外出先で見ることができて便利です。
詳しくは、オンラインヘルプ(p.92)の「ボタンと使い方」-「ノーマルモード・アドバンストモード共通」-「ダイアログ」-「ファイル出力ダイアログ」-「SD-Video形式に変換」をご覧ください。

Q&A

テレビを見ていて困ったことがあったときは、ここをご覧ください。

PART 6
Q&A

テレビに関して何か問題があるときは

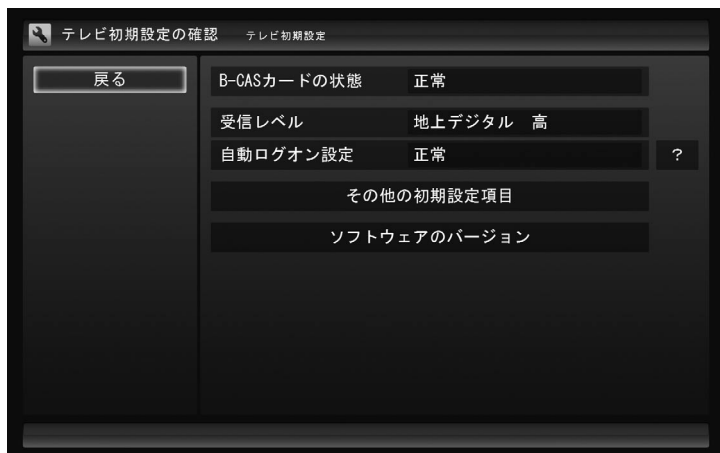
何か問題があるときには、まず「テレビ初期設定の確認」の画面で確認してみてください。どの設定に問題があるかを確認することができます。

初期設定を確認する

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「設定」の「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す

3 「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す

初期設定の確認が始まります。確認が完了すると、次の画面が表示されます。

この画面で初期設定の状態が表示されます。
それぞれの項目を選ぶと、設定画面が表示されます。問題のある設定を確認してください。

PART 6
Q&A

テレビを見ているとき

テレビが映らない、音が出ないなど、テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

■ 接続は正しいですか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■「テレビ初期設定」は終わっていますか？

テレビを見るには、あらかじめテレビ初期設定が必要です。設定についてはPART1の「テレビ初期設定をする」(p.7)をご覧ください。

参照

初期設定の後にテレビが映らないとき→PART1の「テレビ初期設定で困ったら」(p.13)

■ ほかのソフトが起動していませんか？

「WinDVD for NEC」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。
また、テレビを快適に視聴するために、SmartVisionを起動する前に、動作中のソフトをすべて終了させてください。

■ ほかのユーザーでSmartVision などを起動したまま、ユーザーを切り換えていませんか？

テレビ視聴中、Windowsのユーザー切り換えの機能で別のユーザーに切り換えると、そのユーザーではテレビを視聴することはできません。

■「VIDEO」や外部入力(ビデオ入力)になっていませんか？

ビデオ入力になっているときは、【テレビメニュー】を押して、テレビメニューから見たい放送波を選んでください。

■ パソコンをお使いの場所は地上デジタル放送のサービスエリア内ですか？ 地上デジタル放送

パソコンをお使いの場所がサービスエリアに含まれているかどうか、アンテナレベルチェックで各チャンネルの受信状況を確認してください。
放送エリアについて詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご確認ください。

チェック

放送エリア内でも、地形や建物、放送電波が弱い場合などの理由で視聴できない場合があります。

■ お使いのアンテナはUHF帯に対応していますか？ 地上デジタル放送

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使っています。お使いのアンテナがUHF帯に対応しているか確認してください。
また、アンテナが地上デジタル放送を送信している電波塔に向いているかどうかも確認してください。
ケーブルテレビなどをお使いの場合は、受信できるかどうか、ケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ UHFアンテナの向きを確認してください

地上デジタル放送の送信塔の方向が、現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。

■ B-CASカードはセットされていますか？

本パソコン添付のB-CASカードがなければ、地上デジタル放送を視聴できません。また、正しい向きでセットされていないと映像が映りません。
『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

■ ナイトモードになっていませんか？（VALUESTARのみ）

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ 地上デジタル放送の受信レベルを確認してください

テレビメニューの「設定」-「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の確認」で、アンテナの受信レベルを確認してください。受信レベルが0でなくてもテレビが見られないときは、次の点についてご確認ください。

- ●受信レベルが55以下、またはチャンネルスキャンをおこなったとき、受信可能チャンネルは表示されるが選局すると「放送休止中」などのメッセージが表示される場合
  お近くの電器店などに、次の点を確認してください。
  ・地上デジタル放送を受信可能なアンテナを設置しているか
  ・受信環境（アンテナケーブルや分配器など）に問題はないか
- ●受信レベルが56以上でチャンネルスキャンも正常だが、選局すると画面が黒い場合
  B-CASカードが正しくセットされているか、確認してください。
  パソコンに添付されているB-CASカードがないと、地上デジタル放送を視聴できません。
  『準備と設定』第2章の「B-CASカードをセットする」をご覧になり、B-CASカードを正しい向きでセットしてください。

参照

受信レベルチェックについて→PART1の「テレビ初期設定で困ったら」（p.13）

テレビ初期設定で、チャンネルのすべてまたは一部が設定されない。プリセットチャンネルを手動で設定しても改善しない。地上アナログ放送の画面の映りが悪い(受信不安定になる)。地上デジタル放送でブロックノイズが発生したり、受信が不安定になる

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルにBS/CS放送の電波が混合されていませんか？

地上アナログ放送／地上デジタル放送の電波にBS/CS放送の電波が混合されたアンテナケーブルを本機に接続していると、BS/CS放送の電波の影響で上記の現象が発生することがあります。分波器を使って分波してから本機に接続してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

■ パソコンに接続しているアンテナケーブルの電波が強すぎる可能性があります

アッテネーター機能を有効にすると改善されることがあります。
【テレビメニュー】を押し、「設定」-「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の確認」-「その他の初期設定項目」の「アッテネーター機能」で「有効」を選んで【決定】を押してください。

■ ブースターの利得(ゲイン)を調節してください

アンテナと本機の接続にブースターを使用している場合、その利得の調整が適切でないと電波が強すぎたり弱すぎたりすることがあります。ブースターから出力する各電波のレベルが適切になるように、ブースターへの入力レベルや利得などを調整してください。
詳しくは、お近くの電器店やアンテナ工事業者などにご相談ください。

テレビを起動したら、チャンネルが勝手に変わってしまう

■ 番組表を受信中ではありませんか？

番組表を受信中はテレビのチャンネルが勝手に切り換わります。番組表の受信は、チャンネルを切り換えるなどの操作で中止されます。

番組表の受信中にSmartVisionを起動すると、データの受信を中断します。

テレビの視聴中にエラーメッセージで、再起動するように表示された。または操作できなくなった

エラーメッセージで再起動をするように表示されたときは、パソコンを再起動してください。また、操作ができなく(「応答なし」の状態に)なったときは、【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】(LaVieは【Del】)を押して、表示された画面で「タスク マネージャの起動」をクリックし、「Windows タスク マネージャ」でWindows Media Centerを終了させ、テレビを起動しなおしてください。起動しなおしても機能が回復しない場合は、パソコンを再起動してください。

音が出ない、音が大きすぎる

■ 音量を調節してください

リモコンの【音量】で音量調節をおこなってください。
また、ミュート(消音)になっていないか確認してください。

■ ナイトモードになっていませんか？(VALUESTARのみ)

ナイトモードになっていると、パソコンの電源は入っていても、映像と音声がオフになります。本体の画面消灯ランプが点灯しているときは画面消灯ボタンを押してください。

■ ほかのソフトが起動していませんか？

音声を出力するほかのソフトが動作している場合、地上アナログ放送のライブモードで音声が出力されない場合があります。動作しているソフトがある場合は終了してください。

参照

●音量の調節について→PART2の「音量を調節する」(p.23)
●パソコンのスピーカの音量を調節する→『準備と設定』第4章の「音量を調節する」

映像が乱れる(コマ落ちする)

■ CPU使用率が高くなっていませんか？

パソコンのCPU使用率が高くなると映像がコマ落ちします。ほかのソフトを終了してから、テレビを起動してください。
次の手順でCPU使用率を確認できます。

1 タスクバーの何もない部分を右クリックし、「タスク マネージャ」をクリック

「Windows タスク マネージャ」が起動します。

2 「パフォーマンス」タブをクリック

3 CPU使用率を確認する

CPU使用率が約80%以上のときは、画面が乱れることがあります。ほかのソフトを終了して、CPU使用率を約80%以下にしてください。

チェック

約80%以下の場合でも、同時に動作しているソフトがメモリやリソースを多く使用していたり、ゲームのようなグラフィック表示を多用するソフトを動作させていると映像が乱れる(コマ落ちする)ことがあります。

■ 電源設定が省電力(LaVie省電力)になっている

電源の設定が省電力(LaVie省電力)になっている場合、消費電力を抑える機能が働きパソコンのパフォーマンスが低下します。テレビ機能を使用する場合は、次の設定にしてください。LaVie Cの場合、キーボード上部のECOボタンでも変更できます。

VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合：高パフォーマンス
LaVie Cの場合：LaVie高性能または高パフォーマンス

■ ACアダプタが未接続/バッテリのみで使用している(LaVie C)

ACアダプタを接続せずバッテリのみで使用する場合、消費電力を抑える機能が働きパソコンのパフォーマンスが低下します。テレビ機能を使用する場合は、ACアダプタの使用を推奨します。

参照

●電源設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」
●ECOボタンの設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」

■ ウイルスバスターの自動アップデート確認をしていますか?

ウイルスバスターの自動アップデート確認で、コマ落ちしたり音飛びすることがあります。次の手順をおこなってください。

1 通知領域にある(ウイルスバスターのアイコン)を右クリック

2 「メイン画面を起動」をクリック

3 「アップデート/その他」をクリック

4 「アップデート」欄の「設定」をクリック

5 「アップデート設定」で「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を有効にする」のをクリックしてにする

6 「OK」をクリック

「インテリジェントアップデート」を無効にすると、ウイルス定義ファイルや製品の更新(アップデート)が自動的におこなわれなくなります。SmartVisionを終了した後は、「インテリジェントアップデート」をするように設定を変更するか、最低1週間に1回は手動で更新をおこなってください。

■ 地上デジタル放送のデータ放送を無効にしてください

地上デジタル放送のデータ放送を一時的に無効にすることで、コマ落ちを改善できることがあります。

1 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「データ放送(有効)」を選んで【決定】を押す

2 「無効」を選んで【決定】を押す

■ 字幕放送を受信する設定になっていませんか? 地上アナログ放送

字幕放送を受信する設定にしていると、コマ落ちが発生する場合があります。
映像を優先する場合は、次の手順で字幕放送の設定を解除してください。

1 地上アナログ放送に切り換える

2 リモコンの【サブメニュー】を押し、表示されたメニューから「映像/音声/字幕設定」を選んで【決定】を押す

3 「字幕切換」を選んで設定を「オフ」にする

4 「保存して戻る」を選んで【決定】を押す

■ パソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用していませんか?

このパソコンの近くで携帯電話や電子レンジを使用すると、映像や音声が乱れる場合があります。

参照

「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを更新する」-「インテリジェントアップデート(自動アップデート)を無効にする」

チェック

アップデートの確認は、番組を視聴していないときにおこなってください。

■ タイムシフトモードで見ていますか？ 地上デジタル放送

デジタル放送をタイムシフトモードで見ている場合や、さかのぼり録画をしている場合に、映像が乱れることがあります。この場合は、リモコンの【一時停止】を押して、10秒くらい待ってから再生すると改善できる場合があります。

■ Windowsがメッセージを表示している

Windowsがエラーメッセージなどを表示していると映像がコマ落ちすることがあります。全画面表示でテレビを見ている場合は、一旦、ウィンドウ表示にするか最小化して、メッセージが表示されていないか確認してください。表示されていた場合は、メッセージの内容にしたがって対処してください。

放送中の地上デジタル放送の映像が遅れている 地上デジタル放送

地上デジタル放送の映像が遅れて表示されることがありますが、故障ではありません。

ポイント

画面に時刻が表示されている場合、時刻の切り替わりが実際より遅れて表示されることがあります。

映像が微動する（揺れる）

映像によっては、画面（特に文字表示部分）が微動して見える場合がありますが、故障ではありません。

デジタルデータ放送が表示できない 地上デジタル放送

■ デジタルデータ放送をおこなっているチャンネルになっていますか?

マウスで操作するための画面にすると、デジタルデータ放送をおこなっている番組かどうか確認することができます。データ放送をおこなっている場合は、画面右下のインジケータに「データ連動放送中」と表示されています。

地上アナログ放送の番組が、新聞のテレビ欄と異なる 地上アナログ放送

■ 県境地域などにお住みのかたは、手動プリセットで、正しいCHプリセットに設定しなおしてください

受信チャンネルのオートプリセットを実行したとき、お住まいの地域とヒット(受信確認)したCHマップとを照合し、最も適合性の高いCHプリセットを設定します。
このため、たとえば県境地域など、隣接県放送が受信可能な地域では、正しいCHプリセットとならない場合があります。
次の手順でプリセットしなおしてください。

チェック

タイムシフトモードでは、設定を変更できません。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「設定」の「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す

3 「テレビ初期設定の確認」を選んで決定を押す

初期設定の確認が始まります。確認が終わると、その結果が表示されます。

4 「その他の初期設定項目」を選んで【決定】を押す

5 「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す

6 「設定する放送波」で「地上アナログ」を選び、「プリセット変更」を選んで【決定】を押す

「プリセットチャンネル」画面が表示されます。以降はマウスで操作してください。

7 チャンネルを手動で設定する

① 設定するチャンネルの左の□をクリックして☑にし、「CH」の数字をクリック

② ▼をクリックしてチャンネルと放送局名を選ぶ
「放送局」の一覧に該当する放送局名がないときは、キーボードで放送局名を入力してください。

③ 必要に応じて「微調整」の▯をドラッグして、番組を受信できるように調整する

設定するチャンネルすべてについて手順7を繰り返してください。

8 「完了」をクリック

「チャンネル設定」画面に戻り、リモコンで操作できるようになります。
これでチャンネルの手動プリセットは完了です。

■ CATV回線を利用しているかたは、CATV事業者にお問い合わせください

どのCHにどの放送局が再配信されているかは、CATV事業者の運用形態により異なります。
CATV回線を利用しているかたは、CATV事業者に、CHマップ(CHと放送局の関係)をご確認になり、手動プリセットで正しいCHプリセットに設定しなおしてください。

チェック

- 「放送局」の一覧に放送局名があるときは、キーボードから入力せずに一覧から選んでください。キーボードから入力すると番組表が受信できなくなることがあります。
- 地上デジタル放送の開始によりアナログ周波数変更対策がおこなわれた地域のかたは、放送局のチャンネル番号が変更されていることがあります。詳しくは、(社)電波産業会のホームページのアナログ周波数変更対策情報(http://www.arib.or.jp/anahen/index.html)をご覧いただくか、またはお住まいの地域の受信対策センターにご相談ください。

CATV回線で、デジタル放送に対応しているか知りたい 地上デジタル放送

■ このパソコンの地上デジタル放送は、CATVパススルー方式(同一周波数および周波数変換)に対応しています

トランスモジュレーション方式には対応していません。
お客様の受信環境での再配信種別などに関しては、ご利用のCATV事業者にご確認ください。

地上デジタル放送の、新しく放送開始した放送局が選局できない 地上デジタル放送

■ チャンネルの再スキャンをおこなってください

新たに放送開始した放送局は、視聴可能チャンネルに自動的には追加されません。
次の手順でチャンネルの再スキャンをおこなってください。

1. **リモコンの【テレビメニュー】を押す**
2. **「設定」の「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す**
3. **「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す**
   初期設定の確認が始まります。確認が終わると、その結果が表示されます。
4. **「その他の初期設定項目」を選んで【決定】を押す**
5. **「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す**
6. **「設定する放送波」で「地上デジタル」を選び、「チャンネル設定」を選んで【決定】を押す**
7. **「スキャン方法」で「再スキャン」を選び、「次へ」を選んで【決定】を押す**
   チャンネルの再スキャンが始まります。
8. **「再スキャン」が終了したら、「次へ」を選んで【決定】を押す**
   これで再スキャンは完了です。

携帯電話などでワンセグ放送が受信できるのに、地上デジタル放送の受信レベルが低い 地上デジタル放送

■ワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能です

ワンセグ放送は、地上デジタル放送より少ないデータ量で高感度受信を実現しているため、一般には、地上デジタル放送よりワンセグ放送の方が、弱い電波でも受信可能となります。
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうことで、受信状態が改善されることがあります。

アンテナケーブルの接続方法について→『準備と設定』第2章

PART 6 Q&A

視聴予約や録画予約ができないときには

予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

視聴予約した番組が開始されない

■ 省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面が表示されない設定になっていますか？

視聴予約機能を利用するために、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時に、パスワードの確認画面を表示しない設定にする必要があります。PART3の「■視聴予約について」(p.52)をご覧になり、設定をおこなってください。

録画予約した番組が録画されていない

■ Windowsのログオンパスワードを設定・変更していませんか？

Windowsのログオンパスワードを新たに設定または変更したときは、「自動ログオン」の設定を変更する必要があります。
「テレビメニュー」の「設定」-「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の確認」-「自動ログオン設定」で設定を確認してください。

参照
自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.142)

■ 「結果一覧」で予約実行結果を確認してください。

「結果一覧」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると予約結果一覧に「失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組を選んで【決定】を押すと、結果の詳細が表示されます。

参照
予約実行結果を確認する→ PART3の「予約の結果を確認する」(p.54)

■ 「自動ログオンの設定」をしていますか？

パソコンの電源を切っている場合、自動ログオンの設定がされていないと、電源を切った状態からパソコンを自動起動することはできません。「テレビメニュー」の「設定」-「テレビ初期設定」-「テレビ初期設定の確認」-「自動ログオン設定」で設定を確認してください。
LaVie Cの場合、出荷時設定では、パソコンの電源が切れているときは予約時間になっても自動的に電源が入るようになっていません。省電力状態でパソコンを終了させるか、テレビメニューの「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」から設定を変更してください。

参照
自動ログオンの設定について→付録の「自動ログオンの設定をする」(p.142)

■ バックアップユーティリティで自動バックアップを設定していませんか？

バックアップユーティリティで自動バックアップをした後に、パソコンを省電力状態に移行したり電源を切ったりするように設定している場合は、お互いの予約時間が重ならないように注意してください。
SmartVisionで予約した録画が実行中であっても、バックアップ完了後にパソコンが省電力状態に移行したり電源が切れた場合、SmartVisionの録画は失敗します。

■ パソコン内蔵の時計は正確ですか？

パソコン内蔵の時計の時刻が放送波の時刻と大きくずれていると、番組が正確に録画されない場合があります。パソコン内蔵の時計がずれている場合は、正しい時刻に合わせてください。
パソコンの時計は、デジタル放送を受信していると自動的に修正されます。また、地上アナログ放送の番組表を受信するときも修正されます。

■ 番組編成が変わっていませんか？ 地上デジタル放送

次のようなときは録画されません。

- ●番組表が更新され、予約した番組の放送がなくなった。または、予約時の番組情報と一致しなくなった、予約済みの他の番組と予約時間が重なった。
- ●前の番組の延長や臨時番組の放送などで、予約した番組の開始時刻が3時間以上遅れた。

  「予約設定」画面の「詳細設定」で、予約した番組の開始時刻や終了時刻が変わったときに変更後の時刻に追従して録画するように設定できます。

予約録画した番組が途中で途切れている

■ ウイルススキャンや、Windows Updateの設定を確認してください

月に数回など、定期的に録画予約が失敗する場合は、ウイルススキャンやWindows Updateのアップデート時間が、録画時間と重複し、録画が失敗している可能性があります。
ウイルスバスターやWindows Updateの設定を変更してください。

参照

●ウイルスバスターについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」

●Windows Updateについて→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「Windowsを更新する」

録画フォルダに録画した番組が見あたらない

■ 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、「テレビメニュー」の「予約」から「結果一覧」を選んで確認することができます。

予約結果を確認する→PART3の「予約の結果を確認する」(p.54)

■ 録画保存先フォルダを変更していませんか？

予約したユーザーの保存先フォルダがご購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先が変更されている場合、録画した番組が表示されません。

■ おまかせ録画をしていませんか？

「おまかせ録画」で録画した番組は、録画フォルダと異なるフォルダに保存されます。「テレビメニュー」の「録画番組リスト」から「おまかせフォルダ」を選んでおまかせ録画のファイルを表示してください。
また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。
削除したくない場合は、手動で予約録画するか、おまかせ録画の消去したくないファイルを選んで、【サブメニュー】を押して「おまかせ属性の解除」-「この番組」を選んでください。
おの表示が消えて、削除の対象ではなくなります。

ポイント

おまかせ録画の最大容量は、マウスで使う画面で変更できます。詳しくはオンラインヘルプ(p.92)の「設定」-「録画/再生/予約」-「おまかせ録画」をご覧ください。

■ DVD-RAMに直接録画していませんか？ 地上アナログ放送

DVD-RAMに録画した番組は、録画番組リストには表示されません。

■ 録画した番組をほかのユーザーが移動または削除していませんか？

パソコンを複数ユーザーで使っている場合、「録画番組リスト」の「録画フォルダ」にはすべてのユーザーの録画した番組が表示されるので、録画したユーザー以外の人でも、番組を別のフォルダに移動したり、削除できます。ほかのユーザーが番組を移動したり削除していないか、確認してください。

おまかせ録画で番組を録画したり、予約することができない

■ 条件の一致する番組が、同時刻に複数ありませんか？

おまかせ録画で、条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画できます。録画したい番組以外の番組を除外リストに登録するか、条件を絞り込んでください。

■ すでに録画予約した番組と、予約した時間帯が重なっていませんか？

すでに録画予約した番組と予約した時間帯が重なっている場合は、先に登録された予約が優先されます。おまかせ予約を優先する場合は時間帯の重なる番組予約を取り消してください。

参照
予約を変更する→PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.53)

■ 番組を「除外番組リスト」に登録していませんか？

除外リストに登録した番組は録画されません。
録画対象番組に戻す場合は、「除外番組リスト」をクリックして対象番組を選び、「解除」をクリックしてください。

■ 予約リストから番組を取り消していませんか？

予約リストから取り消した番組(取り消した放送回のみ)は、おまかせ録画の対象外になります。予約する場合は、通常の番組予約で予約しなおしてください。

参照
予約を変更する→PART3の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.53)

■ 番組の放送はいつですか？

おまかせ録画の条件に一致する番組が実際に予約リストに登録されるのは、放送の2日前です。その前に、同じ時刻に放送される別の番組を予約すると、おまかせ録画の番組は予約登録されません。

参照
おまかせ録画の条件登録について→PART5の「おまかせ録画を登録する」(p.94)

PART 6
Q&A

番組表の受信がうまくいかない

番組表受信時に問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表が受信できない、またはデータの取りこぼしが起きる

■ アンテナは接続されていますか？

『準備と設定』第2章をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

■ アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策をおこなうと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

■ テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか? 地上アナログ放送

番組表を受信できる場所であっても、次のような場所では受信できないことがあります。

●ゴースト(二重映り)が多い場所

●電波が弱い場所

●極端に電波が強い場所

電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストの多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースターやゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

■ 地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか?

地上アナログテレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)では、番組表を受信できないことがあります。

チェック

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS-EPGが受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

■ 番組表の受信チャンネルをテレビ朝日系列の放送局に設定していますか？ 地上アナログ放送

番組表は、各地域におけるテレビ朝日系列の放送局から受信できます。受信チャンネルが正しく設定されているか確認してください。
番組表を送信している放送局については、p.35の表をご覧ください。
受信チャンネルの設定は、PART2の「番組表の受信時刻を変更する」(p.34)をご覧ください。

■ 番組表の受信中に、チャンネルを変更していませんか？

番組表の受信中にチャンネルを変更すると、テレビの視聴を優先し番組表の受信は中断します。

■ テレビの視聴中ではありませんか？

番組表の予約受信は、テレビの視聴中は実行されません。

番組表が2日分しか表示されない 地上アナログ放送

■ ご利用の地域はどこですか？

地上アナログ放送の番組表は通常、次の日数分が配信されます。
●北陸朝日放送、あさひテレビのエリア：7日分
●北九州エリアのNHK総合、NHK教育：2日分
●上記以外のエリア：最大8日分

この日数は、予告なく変更される可能性があります。

参照

番組表について詳しくは、http://www.tadv.jp/service/adams.html をご覧ください。

地上デジタル放送の番組表を取得したのに、放送局のロゴが表示されない 地上デジタル放送

■ 放送局ロゴが表示されていない放送局をしばらく視聴し続けてください

地上デジタル放送の放送局ロゴは、10分程度の周期で送信されています。番組表を受信している間にロゴが受信できると、テレビメニューや番組表に放送局ロゴが表示されます。
放送局ロゴが表示されていない場合は、その放送局を視聴し続けていると、自動的にロゴを受信し、テレビメニューや番組表に反映されます。

チェック

テレビメニューや番組表を表示しているときに受信した放送局ロゴは、次にテレビメニューや番組表を表示したときに反映されます。

PART 6
Q&A

動画や静止画をうまく取り込めない

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画や静止画のキャプチャができない

■ ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
テレビの画面でリモコンの【番組情報】を押すと、録画可能時間が表示されます。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、PART3の「録画した番組を削除する」(p.66)または「サポートナビゲーター」-「解決する」-「Q&A一覧」-「ハードウェア・システム設定」をご覧ください。

参照
録画時のハードディスク容量について→PART3の「録画について」(p.40)

■ 録画できる番組ですか？ 地上デジタル放送

番組によっては、録画ができないものがあります。番組表の「番組情報」を見ると、録画可能かどうかがわかります。
その他、録画についての詳しい情報は、PART3の「録画について」(p.40)をご覧ください。

■ 外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、外部ビデオ機器を正しく接続してください。接続についてはPART5の「外部機器を接続する(VALUESTAR Nを除く)」(p.108)をご覧ください。

■ DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？

DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー制御信号が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。

ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない

■ 正しく接続されていますか？

パソコンとビデオデッキを接続するには、市販のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。接続についてはPART5の「外部機器を接続する(VALUESTAR Nを除く)」(p.108)をご覧ください。

■ ビデオ入力になっていますか？

「テレビメニュー」で「ビデオ入力」-「ビデオ入力1」を選択して【決定】を押してください。

PART 6 Q&A

その他

リモコンでデータ放送が操作できない 地上デジタル放送

■ ご購入時の状態では、録画した番組の再生、または タイムシフトモードでデータ放送番組を視聴する場合、データ放送の一部の操作ができません

リモコンの【サブメニュー】を押して「リモコン(標準モード)」を選び、「データ放送モード」を選んで【決定】を押してください。

リモコンの電源ボタンを押しても、テレビが終了するのに時間がかかる

■ リモコンからのテレビの終了には約30秒程度かかります

同時に大量のソフトを実行するなど、パソコンに負荷のかかる動作をおこなっている場合は、終了に通常の倍以上かかることもあります。

電源ボタンを押してから、1分以上経過してもパソコンが終了しない場合は、不要なソフトが同時に複数実行していないかを確認してください。

SmartVisionのデータをバックアップしたい 地上アナログ放送

録画番組データをバックアップするときはSmartVisionを使用してください。SmartVisionのファイル出力機能を使って、番組ごとに書き出して、映像のデータとして保存することでバックアップできます。ただし、デジタル放送画質で録画した番組やコピーワンスの番組の録画データは、バックアップできません。またバックアップユーティリティなどでは録画番組データのバックアップはできません。

● 再セットアップ時のSmartVisionの録画データについて
ご購入時の状態では、録画データはDドライブに保存されています。Dドライブに録画データを保存していて、「Cドライブのみ再セットアップ」をおこなったときは、基本的に再セットアップ後もDドライブの録画データを利用できます。
Dドライブにデータが残らない方法で再セットアップをおこなったときや、録画データの保存先を変更しているときは、他のメディアに書き出すなどして、必要な録画データをバックアップしてください。

参照

ファイル出力機能について→オンラインヘルプ(p.92)の「使ってみよう(導入編)」-「SmartVisionで編集しよう!」

SmartVisionの録画番組データをほかのパソコンに移したい 地上デジタル放送

■ SmartVisionの録画番組データをそのままほかのパソコンに移すことはできません。

録画番組データをほかのパソコンで見るときは、SmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使って、データをDVDに保存して映像データとしてほかのパソコンで再生してください。

参照

録画番組データをＤＶＤにする→「PART4 録画番組をDVDなどに保存する」(p.69)

テレビを終了しようとしたが終了しない

■ ファイアウォールソフトで、テレビの通信を遮断していませんか？

ファイアウォールソフトの設定を変更して、TV関連アプリケーションの通信監視を除外するか、無効化してください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

■ 予約時刻ではありませんか？

設定によっては、予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をしていると、予約時刻の約8分前にパソコンが自動的に起動して、予約に備えます。
予約録画、予約視聴、番組表受信の予約内容を確認してください。
番組の録画・視聴予約内容については、PART3 の「予約の確認や変更、取り消しをする」(p.53)をご覧になり、予約内容と予約結果を確認してください。
電源を切った状態から自動的にパソコンを起動させたくない場合は、【テレビメニュー】を押し、「設定」-「テレビ詳細設定」-「電源設定」と選んで「電源設定」画面を開き、「予約録画、予約視聴、番組表の受信を開始する前の動作を選んでください。」で「スリープ状態/休止状態から起動する」を選んで【決定】を押し、「保存して戻る」を選んで【決定】を押してください。省電力状態からのみ予約により起動するようになります。

ポイント

ご購入時は、電源ボタンはスリープ(省電力状態)でパソコンを終了する設定になっています。

夜間の予約録画実行時、パソコンの音がうるさい

■ ナイトモードにしてください(VALUESTARのみ)

予約録画でパソコンが起動するときに、起動/終了時の音が気になるときは、画面消灯ボタンを押して、ナイトモードにしてください。
ナイトモードにすると、画面や音声をオフにした状態で録画されるので、就寝中の録画に便利です。

参照

ナイトモードについて→PART3の「■ナイトモードにする(VALUESTARのみ)」(p.51)

テレビ画面に緑色の横線が見える

入力信号が無い場合、緑色で帯状の横線が見えることがあります。ビデオ入力端子に入力した映像を見ようとして映像信号が未入力のとき、または、地上アナログ放送を視聴しようとしてアンテナケーブルが抜けていたときや、選局したチャンネルの受信電波が弱いときに、緑色で帯状の横線が見えることがあります。ビデオ入力機器の再生、またはアンテナケーブルをご確認ください。また、電波の弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。ブースターの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

テレビ画面上にメッセージが表示された

■ メッセージの内容にしたがって、ご利用環境を確認してください

● [B-CASカードを正しく装着してください。]
B-CASカードが装着されていないか、または正しい向きでしっかりとセットされていない可能性があります。もういちどB-CASカードを確認してセットしなおしてみてください。

● [E201 信号レベルが低下しています。]
- ・アンテナケーブルを確認してください。
- ・アンテナの向きを確認してください。

● [E202 信号が受信できません。]
- ・アンテナケーブルを確認してください。
- ・地上デジタル放送の場合は、テレビ初期設定をおこない、チャンネルをスキャンしなおしてください。

B-CASカードのセットのしかたについて→『準備と設定』第2章

● [E203 放送休止中]
受信レベルが0またはそれに近い値のとき、このメッセージが表示されます。
- ・番組表などで放送時間をお確かめください。
- ・エラー表示チャンネルの受信レベルを確認してください。

● [EC01 B-CASカードの情報を読み取れません。B-CASカードが装着されていること、また正しい方向に装着されていることをご確認ください。]
B-CASカード自体に問題があるか、B-CASカードが正しくセットされていないときに表示されます。B-CASカードが正しい向きでしっかりとセットされていることを確認してください。

パソコンの電源が勝手に切れる

■ 予約をおこなっていませんか？

予約録画(おまかせ録画を含む)、予約視聴、番組表受信の予約をおこなっていると、予約動作の完了時にスリープ状態になるという内容のメッセージが表示され、60秒経過すると自動的にスリープ状態になります。

参照

予約実行前後の動作について→PART3の「予約実行前後の動作を設定する」(p.61)

■ 番組表の受信時刻ではありませんか？

ご購入時の設定では、毎日午前7時から午後7時に番組表の受信を自動でおこなうように設定されています。
番組表の受信が完了したときにSmartVisionが起動していないと電源が切れることがあります。

参照

番組表受信時刻の変更について→PART2の「番組表の受信時刻を変更する」(p.34)

SmartVisionの動作が遅いことがある

■ 録画ファイルの数が多くありませんか？

録画したファイルの数が多いとSmartVision起動後の動作が遅いことがあります(映像の乱れやコマ落ちなども含む)。
保存しておきたい番組はSmartVisionのDVD作成機能またはファイル出力機能を使ってDVDに保存し、不要となった録画ファイルは削除してください。

■ パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高くありませんか？

パソコンの負荷状況(CPU使用率)が高い状態では、放送波の切り換えや、タイムシフトなどのモードの切り換え/早送り/巻き戻し等の操作を行ってから、実際に機能が働くまでに時間がかかる場合があります。
パソコンの負荷を軽減するために、同時に動作しているアプリケーションを終了させてください。また、アプリケーションの再起動やハードディスクの整理等をお試しください。

■ 外部機器に接続した映像を表示していますか？(VALUESTAR Nを除く)

接続した外部ビデオ機器が再生する映像や音声をパソコンに表示されるまでには、若干の遅れがあります。ゲーム機器のように素早い応答を必要とするコンテンツの再生には適していません。

操作中にウィンドウが見えなくなる

■ Windows Media Centerのウィンドウを常に手前に表示する設定にしていませんか

Windows Media Centerの「タスク」-「設定」-「全般」-「起動とウィンドウの動作」にある、「Windows Media Centerウィンドウを常に手前に表示」のチェックボックスにチェックを入れていると、Windows Media Centerのウィンドウが他のウィンドウよりも手前に表示されます。
この状態で、SmartVisionから別のソフトウェア(Ulead DVD MovieWriterなど)を起動したり、別のウィンドウを表示させる(マウスで使うための画面で「設定ウィンドウ」の「録画／再生／予約」の「DVD直接録画」タブにある「フォーマット」ボタンを押したときなど)と、それらのウィンドウがSmartVisionの後ろに隠れてしまいます。
このような場合は、SmartVisionのウィンドウを最小化したり、ウィンドウのサイズを小さくしてウィンドウの位置を変え、隠れていたウィンドウを表示させてください。
「Windows Media Center ウィンドウを常に手前に表示」のチェックをはずせば、この現象は起こらなくなります。

Windows® Aero™の視覚要素がオフになる

■ SmartVisionはWindows Aeroに対応していません

ご購入時の設定では、SmartVisionをウィンドウ表示で起動したとき、および全画面表示からウィンドウ表示に切り換えたとき、Windows Aeroの視覚要素がオフになり、以下のメッセージが表示されます。
「画面の配色はWindows Vistaベーシックに変更されました。実行中のプログラムは、Windowsの指定の視覚要素と互換性がありません。」

付　録

このパソコンを廃棄・譲渡するときに、SmartVisionに保存されている個人情報を消去する方法や、アンテナの設定方法を説明しています。
また、各モードのボタンやタブの機能について記載しています。

付録

B-CASカードについて 地上デジタル放送

デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードについて説明します。
B-CASカードは、登録が必要です。

B-CASカードを扱うときの注意

B-CASカードは、デジタル放送の各種サービスを利用するために必要なカードです。このパソコンにB-CASカードをセットしないと、デジタル放送を視聴できません。
B-CASカードを扱うときは、次のことに注意してください。

- このパソコン専用のB-CASカード以外のものをセットしないでください。
- B-CASカードは、記載されている「使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で台紙からはがしてください。
- B-CASカードの取り扱いについて、次のことにご注意ください。
  - ・裏面の金メッキされた端子に手を触れないでください。
  - ・折り曲げたり、変形させせたり、傷を付けないでください。
  - ・上に重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。
  - ・ぬれた手で触ったり、水をかけたりしないでください。
  - ・分解・加工しないでください。
- 裏向きや逆方向からB-CASカードをセットしないでください。セットする方向を間違えると、B-CASカードが機能せず、デジタル放送を視聴できません。
- B-CASカードは、常時セットしたままにしておいてください。取り出す場合は、先にパソコンの電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いた後に、B-CASカードを取り出してください。
- B-CAS用「ユーザー登録ハガキ」は、B-CASカードをセットした後、必要事項をご記入の上投函してください。

ポイント

限定受信システム（CAS：Conditional Access System）とは、特定のお客様にかぎって、番組の視聴ができるようにするシステムです。

B-CASカードを登録する

デジタル放送のサービスを受けられるようにするには、B-CASカードのユーザー登録が必要です。B-CASカードに添付されている「ユーザー登録ハガキ」に必要事項を記入して、返送してください。その際、「ご登録に際して」欄の「はい」に○を付けることをおすすめします。
詳しくは、B-CASカードに添付されている説明書をご覧ください。

チェック

- B-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）に帰属します。カードの登録をすると、カードシステムのバージョンアップを無料で受けることができます。
- カードを紛失するなどして再発行する場合は、再発行費用がかかります。

付録

アンテナの設定をする 地上デジタル放送

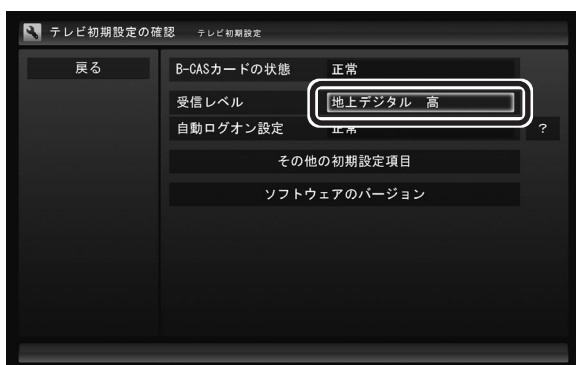
デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をしてください。

デジタル放送の表示に問題があるときは、アンテナの設定をすると改善される場合があります。

1 リモコンの【テレビメニュー】を押す

2 「設定」-「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す

3 「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す

4 「受信レベル」を選んで【決定】を押す

5 アンテナの向きを調節する

アンテナの向きを調節していくと、「レベル:中」または「レベル:高」と表示されます。その状態で受信レベルが最大となるようにアンテナの向きを調節して、アンテナを固定します。
「効果音」を「鳴らす」に設定していると、受信レベルが53以上の場合に音が鳴ります。

6 「戻る」を選んで【決定】を押す

これで、アンテナの設定は終了です。

受信レベルは目安として56以上になるように調節してください。アンテナの受信レベルは、天候・季節・受信している地域（アンテナの設置場所）などによって異なります。

付録

個人情報を消去する 地上デジタル放送

パソコンを廃棄したり、ほかの人に譲渡するときに、保存されている個人情報を消去する必要があります。

次の内容が消去されます。設定ウィンドウで設定した内容はすべてご購入時の状態に戻ります。

・データ放送で使用していた個人情報やポイント
・受信済みのメール／掲示板の内容
・予約結果リストの内容
・しおりリストの内容
・番組表データ(地上デジタル放送)
・地上デジタル放送のチャンネル設定

チェック

この方法で消去するのは、データ放送で使用するSmartVisionに関する個人情報です。個人情報の中には、ゲームのポイントなども含まれます。

データを消去する

1 マウスで使うための画面を表示して、ノーマルモードにする

マウスで使うための画面を表示する
→PART5の「マウスで使うための画面」(p.90)

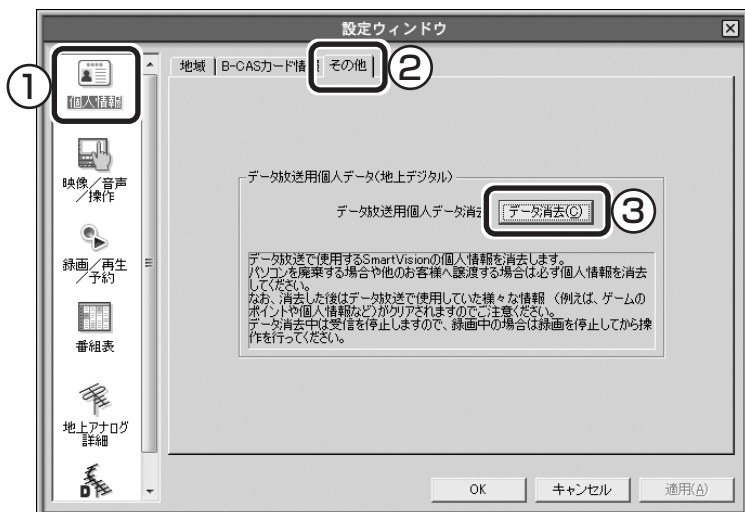
2 (設定)をクリック

「設定ウィンドウ」が表示されます。

3 データ消去の設定をする

①「個人情報」アイコンをクリック

②「その他」タブをクリック

③「データ消去」をクリック

「本当にデータ消去を行いますか？」と表示されます。

4 「はい」をクリック

SmartVisionが終了し、Windows Media Centerのメニュー画面が表示されます。

その後、データ消去ツールが起動し、データの消去がおこなわれます。

- データを消去している間は、SmartVisionを使用することができません。
- 再起動をするようにメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- データを消去した後は、ご購入時の状態に戻ります。テレビの視聴をおこなう場合は、もう一度テレビ初期設定(p.7)をおこなう必要があります。

付録

自動ログオンの設定をする

自動的にログオンするユーザーアカウントに、新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更したとき、ログオンするユーザーアカウントを変えたいときは、次の手順で設定してください。

設定を変更する

1 **リモコンの【テレビメニュー】を押す**
テレビメニューが表示されます。

2 **「設定」から「テレビ初期設定」を選んで【決定】を押す**

3 **「テレビ初期設定の確認」を選んで【決定】を押す**

4 **「自動ログオン設定」を選んで【決定】を押す**

5 **「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す**

6 **ログオンするユーザーアカウントを変更する場合は、「自動ログオンユーザー」を選んで【決定】を押し、ユーザーを選ぶ**

7 **新たにパスワードを設定したり、パスワードを変更した場合は、「パスワード」を選んで【決定】を押し、キーボードからパスワードを入力する**

8 **再度「自動ログオンのテスト」を選んで【決定】を押す**
テスト結果が「正常」と表示されれば、自動ログオンの設定が正しくできています。

9 **「保存して戻る」を選んで【決定】を押す**

付 録

各モードの画面説明

マウスで使うための画面の各モードの画面について説明します。

■ ノーマルモード

ソースタブ
表示する映像（放送）を切り換えます。
TV：地上アナログ放送
地上D：地上デジタル放送
VIDEO：VIDEO リスト

映像表示ウィンドウ
テレビの映像を表示します。

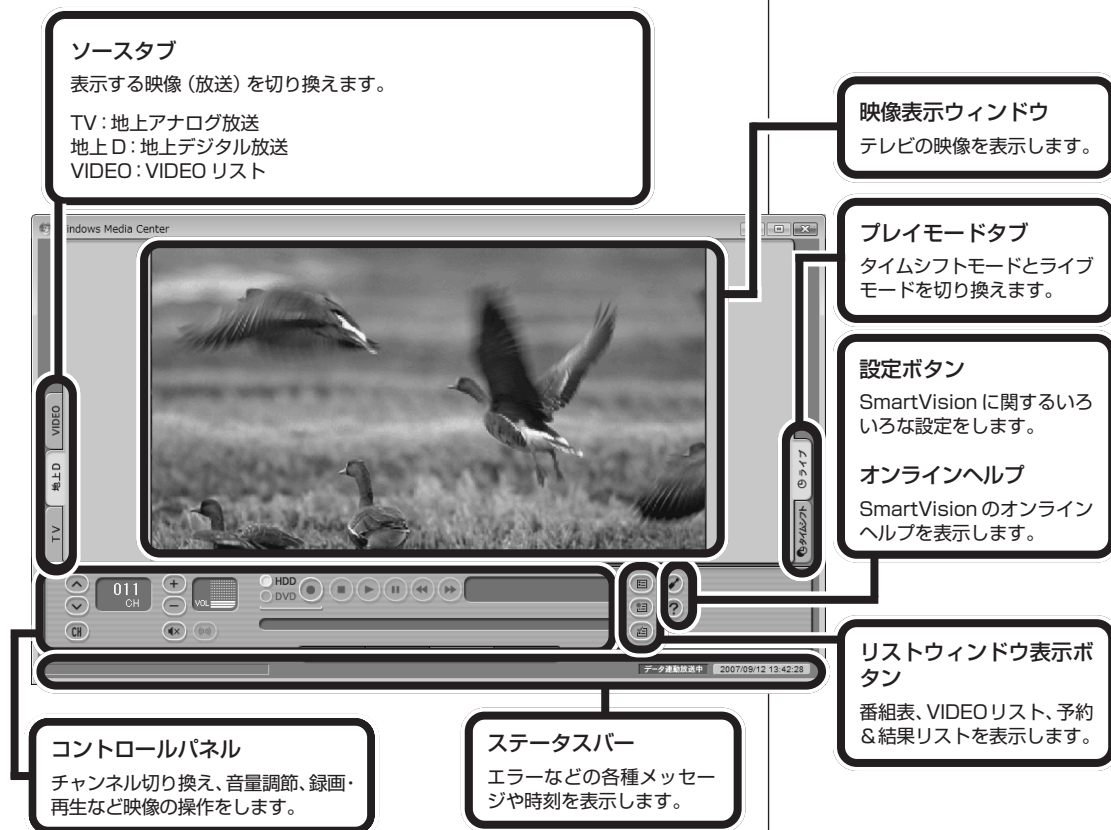
プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り換えます。

設定ボタン
SmartVision に関するいろいろな設定をします。

オンラインヘルプ
SmartVision のオンラインヘルプを表示します。

リストウィンドウ表示ボタン
番組表、VIDEOリスト、予約＆結果リストを表示します。

コントロールパネル
チャンネル切り換え、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

それぞれの放送の状態は、画面左側のソースタブで確認できます。

タブの色	放送の状態
水色	視聴中の放送
グレー	視聴していない放送
赤	録画中の放送
グレー （クリックできない）	現在、利用できない放送（切り換えられません）

ポイント

- SmartVisionの画面をドラッグして広げると、設定ボタン・リストウィンドウ表示ボタンには各機能名が表示されます。
- 映像表示ウィンドウで右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選んでクリックすることで、選んだ項目操作を実行できます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「設定」

●コントロールパネル

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトしている時間を調節できます。
録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。
ライブモード時：何も表示されません。

■ アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「デジタル」タブ、「番組情報」タブ、「シーン‥」タブ、「簡易編集」タブ(録画番組再生時)があり、切り換えて操作します。
表示している放送によって、操作できるタブが異なります。操作できないタブは、クリックできなくなります。

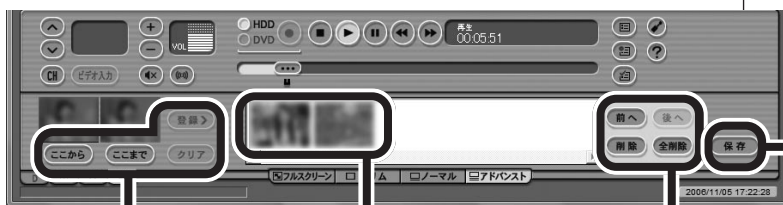
●「番組情報」タブ

●「デジタル」タブ　地上デジタル放送

●「シーン・・」タブ　地上アナログ放送

※1 録画番組の再生時またはタイムシフトモード時のみ

※2 録画番組の再生時のみ

●「簡易編集」タブ（録画番組再生時）　地上アナログ放送

※ ここから を指定しないで登録した場合は、番組の先頭から登録されます。ここまで を指定しないで登録した場合は、番組の最後まで登録されます。

■ スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

付録

映像をホームネットワークで配信する（対応モデルのみ）

地上デジタル放送

録画したデジタル放送番組を、ホームネットワーク内の機器に配信することができます。
配信するために、まずはインターネット上のサーバーに接続して、配信のためのライセンスを取得するなどの準備が必要です。
設定は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「DigiOn」-「DiXiM Media Server Tool」からおこないます。
対応モデル、ライセンスの取得のしかたなど、詳しくは、『映像・音楽を楽しむ本』の「ホームネットワークを活用する」をご覧ください。

録画モードで「デジタル長時間」を選んで録画した番組を配信することはできません。

索 引 INDEX

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

キーボードショートカット

マウス用画面モードでは、次のキーボードショートカットが使えます。

操作	キーボードショートカット
SmartVision終了	【Alt】+【F4】
ヘルプ表示	【F1】
タイムシフト／ライブ切り換え	【F8】
画面モード切り換え※1	【PgUp】/【PgDn】
番組表拡大表示／非表示 ※2	【-】
VIDEOリスト拡大表示／非表示 ※2	【:】または【*】
予約リスト表示拡大／非表示 ※2	【/】
録画	【Ctrl】+【Space】
停止	【S】
再生	【Z】
一時停止	【X】
巻き戻し	【←】
早送り	【→】
スキップ ※3	【Ctrl】+【→】
バックスキップ ※3	【Ctrl】+【←】
決定	【Enter】
戻る	【BackSpace】
↑	【↑】
←	【←】
→	【→】
↓	【↓】
静止画キャプチャ ※4	【C】
音量UP	【Shift】+【↑】
音量DOWN	【Shift】+【↓】
消音	【Shift】+【←】または【Shift】+【→】
チャンネルUP	【Ctrl】+【↑】
チャンネルDOWN	【Ctrl】+【↓】
連動データ放送	【D】
青ボタン	【B】
赤ボタン	【R】
緑ボタン	【G】
黄ボタン	【Y】

キーボードショートカット

ダイレクト選局モード中の操作	キーボードショートカット
0	【0】
1	【1】
2	【2】
3	【3】
4	【4】
5	【5】
6	【6】
7	【7】
8	【8】
9	【9】
プリセット①	【1】
プリセット②	【2】
プリセット③	【3】
プリセット④	【4】
プリセット⑤	【5】
プリセット⑥	【6】
プリセット⑦	【7】
プリセット⑧	【8】
プリセット⑨	【9】
プリセット⑩	【0】
プリセット⑪	【Ctrl】+【1】
プリセット⑫	【Ctrl】+【2】

※1

画面モード	【PgUp】	【PgDn】
スリムモード時	フルスクリーン	ノーマルモードへ
ノーマルモード時	スリムモードへ	アドバンストモードへ
アドバンストモード時	ノーマルモードへ	アドバンストモード機能変更

※2　文字を入力していない状態で操作してください。

※3　録画済み番組再生時、およびタイムシフト視聴時のみ使用できます。スキップは、再生時刻より約30秒前へ進みます。バックスキップは、再生時刻より約30秒巻き戻します。

※4　地上デジタル放送では利用できません。

VALUESTAR
LaVie

SmartVisionガイド

テレビを楽しむ本

初版 2008年1月
NEC
853-810601-716-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは古紙パルプ配合率70%以上の再生紙を使用しています。